工事番号	0707011012

（様式－１）

市長		副市長		部長		課長		係長		係		設計者			

令和　７年度　　緊急自然災害防止対策事業
鳴海川河川改修工事　第2工区

閲覧設計書

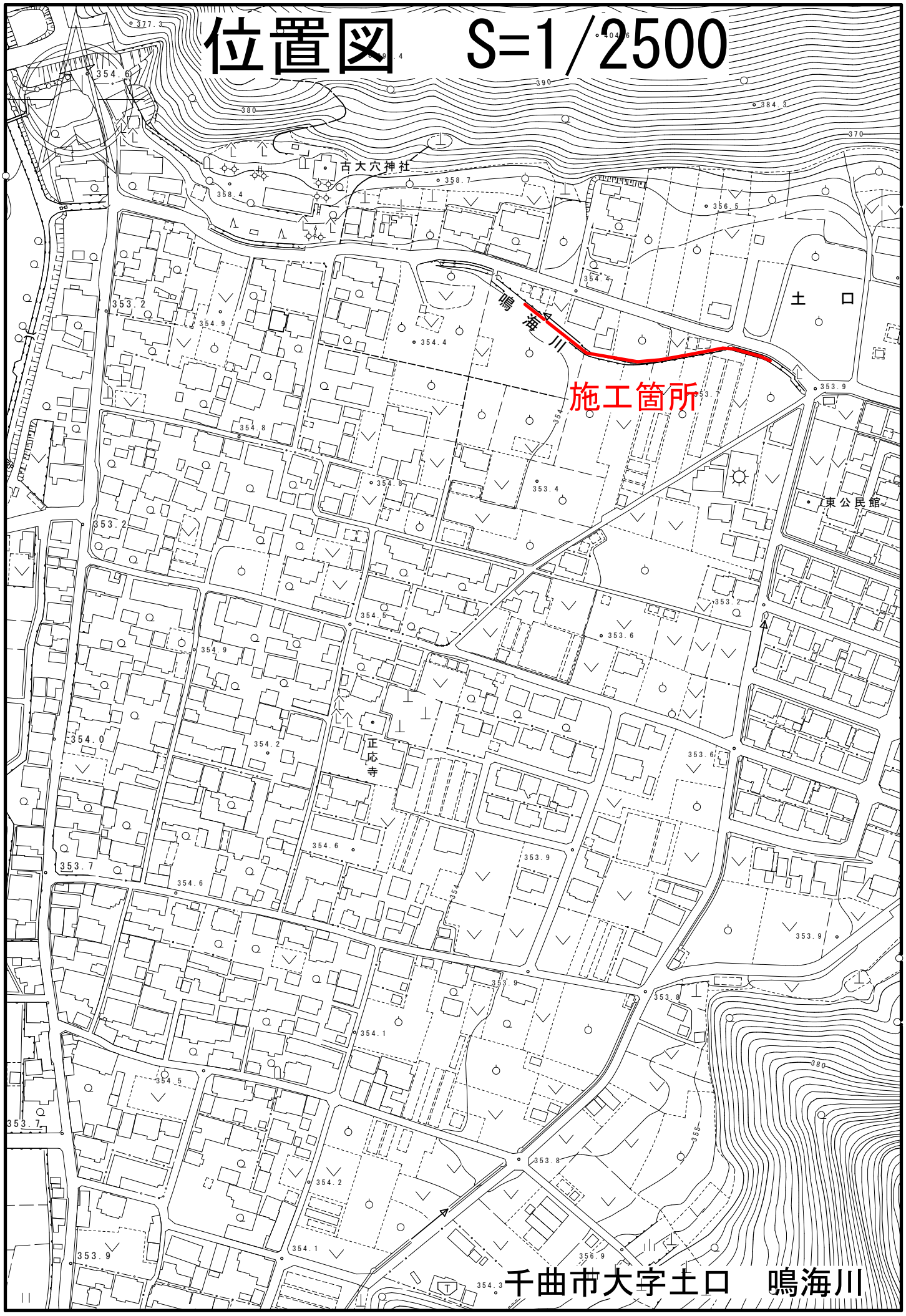
鳴海川　　千曲市　大字　土口

設　計　大　要	施　工　方　法	請負
河川改修工　L=133m	施　工　期　間	日間
	起工予定年月日	令和　　年　　月　　日
	竣工予定年月日	令和　８年　３月　27日
	契約保証方法	金銭的保証

・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。
・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、ｈ、Ｌ、％、日、時、工数、空ｍ３、掛ｍ２、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。

工　事　設　計　用　紙　　千　曲　市

位置図　S=1/2500



総 括 情 報 表

適用単価地区	53 １４　北信（１）
実施設計単価表等の適用日	07.07.31
資材等の単価の出典	建設物価・積算資料　　当年８月号

	当　世　代	前　世　代
前払率（%）	40	
消費税率（%）	10　%	
工種	01　河川	
施工地域区分(共通仮設)	09　補正無し	
施工地域区分(現場管理)	09　補正無し	
現場環境改善費率計上分	02　上記以外	
契約保証方法	01　金銭的保証	
豪雪割増	02　豪雪割増無し	
週休２日補正	07　月単位	
冬期補正（現管）	614	

これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊＊本工事費＊＊＊					
河川改良					
河川土工					
作業土工					
床掘り 土砂 標準	1,000	ｍ３			施工　第0 -0001号表
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	370	ｍ３			施工　第0 -0002号表
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	140	ｍ３			施工　第0 -0003号表
再生クラッシャーラン　４０㎜以下	763	ｍ３			
法面整形 盛土部 法面締固めなし	20	ｍ２			施工　第0 -0004号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基面整正	388	m２			施工　第0 -0005号表
土砂等運搬 標準　DID区間なし　15.5km以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.8m3(平積0.6m3)	1,080	m３			施工　第0 -0006号表
＊処分費等＊					
処分費 残土処分 ㈱井上産業　長野市若穂牛島処分場 調査単価	1,080	m３			施工　第0 -0007号表
排水構造物工					
函渠工					
ボックスカルバート 据付 1.5m/個	5	m			施工　第0 -0008号表
縦締め用材料費	1	式			施工　第0 -0009号表
支持力対策工 グランドセルマットレス工法 材料費(同等品以上)	4.5	m			施工　第0 -0010号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
	支持力対策工 グランドセルマットレス工法 設置手間	4.5	m			施工　第0 -0011号表
開渠工						
	鉄筋コンクリート大型フリューム 標準タイプ 材料費	1	式			施工　第0 -0013号表
	鉄筋コンクリート大型フリューム 側壁変更タイプ 材料費	1	式			施工　第0 -0014号表
	鉄筋コンクリート大型フリューム 底版開口タイプ 材料費	1	式			施工　第0 -0015号表
	鉄筋コンクリート大型フリューム 据付手間	128	m			施工　第0 -0016号表
	基礎工 鉄筋コンクリート大型フリューム 標準タイプ、側壁変更タイプ	124	m			施工　第0 -0017号表
	基礎工 鉄筋コンクリート大型フリューム 底版開口タイプ	4	m			施工　第0 -0020号表
	泥溜ピット工 底版開口部	1	箇所			施工　第0 -0021号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
集水桝工					
現場打ち集水桝 M1号　B3000×L1000×H1800	1	箇所			施工　第0 -0023号表
付帯工					
管理用道路工					
掘削 土砂　小規模(標準以外) 小規模(標準以外)	50	m３			施工　第0 -0030号表
現場打ち擁壁① W200×H340	60	m			施工　第0 -0031号表
現場打ち擁壁② 天端200×根入300	70	m			施工　第0 -0035号表
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚２００mm 1層施工	356	m２			施工　第0 -0036号表
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整砕石 全仕上り厚１００mm	361	m２			施工　第0 -0037号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚４０mm	364	m２			施工　第0 -0038号表
防護施設工					
転落防止柵設置工 パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用 支柱間隔　３m	222	m			施工　第0 -0039号表
転落防止柵設置工 パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用 支柱間隔　２m	2	m			施工　第0 -0040号表
地覆工 ボックスカルバート部					
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ 人力打設	0.3	m３			施工　第0 -0041号表
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	3	m２			施工　第0 -0022号表
鉄筋工 ＳＤ３４５　Ｄ１３ 差筋及び杭頭処理	0.01	t			施工　第0 -0042号表
天端コンクリート工 右岸側埋戻し部					

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ 人力打設	6	m３			施工　第0 -0043号表
既設水路接続工					
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	5	m３			施工　第0 -0044号表
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	20	m２			施工　第0 -0022号表
点検用昇降ステップ設置工					
足掛金物据付 足掛金具　298㎜　φ12.7	6	本			施工　第0 -0029号表
法面保護工 セメント複合フェルトマット工法					
セメント複合フェルトマット工法 材料費(同等品以上)	1	式			施工　第0 -0045号表
セメント複合フェルトマット工法 施工手間	22	㎡			施工　第0 -0046号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
構造物とりこわし 鉄筋構造物　機械施工 低騒音・低振動対策　必要	169	m３			施工　第0 -0047号表
構造物とりこわし 無筋構造物　機械施工 低騒音・低振動対策　必要	15	m３			施工　第0 -0048号表
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込　DID区間なし　5.7km以下	234	m３			施工　第0 -0049号表
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込　DID区間なし　5.7km以下	20	m３			施工　第0 -0050号表
＊処分費等＊					
処分費 コンクリート殻　有筋 米山建材(株)	234	m３			施工　第0 -0051号表
処分費 コンクリート殻　無筋 米山建材(株)	20	m３			施工　第0 -0052号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設工					
仮設道路工					
敷鉄板設置・撤去	1,109	ｍ２			施工　第0 -0053号表
敷鉄板賃料 鋼板　２２×９１４×１８２９mm 供用日数１５０日	664	枚			施工　第0 -0055号表
土木シート敷設・撤去工	1,140	ｍ２			施工　第0 -0056号表
小型機械土工（トラクター） 耕起 砂・砂質土	985	ｍ２			施工　第0 -0057号表
水替工					
大型土のう製作・設置 作業半径　６m以下	4	袋			施工　第0 -0059号表
大型土のう撤去 作業半径　６m以下	4	袋			施工　第0 -0061号表

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
据付・撤去工	1	現場			施工　第0 -0063号表
水替工（潜水ポンプ運転） φ５０㎜0.４Kw	150	日			施工　第0 -0064号表
交通管理工					
交通誘導警備員Ｂ	105	人・日			施工　第0 -0065号表
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					
仮設材等の運搬 製品長１２m以内 運搬距離６．４km（×往復）	192	t			施工　第0 -0066号表
仮設材等の積込み，取卸し費 積込み，取卸し（往復分）	192	t			施工　第0 -0067号表
技術管理費					

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
スクリューウエイト貫入試験 ＧＬ－１０m以内 Ｎ値４以内	10	m			施工　第0 -0068号表
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 90㎜以上100㎜未満 400㎜以上600㎜未満	2	孔			施工　第0 -0069号表
室内CBR試験用試料採取　締め固める土 70kg　※舗装復旧費は別途計上	1	箇所			
締固めた土のコーン指数試験 1試料1供試体 調査単価	1	試料			
土の粒度試験　(2) 砂・砂質土 試料４kg以上◇１試料－１個	1	試験			
＊＊現場環境改善費（率分）＊＊					
＊＊共通仮設費率計算額＊＊					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

（工事費内訳書）

＊＊＊本工事費＊＊＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊現場管理費＊＊					
＊＊工事原価＊＊					
＊一般管理費等＊					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税等相当額計＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
（参考）予定価格に占める法定福利費概算額					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0001号表

床掘り

土砂　　標準　　1　　ｍ３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８ｍ３		日		バックホウ［クローラ型］賃料		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
軽油 小型ロ－リ－　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
土質：土砂 土留方式の種類：土留なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				施工方法：標準 障害の有無：障害なし		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0002号表

埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　　m３　　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８m３		日		バックホウ［クローラ型］賃料		
振動ローラ［ハンドガイド式］賃料 質量０．５～０．６ｔ		日		振動ローラ［ハンドガイド式］賃料		
タンパ（ランマ）賃料 質量６０～８０ｋｇ		日		タンパ（ランマ）賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0002号表

埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　　m３　　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
ガソリン レギュラー　スタンド		L		ガソリン レギュラー　スタンド		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
施工方法：最大埋戻幅1m以上4m未満			豪	雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0003号表

埋戻し
最大埋戻幅1m未満　　1　　m３　　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回］ 超低・排ガス２０１４　山積０．４５m３		供用日		バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回］ 超低・排ガス２０１４		
タンパ（ランマ）賃料 質量６０～８０ｋｇ		日		タンパ（ランマ）賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0003号表

埋戻し
最大埋戻幅1m未満　　1　　m３　　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
ガソリン 　レギュラー　スタンド		L		ガソリン 　レギュラー　スタンド		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
施工方法：最大埋戻幅1m未満			豪	雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0004号表

法面整形
盛土部　　法面締固めなし　　1　　ｍ２　　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ［クローラ型］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８ｍ３		日		バックホウ［クローラ型］賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
軽油 小型ロ－リ－　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0004号表

法面整形
盛土部　　法面締固めなし　　1　　m２　　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
整形箇所：盛土部 現場制約の有無：現場制約なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				法面締固めの有無：法面締固めなし 土質：ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土		

基面整正

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0005号表

1　　m２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
普通作業員		人		普通作業員		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0006号表

土砂等運搬

標準　DID区間なし　15.5km以下　　ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.8m3(平積0.6m3)　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ １０ｔ積級		供用日		ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		
運転手（一般）		人		運転手（一般）		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
土砂等発生現場：標準 土質：土砂(岩塊･玉石混り土含む) 運搬距離：15.5km以下				積込機種･規格：ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.8m3(平積0.6m3) DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

処分費　　施工　第0 -0007号表

残土処分　　㈱井上産業　長野市若穂牛島処分場　　調査単価　　100　　m３　　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	m３			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m３			
処分費（円／m３）：					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0008号表

ボックスカルバート

据付　1.5m/個　1　m　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ］賃料 ～低騒～排ｶﾞｽ2次　25t吊(燃料油脂費含む)		日		ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ］賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
特殊作業員		人		特殊作業員		
RCボックスカルバート B2200×H1600×L1500　頂版特殊配筋 調査単価		個		ＲＣボックスカルバート Ｂ１５００×Ｈ１５００×Ｌ１５００		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0008号表

ボックスカルバート

据付　1.5m/個　1　m　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
作業区分：据付 内空幅・内空高(m)：1.25＜B≦2.5 1.25＜H≦2.5 PC鋼材による縦締め：PC鋼材による縦締めあり				製品長：1.5m/個 基礎材種別：均しｺﾝｸﾘｰﾄ ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数：1		

縦締め用材料費

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0009号表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
PC鋼棒 B種1号　φ17　1～3m未満	21	kg			刊行物単価
PC用定着装置 普通鋼棒工法　後付用　φ17	8	組			刊行物単価
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	式			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0010号表

支持力対策工

グランドセルマットレス工法　　材料費(同等品以上)　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
グランドセル GN-150MP	62.2	m2			調査単価
グランドセル GN-150MP-3	23.3	m2			調査単価
連結材 セルジョイント	92	セット			調査単価
吸出し防止材 再生長繊維不織布 t=2㎜	89.8	㎡			調査単価
樹脂アンカーピン □20×300	42	本			調査単価
展開治具等（諸雑費）	10	%			グランドセル合計額の10%
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0011号表

支持力対策工
グランドセルマットレス工法　　設置手間　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.14	人			
普通作業員	1.97	人			
基礎砕石 12.5㎜を超え17.5㎜以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	70.4	ｍ２			施工　第0-0012号表
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0012号表

基礎砕石
12.5㎝を超え17.5㎝以下　　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　　1　　ｍ２　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８ｍ３		日		バックホウ［クローラ型］賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン　４０㎜以下		ｍ３		再生クラッシャラン ＲＣ－４０		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0012号表

基礎砕石
12.5㎝を超え17.5㎝以下　　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　　1　ｍ２　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
砕石の厚さ：12.5㎝を超え17.5㎝以下				砕石の種類：再生クラッシャラン　ＲＣ－４０		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0013号表

鉄筋コンクリート大型フリューム
標準タイプ　　材料費　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L2000 ウィープホールφ50付	24	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1000 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1010/1283 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1510/1782 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1492/1799 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1297/1604 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1433/1469 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1732/1767 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1590/1789 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1171/1370 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1166/1375 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1556/1766 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0013号表

鉄筋コンクリート大型フリューム
標準タイプ　　材料費　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1605/1717 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L907/1019 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L974/951 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L1662/1639 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
単粒度砕石3号 40～30mm サイドドレーン 0.03m3×78箇所	2	m３			調査単価
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	式			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0014号表

鉄筋コンクリート大型フリューム
側壁変更タイプ　　材料費　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L2000 ウィープホールφ50付	18	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1500 ウィープホールφ50付	4	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1000 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1774/1214 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1775/1215 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1528/1462 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L914/847 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1586/962 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1038/963 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1370/1295 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1422/1253 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価
鉄筋コンクリート大型フリューム H1400/2000×B2200×L1111/943 ウィープホールφ50付	1	本			調査単価

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0014号表

鉄筋コンクリート大型フリューム
側壁変更タイプ　　材料費　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
単粒度砕石3号 40～30㎜ サイドドレーン 0.03m3×64箇所	2	m３			調査単価
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	式			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0015号表

鉄筋コンクリート大型フリューム
底版開口タイプ　　材料費　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート大型フリューム H2000×B2200×L2000 底版開口500×1500　ウィープホールφ50付	2	本			調査単価
単粒度砕石3号 40～30㎜ サイドドレーン 0.03m3×4箇所	0.1	m３			調査単価
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	式			

鉄筋コンクリート大型フリューム
据付手間

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0016号表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.38	人			
特殊作業員	0.38	人			
普通作業員	1.54	人			
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ］賃料 排ガス２次　２５ｔ吊（燃料油脂費含む）	0.38	日			
接合材料費率（諸雑費）	1.0	%			（労）×率
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0017号表

基礎工

鉄筋コンクリート大型フリューム　　標準タイプ、側壁変更タイプ　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基礎砕石 12.5㎝を超え17.5㎝以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	28.5	ｍ２			施工　第0-0012号表
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	1.43	ｍ３			施工　第0-0018号表 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	1	ｍ２			施工　第0-0019号表
モルタル １：３　普通	0.8	ｍ３			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0018号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８㎥		日		バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
生コン　１８－８－２５（２０）－ＢＢ （Ｗ／Ｃ＝６０％以下）		m３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0018号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
構造物種別：無筋･鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：18-8-25(W/C=60%以下) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし				打設工法：ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0019号表

型枠

一般型枠　　均しｺﾝｸﾘｰﾄ　　1　　ｍ２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
型わく工		人		型わく工		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
型枠の種類：一般型枠			構造物の種類：均しｺﾝｸﾘｰﾄ			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0020号表

基礎工

鉄筋コンクリート大型フリューム　　底版開口タイプ　　4　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基礎砕石 12.5㎝を超え17.5㎝以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	9.06	ｍ２			施工　第0-0012号表
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	0.45	ｍ３			施工　第0-0018号表 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	0.4	ｍ２			施工　第0-0019号表
モルタル １：３　普通	0.25	ｍ３			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	4	ｍ			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0021号表

泥溜ピット工
底版開口部

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	0.6	m3			施工　第0-0018号表 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	4	m2			施工　第0-0022号表
基礎砕石 12.5㎝を超え17.5㎝以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	2	m2			施工　第0-0012号表
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	箇所			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0022号表

型枠

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　　m２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
型わく工		人		型わく工		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
型枠の種類：一般型枠			構造物の種類：鉄筋・無筋構造物			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0023号表

現場打ち集水桝

M1号　B3000×L1000×H1800

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	4	m3			施工　第0-0024号表 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	22	m2			施工　第0-0022号表
基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	6	m2			施工　第0-0025号表
コンクリート　無筋･鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	0.3	m3			施工　第0-0026号表 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	0.5	m2			施工　第0-0019号表
鉄筋工 ＳＤ３４５　Ｄ１３ 構造物種別による補正なし	0.11	t			施工　第0-0027号表
鉄筋工 ＳＤ３４５　Ｄ１９ 構造物種別による補正なし	0.02	t			施工　第0-0028号表
足掛金物据付 足掛金具　298mm　φ12.7	5	本			施工　第0-0029号表
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	箇所			

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0024号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８㎥		日		バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
生コン　２１－８－２５（２０）－ＢＢ （Ｗ／Ｃ＝５５％以下）		ｍ３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0024号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
構造物種別：無筋･鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：21-8-25(W/C=55%以下) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし				打設工法：ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0025号表

基礎砕石
17.5㎝を超え20.0㎝以下　　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　　１　　ｍ２　当り
機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８ｍ３		日		バックホウ［クローラ型］賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン　４０㎜以下		ｍ３		再生クラッシャラン ＲＣ－４０		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0025号表

基礎砕石
17.5㎝を超え20.0㎝以下　　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　　1　ｍ２　当り
機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
砕石の厚さ：17.5㎝を超え20.0㎝以下				砕石の種類：再生クラッシャラン　ＲＣ－４０		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0026号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８㎥3		日		バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
生コン 捨－8－25(20)－BB（規格外）		m３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　W／C５５％		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0026号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
構造物種別：無筋･鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：生コンクリート各種 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし				打設工法：ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0027号表

鉄筋工

ＳＤ３４５　Ｄ１３　　構造物種別による補正なし　　１　ｔ　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工　加工・組立共	1.000	ｔ			
異形棒鋼 ＳＤ３４５　Ｄ１３	1.030	ｔ			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｔ			
鉄筋規格：ＳＤ３４５ 規格・仕様：一般構造物 構造物種別：構造物種別による補正なし			鉄筋径：　Ｄ１３ 作業条件：標準作業 施工規模：施工規模　１０ｔ未満		
時間的制約の有無：≪条件不要≫ 太径鉄筋の割合：太径鉄筋の割合　１０％未満			夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0028号表

鉄筋工

ＳＤ３４５　Ｄ１９　　構造物種別による補正なし　　１　ｔ　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工　加工・組立共	1.000	ｔ			
異形棒鋼 ＳＤ３４５　Ｄ１９	1.030	ｔ			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｔ			
鉄筋規格：ＳＤ３４５ 規格・仕様：一般構造物 構造物種別：構造物種別による補正なし			鉄筋径：　Ｄ１９ 作業条件：標準作業 施工規模：施工規模　１０ｔ未満		
時間的制約の有無：≪条件不要≫ 太径鉄筋の割合：太径鉄筋の割合　１０％未満			夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0029号表

足掛金物据付

足掛金具　298㎜　φ12.7　　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
足掛け金物	1.000	個			
特殊作業員	0.070	人			
普通作業員	0.070	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	本			
足掛け金物単価（円／個）：					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0030号表

掘削

土砂　小規模(標準以外)　　小規模(標準以外)　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
小型バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次　山積０．１３ｍ３		供用日		小型バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
土質：土砂 施工数量：小規模(標準以外)				施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0031号表

現場打ち擁壁①
W200×H340

10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
コンクリート　小型構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	0.68	m3			施工　第0-0032号表 人力打設
型枠 一般型枠 小型構造物	6.8	m2			施工　第0-0033号表
基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	2.5	m2			施工　第0-0034号表
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

コンクリート　小型構造物　　施工　第0 -0032号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　人力打設　　1　m３　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
特殊作業員		人		特殊作業員		
生コン　１８－８－４０－ＢＢ （Ｗ／Ｃ＝６０％以下）		ｍ３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0032号表

コンクリート　小型構造物

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　　人力打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
構造物種別：小型構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				打設工法：人力打設 現場内小運搬の有無：現場内小運搬なし ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：18-8-40(W/C=60%以下) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0033号表

型枠

一般型枠　　小型構造物　　1　　m２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
型わく工		人		型わく工		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
型枠の種類：一般型枠			構造物の種類：小型構造物			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0034号表

基礎砕石
7.5㎝を超え12.5㎝以下　　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　　１　ｍ２　当り
機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８ｍ３		日		バックホウ［クローラ型］賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン　４０㎜以下		ｍ３		再生クラッシャラン ＲＣ－４０		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0034号表

基礎砕石
7.5cmを超え12.5cm以下　　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　　1　ｍ２　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
砕石の厚さ：7.5cmを超え12.5cm以下				砕石の種類：再生クラッシャラン　ＲＣ－４０		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0035号表

現場打ち擁壁②
天端200×根入300

10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
コンクリート　小型構造物 一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	1.81	m3			施工　第0-0032号表 人力打設
型枠 一般型枠 小型構造物	11.5	m2			施工　第0-0033号表
基礎砕石 7.5㎝を超え12.5㎝以下 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０	5.2	m2			施工　第0-0034号表
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0036号表

下層路盤（車道・路肩部）
全仕上り厚２００mm　　1層施工　　1　　m２　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次　ブレード幅３．１m		供用日		モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次		
ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次　運転質量１０ｔ		供用日		ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次		
タイヤローラ賃料 ～超低・～排ｶﾞｽ3次　質量８～２０ｔ		日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0036号表

下層路盤（車道・路肩部）
全仕上り厚２００mm　　1層施工　　1　　ｍ２　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン　４０㎜以下		ｍ3		クラッシャラン Ｃ－４０		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
全仕上り厚(㎜)：200 材料：再生クラッシャラン　ＲＣ－４０				施工区分：1層施工 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0037号表

上層路盤（車道・路肩部）

粒度調整砕石　　全仕上り厚１００mm　　1　　m２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次　ブレード幅３．１m		供用日		モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次		
ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次　運転質量１０ｔ		供用日		ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次		
タイヤローラ賃料 ～超低・～排ｶﾞｽ3次　質量８～２０ｔ		日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0037号表

上層路盤（車道・路肩部）

粒度調整砕石　　全仕上り厚１００mm　　1　　m２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
粒調砕石　２５㎜以下		m３		再生粒度調整砕石 RM－４０		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
材料：粒度調整砕石 施工区分：1層施工 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				全仕上り厚(㎜)：100 材料(粒度調整砕石)：粒度調整砕石　M－２５		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0038号表

表層（車道・路肩部）
1.4m以上3.0m以下　　平均仕上り厚４０mm　　1　　m２　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
アスファルトフィニッシャ［ホイール］賃料 ～低騒・～排ガス2014　舗装幅１．４～３m		日		アスファルトフィニッシャ［ホイール］賃料		
振動ローラ［搭乗式・コンバインド型］賃料 ～超低・～排ガス３次　質量３～４ｔ		日		振動ローラ［搭乗式・コンバインド型］賃料		
タイヤローラ賃料 ～超低・～排ガス３次　質量３～４ｔ		日		タイヤローラ賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
特殊作業員		人		特殊作業員		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0038号表

表層（車道・路肩部）
1.4m以上3.0m以下　　平均仕上り厚４０mm　　1　　m２　当り
機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
⑤再生アスファルト混合物 密粒度（２０Ｆ）［再生材 混入率50%以下]		t		アスファルト混合物 密粒度（２０）		
アスファルト乳剤 ＰＫ－３　プライムコート用		L		アスファルト乳剤 ＰＫ－３　プライムコート用		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0038号表

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下　　平均仕上り厚４０mm　　1　　m２　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
平均幅員：1.4m以上3.0m以下 標準締固め後密度：2.35t/m3 材料：再生　密粒度（２０Ｆ） ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				1層当り平均仕上り厚(mm)：40 瀝青材料種類：ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 瀝青材料種類：ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物夜間割増：夜間割増なし		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0039号表

転落防止柵設置工

パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用　支柱間隔　３ｍ　　100　ｍ　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
横断・転落防止柵設置　ビーム式・パネル式 プレキャスト建込用（手間のみ） （ブロック材料費・充填材は含む）	100.000	m			
転落防止柵（標準型） 縦格子型 2.3×950×3000 独立基礎 刊行物単価	100.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			
防護柵種別：転落防止柵 施工区分：パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用 施工規模：施工規模　１００m以上			作業区分：設置 支柱間隔：支柱間隔　３ｍ 時間的制約の有無（Ｆ＝１時選択）：時間的制約なし		
夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0040号表

転落防止柵設置工

パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用　支柱間隔　２ｍ　　100　ｍ　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
横断・転落防止柵設置　ビーム式・パネル式 プレキャスト建込用（手間のみ） （ブロック材料費・充填材は含む）	100.000	m			
転落防止柵（両開き門扉） 縦格子型 H1100×W2000 独立基礎 調査単価	100.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			
防護柵種別：転落防止柵 施工区分：パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用 施工規模：施工規模　１００m以上			作業区分：設置 支柱間隔：支柱間隔　２ｍ 時間的制約の有無（Ｆ＝１時選択）：時間的制約なし		
夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし			横断又は転落防止柵単価（円／ｍ）：		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0041号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　人力打設　　1　m３　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
生コン　１８－８－２５（２０）－ＢＢ （Ｗ／Ｃ＝５５％以下）		ｍ３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0041号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　　人力打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
構造物種別：無筋･鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				打設工法：人力打設 現場内小運搬の有無：現場内小運搬なし ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：18-8-25(W/C=55%以下) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0042号表

鉄筋工

ＳＤ３４５　Ｄ１３　　差筋及び杭頭処理　　１　ｔ　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工　加工・組立共	1.000	ｔ			
異形棒鋼 ＳＤ３４５　Ｄ１３	1.030	ｔ			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｔ			
鉄筋規格：ＳＤ３４５ 規格・仕様：一般構造物 構造物種別：差筋及び杭頭処理			鉄筋径：　Ｄ１３ 作業条件：標準作業 施工規模：施工規模　１０ｔ未満		
時間的制約の有無：≪条件不要≫ 太径鉄筋の割合：太径鉄筋の割合　１０％未満			夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0043号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　人力打設　　1　ｍ３　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
生コン 捨－8－25(20)－BB（規格外）		ｍ３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0043号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　　人力打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
構造物種別：無筋･鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				打設工法：人力打設 現場内小運搬の有無：現場内小運搬なし ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：生コンクリート各種 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0044号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 ～排ガス２０１４　山積０．８㎥		日		バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
生コン　１８－８－４０－ＢＢ （Ｗ／Ｃ＝６０％以下）		m３		生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％		

施 工 内 訳 表

コンクリート　無筋･鉄筋構造物　　施工　第0 -0044号表

一般養生　　夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設　　1　　m３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
構造物種別：無筋･鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格：18-8-40(W/C=60%以下) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増：夜間割増なし				打設工法：ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄｾﾒﾝﾄ種類：　高炉（ＢＢ） 生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0045号表

セメント複合フェルトマット工法

材料費(同等品以上)　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
セメント複合フェルトマット コンクリートファブリック t=10㎜　1m×5m巻	5	巻			調査単価
異形鉄筋アンカー L=300　100本／袋	1	袋			調査単価
デカピン L=150　50本／袋	3	袋			調査単価
ドーム型ワッシャー φ80㎜　50枚／袋	5	袋			調査単価
重ね部固定用接着剤 295ml／本	6	本			調査単価
端部固定用接着剤 3kg／缶	1	缶			調査単価
諸雑費	3	%			材料費 合計額の3%
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	式			

セメント複合フェルトマット工法

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0046号表

施工手間　　100　　㎡　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.80	人			
普通作業員	8.45	人			
運転手（一般）	0.56	人			
散水用機材賃料	1	式			調査単価
諸雑費	3	%			（労＋機）×率
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	㎡			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	㎡			

施 工 内 訳 表

構造物とりこわし　　施工　第0 -0047号表

鉄筋構造物　機械施工　　低騒音・低振動対策　必要　　1　　m３　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工 鉄筋構造物　機械施工　制約無　昼間	1.000	m３			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m３			
構造物区分：鉄筋構造物 低騒音・低振動対策の有無：低騒音・低振動対策　必要 時間的制約の有無：時間的制約なし			施工区分：　機械施工 夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし		

施 工 内 訳 表

構造物とりこわし　　施工　第0 -0048号表

無筋構造物　機械施工　　低騒音・低振動対策　必要　　1　　m３　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工 無筋構造物　機械施工　制約無　昼間	1.000	m３			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m３			
構造物区分：無筋構造物 低騒音・低振動対策の有無：低騒音・低振動対策　必要 時間的制約の有無：時間的制約なし			施工区分：　機械施工 夜間作業の有無：夜間作業（２０時～６時）なし		

施 工 内 訳 表

殻運搬　　施工　第0 -0049号表

ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし　　機械積込　DID区間なし　5.7km以下　　1　　ｍ３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ １０ｔ積級		供用日		ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		
運転手（一般）		人		運転手（一般）		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
殻発生作業：ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：5.7km以下		

施 工 内 訳 表

殻運搬　　施工　第0 -0050号表

ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし　　機械積込　DID区間なし　5.7km以下　　1　　ｍ３　　当り

機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：　　標準単価：

代　表　機　労　材　規　格	構成比	単　位	単　　価	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ １０ｔ積級		供用日		ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		
運転手（一般）		人		運転手（一般）		
軽油 小型ローリー　パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
殻発生作業：ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：5.7km以下		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0051号表

処分費

コンクリート殻　有筋　　米山建材(株)　　100　　m３　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
処分費	100.000	m３			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m３			
処分費（円／m３）：					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0052号表

処分費

コンクリート殻　無筋　　米山建材(株)　　100　　m３　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
処分費	100.000	m３			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m３			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m３			
処分費（円／m３）：					

敷鉄板設置・撤去

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0053号表

100　　m２　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土木一般世話役	0.295	人			
とび工	0.295	人			
普通作業員	0.295	人			
バックホウ運転　（機－２８） クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３ 排出ガス対策型２０１４年規制	0.295	日			施工　第0-0054号表
諸雑費	1.000	%			（労＋機）×率
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	ｍ２			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	ｍ２			
作業区分：設置・撤去					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0054号表

バックホウ運転　（機－２８）
クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３　排出ガス対策型２０１４年規制　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 排ガス２０１４　山積０．８ｍ３	1.060	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型ローリー　パトロール給油	119.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			
規格：クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３ バックホウ（供用日／日）：1.06 軽油（L／日）：119			排出ガス対策型区分：排出ガス対策型２０１４年規制 特殊運転手（人／日）：1		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0055号表

敷鉄板賃料

鋼板　２２×９１４×１８２９mm　　供用日数１５０日　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板賃料	1.000	枚			
敷鉄板（鋼板・厚２２）　整備費 ９１４×１８２９	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	枚			
敷鉄板規格：鋼板　２２×９１４×１８２９mm 供用日数（日）：150 整備費の有無：整備費計上あり			不足分弁償金（t／枚）なし＝０：0 継続工事の有無：継続工事なし		

土木シート敷設・撤去工

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0056号表

100　　m２　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.48	人			
土木シート ﾅｲﾛﾝ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系織布 厚0.25～0.30(0.24～0.34)㎜ 強度1470N/3㎝	104	㎡			刊行物単価
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m２			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m２			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0057号表

小型機械土工（トラクター）

耕起　　砂・砂質土　　100　　m２　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
トラクター運転 １ｔ級	0.107	時間			施工　第0-0058号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m２			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m２			
作業区分：耕起 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ			土質区分：砂・砂質土		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0058号表

トラクター運転
１ｔ級

1　時間　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
軽油 小型ローリー　パトロール給油	2.600	L			
特殊作業員	0.200	人			
トラクタ［ホイール式］ １ｔ級	1.000	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	時間			
作業区分：耕起			豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0059号表

大型土のう製作・設置
作業半径　６m以下

10　　袋　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			
特殊作業員	0.278	人			
普通作業員	0.278	人			
大型土のう １１０×１０８㎝	10.000	袋			
バックホウ運転　（機－２８） クローラ型・クレーン付　山積０．８m３ 超低騒音（排出ガス対策型３次基準）	0.278	日			施工　第0-0060号表
諸雑費	4.000	%			（労）×率
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	袋			
作業区分：製作・設置 袋詰土区分（Ａ＝１，２時選択）：流用土			作業半径：作業半径　６m以下 大型土のう単価（円／袋）Ａ＝１，２時入力：		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0060号表

バックホウ運転　（機－２８）
クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３　超低騒音（排出ガス対策型３次基準）　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 超低騒音・排ガス３次　山積０．８ｍ３	1.390	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型ローリー　パトロール給油	104.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			
規格：クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３ バックホウ（供用日／日）：1.39 軽油（L／日）：104			排出ガス対策型区分：超低騒音（排出ガス対策型３次基準） 特殊運転手（人／日）：1		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0061号表

大型土のう撤去
作業半径　６m以下

10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.069	人			
特殊作業員	0.069	人			
バックホウ運転　（機－２８） クローラ型・クレーン付　山積０．８m３ 超低騒音（排出ガス対策型３次基準）	0.069	日			施工　第0-0062号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	袋			
作業区分：撤去			作業半径：作業半径　６m以下		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0062号表

バックホウ運転　（機－２８）
クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３　超低騒音（排出ガス対策型３次基準）　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料 超低騒音・排ガス３次　山積０．８ｍ３	1.260	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型ローリー　パトロール給油	78.000	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			
規格：クローラ型・クレーン付　山積０．８ｍ３ バックホウ（供用日／日）：1.26 軽油（L／日）：78			排出ガス対策型区分：超低騒音（排出ガス対策型３次基準） 特殊運転手（人／日）：1		

据付・撤去工

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0063号表

1　現場　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.080	人			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	現場			

水替工（潜水ポンプ運転）
φ５０㎜0.４Kw

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0064号表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水ポンプ損料（φ５０㎜0.４Kw）	1.000	日			
特殊作業員	0.070	人			
普通作業員	0.050	人			
諸雑費	4.000	%			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	日			
動力源：商用電源 潜水ポンプ台数：6 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ			水替方法：常時　排水 発動発電機台数：0		

交通誘導警備員Ｂ

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0065号表

1　　人・日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員Ｂ	1.000	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	人・日			
交通誘導警備員区分：交通誘導警備員Ｂ					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0066号表

仮設材等の運搬
製品長１２m以内　　運搬距離６．４km（×往復）　　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等運搬費	1.000	t			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	t			
製品長区分：製品長１２m以内 運搬区分：往復運搬 冬期割増区間片道距離（km）なし＝０：0			片道運搬距離（km）：6.4 深夜早朝割増の有無：深夜早朝割増なし 有料道路利用料計上の有無：有料道路利用料計上なし		
その他の諸料金計上の有無：その他の諸料金計上なし					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0067号表

仮設材等の積込み，取卸し費

積込み，取卸し（往復分）　　1　　t　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等積込み費 基地積込み	1.000	t			
仮設材等取卸し費 現場取卸し	1.000	t			
仮設材等積込み費 現場積込み	1.000	t			
仮設材等取卸し費 基地取卸し	1.000	t			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	t			
作業区分：積込み，取卸し（往復分）					

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0068号表

スクリューウエイト貫入試験

ＧＬ－１０m以内　　Ｎ値４以内　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
スクリューウエイト貫入試験	1.000	m			
＊＊＊　単位当り　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0069号表

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

90㎜以上100㎜未満　400㎜以上600㎜未満　1　孔　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型　最大穿孔径２５ｃｍ		供用日		電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型		
発動発電機［ガソリンエンジン駆動］賃料 ３ｋＶＡ		日		発動発電機［ガソリンエンジン駆動］賃料		
特殊作業員		人		特殊作業員		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
ダイヤモンドビット １１０㎜　スタンダード		個		ダイヤモンドビット １１０mm		

施 工 内 訳 表

施工　第0 -0069号表

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

90㎜以上100㎜未満　400㎜以上600㎜未満　1　孔　当り

機械構成比：　労務構成比：　材料構成比：　市場単価構成比：　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー　スタンド		L		ガソリン レギュラー　スタンド		
積算単価		式		積算単価		
＊＊＊　単位当り　＊＊＊						
削孔径：90㎜以上100㎜未満 豪雪割増：豪雪割増　工種条件と同じ			削孔深さ：400㎜以上600㎜未満			

＊＊工事数量総括表＊＊

費目・工種・種別・細別など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備考
＊＊＊本工事費＊＊＊					
河川改良		式			
河川土工		式			
作業土工		式			
床掘り	土砂 標準	ｍ３		1,000	
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	ｍ３		370	
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	ｍ３		140	
再生クラッシャーラン　４０㎜以下		ｍ３		763	
法面整形	盛土部 法面締固めなし	ｍ２		20	
基面整正		ｍ２		388	
土砂等運搬	標準　DID区間なし　15.5km以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.8m3(平積0.6m3)	ｍ３		1,080	
処分費	残土処分 ㈱井上産業　長野市若穂牛島処分場	ｍ３		1,080	
排水構造物工		式			
函渠工		式			
ボックスカルバート	据付 1.5m/個	m		5	
縦締め用材料費		式		1	
支持力対策工	グランドセルマットレス工法 材料費(同等品以上)	m		4.5	
支持力対策工	グランドセルマットレス工法 設置手間	m		4.5	

＊＊工事数量総括表＊＊

費目・工種・種別・細別など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備考
開渠工		式			
鉄筋コンクリート大型フリューム	標準タイプ 材料費	式		1	
鉄筋コンクリート大型フリューム	側壁変更タイプ 材料費	式		1	
鉄筋コンクリート大型フリューム	底版開口タイプ 材料費	式		1	
鉄筋コンクリート大型フリューム	据付手間	m		128	
基礎工	鉄筋コンクリート大型フリューム 標準タイプ、側壁変更タイプ	m		124	
基礎工	鉄筋コンクリート大型フリューム 底版開口タイプ	m		4	
泥溜ピット工	底版開口部	箇所		1	
集水桝工		式			
現場打ち集水桝	M1号　B3000×L1000×H1800	箇所		1	
付帯工		式			
管理用道路工		式			
掘削	土砂　小規模(標準以外) 小規模(標準以外)	m３		50	
現場打ち擁壁①	W200×H340	m		60	
現場打ち擁壁②	天端200×根入300	m		70	
下層路盤（車道・路肩部）	全仕上り厚２００mm 1層施工	m２		356	
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 全仕上り厚１００mm	m２		361	
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚４０mm	m２		364	

＊＊工事数量総括表＊＊

費目・工種・種別・細別など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備考
防護施設工		式			
転落防止柵設置工	パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用 支柱間隔　３ｍ	ｍ		222	
転落防止柵設置工	パネル式（縦格子型）プレキャスト建込用 支柱間隔　２ｍ	ｍ		2	
地覆工	ボックスカルバート部	式			
コンクリート　無筋･鉄筋構造物	一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	ｍ３		0.3	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２		3	
鉄筋工	ＳＤ３４５　Ｄ１３ 差筋及び杭頭処理	ｔ		0.01	
天端コンクリート工	右岸側埋戻し部	式			
コンクリート　無筋･鉄筋構造物	一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	ｍ３		6	
既設水路接続工		式			
コンクリート　無筋･鉄筋構造物	一般養生 夜間割増なし　豪雪割増　工種条件と同じ	ｍ３		5	
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２		20	
点検用昇降ステップ設置工		式			
足掛金物据付	足掛金具　298㎜　φ12.7	本		6	
法面保護工	セメント複合フェルトマット工法	式			
セメント複合フェルトマット工法	材料費(同等品以上)	式		1	
セメント複合フェルトマット工法	施工手間	㎡		22	
構造物撤去工		式			

＊＊工事数量総括表＊＊

費目・工種・種別・細別など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備考
構造物取壊し工		式			
構造物とりこわし	鉄筋構造物　機械施工 低騒音・低振動対策　必要	ｍ３		169	
構造物とりこわし	無筋構造物　機械施工 低騒音・低振動対策　必要	ｍ３		15	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込　DID区間なし　5.7km以下	ｍ３		234	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込　DID区間なし　5.7km以下	ｍ３		20	
処分費	コンクリート殻　有筋 米山建材(株)	ｍ３		234	
処分費	コンクリート殻　無筋 米山建材(株)	ｍ３		20	
仮設工		式			
仮設道路工		式			
敷鉄板設置・撤去		ｍ２		1,109	
敷鉄板賃料	鋼板　２２×９１４×１８２９mm 供用日数１５０日	枚		664	
土木シート敷設・撤去工		ｍ２		1,140	
小型機械土工（トラクター）	耕起 砂・砂質土	ｍ２		985	
水替工		式			
大型土のう製作・設置	作業半径　６m以下	袋		4	
大型土のう撤去	作業半径　６m以下	袋		4	
据付・撤去工		現場		1	
水替工（潜水ポンプ運転）	φ５０㎜0.４Kw	日		150	

＊＊工事数量総括表＊＊

費目・工種・種別・細別など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備考
交通管理工		式			
交通誘導警備員Ｂ		人・日		105	
運搬費					
仮設材等の運搬	製品長１２m以内 運搬距離６．４km（×往復）	t		192	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み，取卸し（往復分）	t		192	
技術管理費					
スクリューウエイト貫入試験	ＧＬ－１０m以内 Ｎ値４以内	m		10	
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	90㎜以上100㎜未満 400㎜以上600㎜未満	孔		2	
室内CBR試験用試料採取　締め固める土	70kg　※舗装復旧費は別途計上	箇所		1	
締固めた土のコーン指数試験	1試料1供試体	試料		1	
土の粒度試験　(2) 砂・砂質土	試料４kg以上◇１試料－１個	試験		1	

数量計算書

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業
鳴海川河川改修工事 第2工区

数 量 総 括 表

R7緊急自然災害防止対策事業　鳴海川河川改修工事 第2工区
数量総括表　1/3

(ﾚﾍﾞﾙ1)	(ﾚﾍﾞﾙ2)	(ﾚﾍﾞﾙ3)	(ﾚﾍﾞﾙ4)	(ﾚﾍﾞﾙ5)			設計表示数量		
工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	当初	変更	差引
河川改良	河川土工	作業土工	床掘	C2　土砂　オープン	m3	1,026	1,000		
			埋戻し	B1　RC-40　1m≦W＜4m	m3	365	370		
				B3　RC-40　W＜1m	m3	140	140		
			埋戻し材　RC-40		m3	763	763		
			法面整形（盛土部）	L2	m2	22	20		
			基面整正	W1	m2	388	388		
			土砂等運搬	L＝15.5km以下	m3	1,075	1,080		
			残土処分		m3	1,075	1,080		
	排水構造物工	函渠工	ボックスカルバート 据付工	RCﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄB2200×H1600	m	4.5	5		
			縦締め工 材料費	PC鋼棒 B種1号 φ17	kg	21.2	21		
			〃	PC用定着装置	組	8.0	8		
			支持力対策工	グランドセルマットレス	m	4.5	4.5		
		開渠工	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ大型ﾌﾘｭｰﾑ(標準ﾀｲﾌﾟ)	H2000×B2200×L2000(標準)	本	24.0	24		
			〃	H2000×B2200×L1000(短尺)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1010/1283(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1510/1782(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1492/1799(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1297/1604(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1433/1469(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1732/1767(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1590/1789(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1171/1370(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1166/1375(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1556/1766(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1605/1717(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L907/1019(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L974/951(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H2000×B2200×L1662/1639(斜切)	本	1.0	1		
			〃	単粒度砕石3号 40～30mm	m3	2.1	2.0		
			据付手間・基礎工	H2000×B2200	m	69.41	69		

R7緊急自然災害防止対策事業　鳴海川河川改修工事 第2工区
数量総括表　2/3

(ﾚﾍﾞﾙ1)	(ﾚﾍﾞﾙ2)	(ﾚﾍﾞﾙ3)	(ﾚﾍﾞﾙ4)	(ﾚﾍﾞﾙ5)			設計表示数量		
工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	当初	変更	差引
			鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ大型ﾌﾘｭｰﾑ(側壁変更ﾀｲﾌﾟ)	H1400/2000×B2200×L2000(標準)	本	18.0	18		
			〃	H1400/2000×B2200×L1500(短尺)	本	4.0	4		
			〃	H1400/2000×B2200×L1000(短尺)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1774/1214(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1775/1215(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1528/1462(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L914/847(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1586/962(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1038/963(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1370/1295(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1422/1253(斜切)	本	1.0	1		
			〃	H1400/2000×B2200×L1111/943(斜切)	本	1.0	1		
			〃	単粒度砕石3号 40～30mm	m3	1.7	2.0		
			据付手間・基礎工	H1400/2000×B2200	m	54.59	55		
			鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ大型ﾌﾘｭｰﾑ(底版開口ﾀｲﾌﾟ)	H2000×B2200×L2000　(底版開口タイプ)	本	2.0	2		
			〃	単粒度砕石3号 40～30mm	m3	0.1	0.1		
			据付手間・基礎工	H2000×B2200	m	4.01	4		
			泥溜ピット工(現場打ち)	W1500×L1000×H310	箇所	1.0	1		
		集水桝工	現場打集水桝 M-1	B3000×L1000×H1800	箇所	1.0	1		
	付帯工	管理用道路工	掘削	C3　土砂　小規模	m3	49.0	50		
			現場打ち擁壁①	W200×H340	m	60.0	60		
			現場打ち擁壁②	天端200×根入300	m	70.0	70		
			下層路盤工	RC-40 t=20cm	m2	355.6	356		
			上層路盤工	M-25 t=10cm	m2	361.2	361		
			表層工	再生密粒度As20F t=4cm	m2	364.0	364		
		防護施設工	転落防止柵	H=1100、W=3000	m	221.8	222		
			転落防止柵(両開き門扉)	H=1100、W=2000	m	2.0	2		
		地覆工	コンクリート	18-8-25BB	m3	0.3	0.3		
			型枠工		m2	2.8	3		
			差筋	SD345 D13	t	0.01	0.01		

R7緊急自然災害防止対策事業　鳴海川河川改修工事 第2工区
数量総括表　3/3

(ﾚﾍﾞﾙ1)	(ﾚﾍﾞﾙ2)	(ﾚﾍﾞﾙ3)	(ﾚﾍﾞﾙ4)	(ﾚﾍﾞﾙ5)			設計表示数量		
工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	当初	変更	差引
		天端コンクリートエ	t=5cm 右岸側埋戻し部	捨-8-25BB	m3	5.8	6		
		既設水路接続工	コンクリート	18-8-40BB	m3	5.4	5		
			型枠工		m2	20.2	20		
		点検用昇降ステップ設置工	足掛金具	W=298	本	6.0	6		
		法面保護工	セメント複合フェルトマット工法	材料	式	1.0	1		
				施工手間	m2	21.8	22		
	構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	168.5	169		
			〃	無筋構造物　機械施工	m3	15.0	15		
			殻運搬	コンクリート殻（鉄筋）機械積込	m3	234.0	234		
			〃	コンクリート殻（無筋）機械積込	m3	19.5	20		
			殻処分	コンクリート殻（鉄筋）	m3	234.0	234		
			〃	コンクリート殻（無筋）	m3	19.5	20		
	仮設工	仮設道路工	敷鉄板　設置・撤去	t22×914×1829	m2	1109.1	1,109		
			敷鉄板　賃料	〃	枚	664.0	664		
			土木シート 敷設・撤去		m2	1137.0	1,140		
			耕起		m2	985.4	985		
		水替工	大型土のう	製作・設置	袋	4.0	4		
			〃	撤去	袋	4.0	4		
			水中ポンプ据付・撤去		現場	1.0	1		
			水中ポンプ運転	φ50 0.4kW 6台	日	150	150		
		交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	105	105		
運搬費	運搬費	運搬費	仮設材運搬費	往復　L=6.4km	t	191.9	192		
技術管理費	技術管理費	技術管理費	技術管理費	スクリューウェイト貫入試験	m	10.0	10		
				コンクリート削孔	孔	2.0	2		
				試験用試料採取	箇所	1.0	1		
				締固めた土のコーン指数試験	試料	1.0	1		
				土の粒度試験	試験	1.0	1		

土　工

土工数量集計表

名　　称	記号	計　　算　　式	数　　量
【作業土工】			
掘削	C1	V　= 土量及び面積計算書より　= 0.0	0　m3
床掘	C2	V　= 土量及び面積計算書より　= 1026.2	
		オープン掘削　1026.2	1026　m3
埋戻し	B1	V　= 土量及び面積計算書より　= 364.6	
(RC-40)		B1　最大埋戻幅 1m≦W<4m　364.6	365　m3
埋戻し（間詰）	B3	V　= 土量及び面積計算書より　= 140.0	m3
(RC-40)		B3　最大埋戻幅 W<1m　140.0	140　m3
盛土	B2	V　= 土量及び面積計算書より　= 0.0	0　m3
(RC-40)			
埋戻し材		(埋戻し材 RC-40)　L/C　ロス率	
		V　=　504.6 ＊　1.26 ＊　1.2 =　763.0	763　m3
盛土法面整形	L2	A　= 土量及び面積計算書より　= 21.8	22　m2
基面整正	W1	A　= 土量及び面積計算書より　= 388.2	388　m2
土砂運搬・処分		V　= 上記 床掘C2数量より　= 1026.2	1075　m3
		= 付帯工 管理道路掘削C3数量より　= 49.0	
		合計　1075.2	

排水路　土量及び面積計算書

No. 1

測　　点			掘削:C1			床掘:C2						摘要
			断面積	平均断面積	土量	断面積	平均断面積	土量	断面積	平均断面積	土量	
測点名	追加距離	単距離	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m3	
158.87	158.870	－	0.0	－	－	8.8	－	－				※測点160断面を準用
160.00	160.000	1.130	0.0	0.00	0.0	8.8	8.80	9.9				
180.00	180.000	20.000	0.0	0.00	0.0	8.2	8.50	170.0				
200.00	200.000	20.000	0.0	0.00	0.0	8.0	8.10	162.0				
220.00	220.000	20.000	0.0	0.00	0.0	7.5	7.75	155.0				
240.00	240.000	20.000	0.0	0.00	0.0	7.1	7.30	146.0				
260.00	260.000	20.000	0.0	0.00	0.0	7.3	7.20	144.0				
280.00	280.000	20.000	0.0	0.00	0.0	7.2	7.25	145.0				
292.74	292.740	12.740	0.0	0.00	0.0	7.6	7.40	94.3				※測点300断面を準用
合計		133.870			0.0			1026.2				

排水路　土量及び面積計算書

No. 1

測　点			埋戻し:B1			盛土:B2			埋戻(間詰):B3			摘要
			断面積	平均断面積	土量	断面積	平均断面積	土量	断面積	平均断面積	土量	
測点名	追加距離	単距離	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m3	
158.87	158.870	－	3.3	－	－	0.0	－	－	1.2	－	－	※測点160断面を準用
160.00	160.000	1.130	3.3	3.30	3.7	0.0	0.00	0.0	1.2	1.20	1.4	【埋戻し:B1】1m≦W＜4m 【埋戻(間詰):B3】W＜1m
180.00	180.000	20.000	2.8	3.05	61.0	0.0	0.00	0.0	1.2	1.20	24.0	
200.00	200.000	20.000	3.0	2.90	58.0	0.0	0.00	0.0	1.2	1.20	24.0	
220.00	220.000	20.000	2.5	2.75	55.0	0.0	0.00	0.0	1.2	1.20	24.0	
240.00	240.000	20.000	2.5	2.50	50.0	0.0	0.00	0.0	0.9	1.05	21.0	
260.00	260.000	20.000	2.5	2.50	50.0	0.0	0.00	0.0	1.0	0.95	19.0	
280.00	280.000	20.000	2.5	2.50	50.0	0.0	0.00	0.0	0.9	0.95	19.0	
292.74	292.740	12.740	3.3	2.90	36.9	0.0	0.00	0.0	0.3	0.60	7.6	※測点300断面を準用
合計		133.870			364.6			0.0			140.0	

排水路　土量及び面積計算書

No. 1

測　点			切土法面整形:L1			盛土法面整形:L2						摘要
			延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積	
測点名	追加距離	単距離	m	m	m2	m	m	m2	m	m	m2	
158.87	158.870	－	0.0	－	－	0.7	－	－				※測点160断面を準用
160.00	160.000	1.130	0.0	0.00	0.0	0.7	0.70	0.8				
180.00	180.000	20.000	0.0	0.00	0.0	0.3	0.50	10.0				
200.00	200.000	20.000	0.0	0.00	0.0	0.4	0.35	7.0				
220.00	220.000	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.20	4.0				
240.00	240.000	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0				
260.00	260.000	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0				
280.00	280.000	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0				
292.74	292.740	12.740	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0				※測点300断面を準用
合計		133.870			0.0			21.8				

排水路　土量及び面積計算書

No. 1

測　点			基面整正:W1						As取壊し:W3			摘要
			延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積	
測点名	追加距離	単距離	m	m	m2	m	m	m2	m	m	m2	
158.87	158.870	－	2.9	－	－				0.0	－	－	※測点160断面を準用
160.00	160.000	1.130	2.9	2.90	3.3				0.0	0.00	0.0	
180.00	180.000	20.000	2.9	2.90	58.0				0.0	0.00	0.0	
200.00	200.000	20.000	2.9	2.90	58.0				0.0	0.00	0.0	
220.00	220.000	20.000	2.9	2.90	58.0				0.0	0.00	0.0	
240.00	240.000	20.000	2.9	2.90	58.0				0.0	0.00	0.0	
260.00	260.000	20.000	2.9	2.90	58.0				0.0	0.00	0.0	
280.00	280.000	20.000	2.9	2.90	58.0				0.0	0.00	0.0	
292.74	292.740	12.740	2.9	2.90	36.9				0.0	0.00	0.0	※測点300断面を準用
合計		133.870			388.2						0.0	

函 渠 工

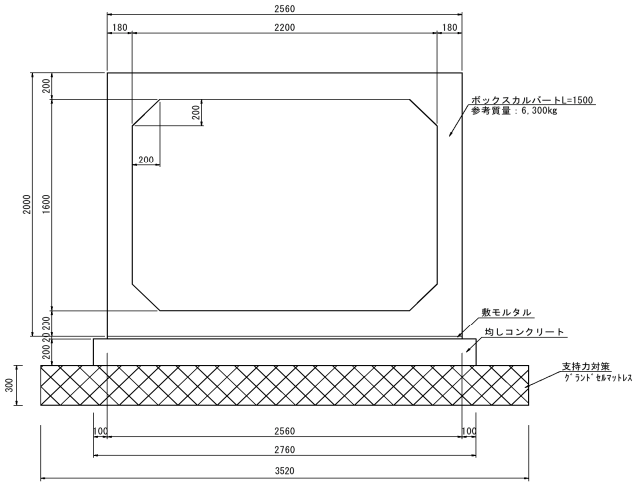
延　長　調　書

名称	形状・寸法	左右	測点		単位	数量
			自	至		
函渠工	RCボックスカルバート					
B2200型　据付	B2200×H1600		測点 262.50	測点 267.00	m	4.51
〃　材料費	B2200×H1600×L1500(標準)				個	3.0
		※数量は、布設する実際の製品延長である。				
縦締め用　材料費	PC鋼棒 B種1号 φ17				kg	21.2
	PC用定着装置				組	8.0

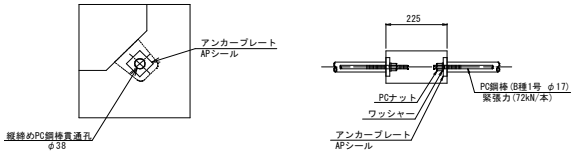
細　　別	RCﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ B2200×H1600	数　　量	4.5 m

延長(1) =　4.5 m

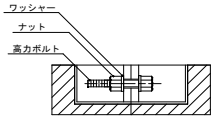
ΣL　=　4.5 m



PC縦締め詳細図 S=1:10



連結ボルト詳細図 S=FREE



4.5m当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
RCﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ B2200×H1600	製品長L=1.5m(T-25)　参考重量W=6,300Kg　直接基礎	
置換工(ｼﾞｵﾚｽﾏｯﾄﾚｽ)	A =　3.52 ＊　4.50　　=　15.84	15.8 m2
(RC40-0 t=300)	V =　3.52 ＊　0.30 ＊　4.50　　=　4.75	4.8 m3
型枠工	A =　(0.20 +　0.20) ＊　4.50　　=　1.80	1.8 m2
均しコンクリート	V =　2.760 ＊　0.20 ＊　4.50　　=　2.48	2.5 m3
(18-8-25BB W/C≦60%)		
敷モルタル	V =　2.56 ＊　0.02 ＊　4.50　　=　0.23	0.2 m3
(1:3)		
カルバート本体	製品長 L=1500(標準)　　=　3.00	3.0 本
PC鋼棒	N =　2.975 ＊　4本　　=　11.90	11.9 m
(B種1号 φ17mm)	11.90 ＊　1.78　kg/m　　=　21.18	21.2 kg
定着用部材	N =　　=　8.00	8.0 個
(PCﾅｯﾄ M18)		
定着用部材	N =　　=　8.00	8.0 枚
(ﾜｯｼｬｰ M18用)		
定着用部材	N =　　=　8.00	8.0 枚
(ｱﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄφ17用GH付き)		
APシール	N =　　=　8.00	8.0 枚

開 渠 工

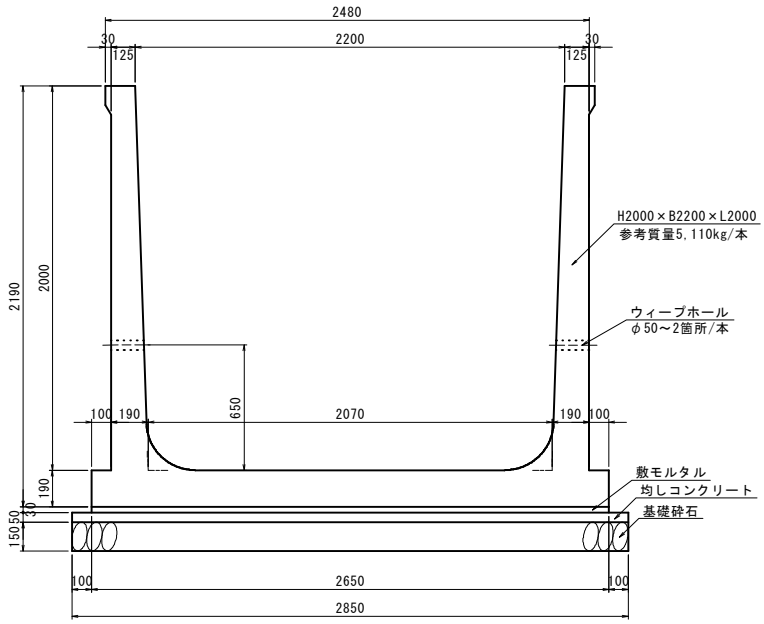
延　長　調　書

名称	形状・寸法	左右	測点		単位	数量
			自	至		
開渠工	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ大型ﾌﾘｭｰﾑ					
大型ﾌﾘｭｰﾑ 据付手間	H2000×B2200 (標準タイプ)		測点 158.87	測点 231.68	m	69.41
〃　材料費	H2000×B2200×L2000(標準)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	24.0
	H2000×B2200×L1000(短尺)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1010/1283(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1510/1782(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1492/1799(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1297/1604(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1433/1469(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1732/1767(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1590/1789(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1171/1370(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1166/1375(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1556/1766(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1605/1717(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L907/1019(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L974/951(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	H2000×B2200×L1662/1639(斜切)　(標準タイプ、ウィープホールφ50付)				本	1.0
	単粒度砕石3号 40～30mm				m3	2.1
大型ﾌﾘｭｰﾑ 据付手間	H1400/2000×B2200(右岸側壁短尺タイプ)		測点 231.68	測点 262.50	m	30.48
			測点 267.00	測点 274.52	m	7.52
			測点 276.21	測点 292.74	m	16.59
				ΣL＝	m	54.59
〃　材料費	H1400/2000×B2200×L2000(標準)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	18.0
	H1400/2000×B2200×L1500(短尺)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	4.0
	H1400/2000×B2200×L1000(短尺)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1774/1214(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1775/1215(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1528/1462(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L914/847(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1586/962(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1038/963(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1370/1295(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1422/1253(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	H1400/2000×B2200×L1111/943(斜切)　(右岸側壁短尺ﾀｲﾌﾟ、ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙφ50付)				本	1.0
	単粒度砕石3号 40～30mm				m3	1.7
大型ﾌﾘｭｰﾑ 据付手間	H2000×B2200 (底版開口タイプ)		測点 190.52	測点 194.53	m	4.01
〃　材料費	H2000×B2200×L2000　(底版開口タイプ、ウィープホールφ50付)				本	2.0
	単粒度砕石3号 40～30mm				m3	0.1
			※数量は、布設する実際の製品延長である。			

細　　別	大型ﾌﾘｭｰﾑ　H2000×B2200	数　　量	69.4　m

延長(1)　=　69.4 m

ΣL　=　69.4 m

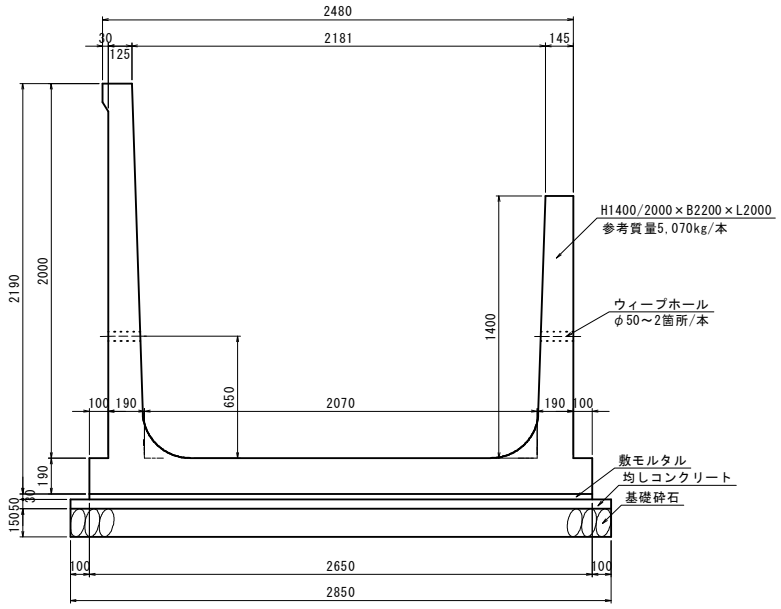


10m当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
大型ﾌﾘｭｰﾑ　H2000×B2200	製品長L=2.0m(T-25)　参考重量W=5,110Kg	
基礎材	A =　2.85 ＊　10.00　　=　28.50	28.5 m2
(RC40-0 t=150)	V =　2.85 ＊　0.15 ＊　10.00　　=　4.28	4.3 m3
基礎型枠工	A =　(0.05 +　0.05) ＊　10.00　　=　1.00	1.0 m2
均しコンクリート	V =　2.850 ＊　0.05 ＊　10.00　　=　1.43	1.4 m3
(18-8-25BB W/C≦60%)		
敷モルタル	V =　2.65 ＊　0.03 ＊　10.00　　=　0.80	0.8 m3
(1:3)		
フリューム本体	N =　10.00 /　2.00　　=　5.00	5.0 本
ウィープホール	N =　1.0＊2 箇所＊　5 本　　=　10.00	10.0 個
(φ50　2箇所/本)		

細　　別	大型ﾌﾘｭｰﾑ　H1400/2000×B2200	数　　量	54.6　m

延長(1)　=　54.6 m

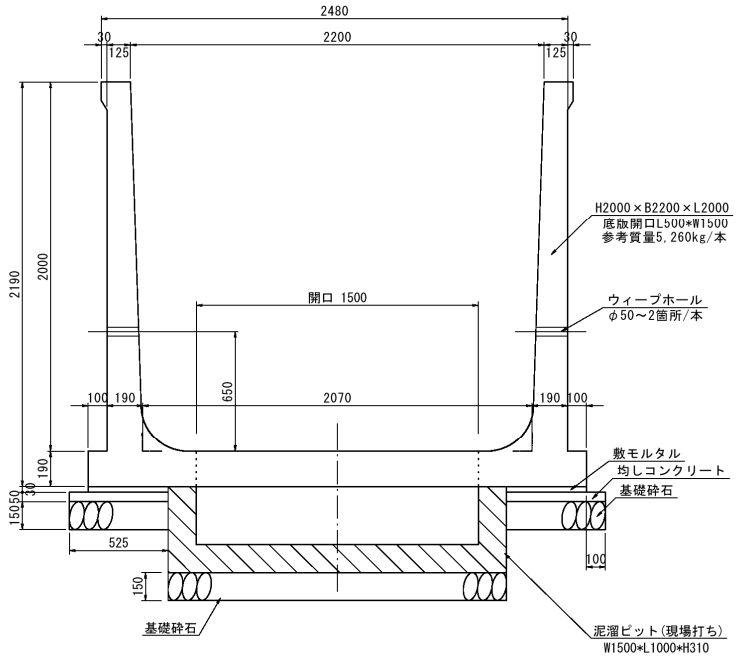


ΣL　=　54.6 m

10m当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
大型ﾌﾘｭｰﾑ　H1400/2000×B2200　　製品長L=2.0m(T-25)　参考重量W=5,070Kg		
基礎材	A =　2.85 ＊　10.00　　=　28.50	28.5 m2
(RC40-0 t=150)	V =　2.85 ＊　0.15 ＊　10.00　　=　4.28	4.3 m3
基礎型枠工	A =　(0.05 +　0.05) ＊　10.00　　=　1.00	1.0 m2
均しコンクリート	V =　2.850 ＊　0.05 ＊　10.00　　=　1.43	1.4 m3
(18-8-25BB W/C≦60%)		
敷モルタル	V =　2.65 ＊　0.03 ＊　10.00　　=　0.80	0.8 m3
(1:3)		
フリューム本体	N =　10.00 /　2.00　　=　5.00	5.0 本
ウィープホール	N =　1.0＊2 箇所＊　5 本　　=　10.00	10.0 個
(φ50　2箇所/本)		

細　　別	大型ﾌﾘｭｰﾑ　H2000×B2200(底版開口タイプ)	数　　量	4.0　m



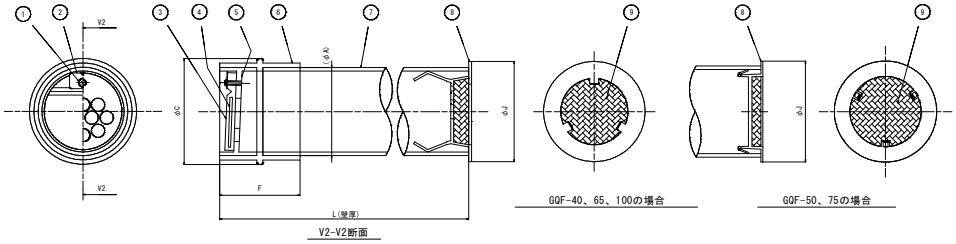
延長(1)　=　4.0 m

ΣL　=　4.0 m

4m当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
大型ﾌﾘｭｰﾑ　H2000×B2200(底版開口タイプ)	製品長L=2.0m(T-25)　参考重量W=5,260Kg	
基礎材	A =　(2.85 ＊　4.00) - (1.30 ＊　1.80)　=　9.06	9.1 m2
(RC40-0 t=150)	V =　9.06 ＊　0.15　=　1.36	1.4 m3
基礎型枠工	A =　(0.05 +　0.05) ＊　4.00　=　0.40	0.4 m2
均しコンクリート	V =　9.060 ＊　0.05　=　0.45	0.5 m3
(18-8-25BB W/C≦60%)		
敷モルタル	V =　(2.65 ＊　4.00 -　1.30 ＊　1.80) ＊　0.03 =　0.25	0.3 m3
(1:3)		
フリューム本体	N =　4.00 /　2.00　=　2.00	2.0 個
ウィープホール	N =　1.0＊2 箇所＊　2 本　=　4.00	4.0 個
(φ50　2箇所/本)		

細　　別	差込式ウィープホール		



部材名称

番号	名称		数量	材質	
1	ビス	30～100	1	SUS304	
		125～150	2		
※注2 2	特殊縛金		1	SUS304	
3	ゴム弁		1	EPDM	
4	インシート管		1	30～65	SUS304
				75～150	SPC
※注3 5	伸縮		1	ABS	
※注3 6	30～100	ソケット	1	ABS	
	65～150	ソケット	1	H-PVC	
	125	単差込ソケット			
7	本体		1	H-PVC	
※注3 8	フィルター		1	40、65、100	ABS
				30～75	PP
				30～125、150	PE
9	吸出し防止材		1	合繊不織布	

寸法表　　単位：mm

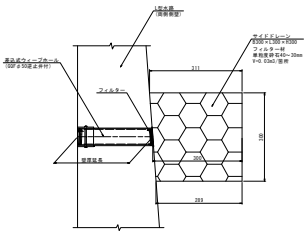
品番	A	C	F	J	L	長さ寸法
GQF-30	38	52	42	35		52
GQF-40	46	60	47	54		67
GQF-50	60	76	53	68		70
GQF-65	76	83	73	78		92
GQF-75	88	115	84	98		98
GQF-100	114	124	104	125		105
GQF-125	140	151	124	125		124
GQF-150	165	170	144	165		164

※注意事項

1. 特殊縛金は、30～100のみの付属となります。
2. 縛は、サイズにより形状が異なります。
3. ゴムソケットは、サイズにより形状が異なります。
4. フィルターは、サイズにより形状が異なります。

・GQF-125のみ、単差とソケットは一体型となり、
材質はH-PVCとなります。

差込式ウィープホール構造図　S=1:5
(GQF-φ50逆止弁付)



10m当り

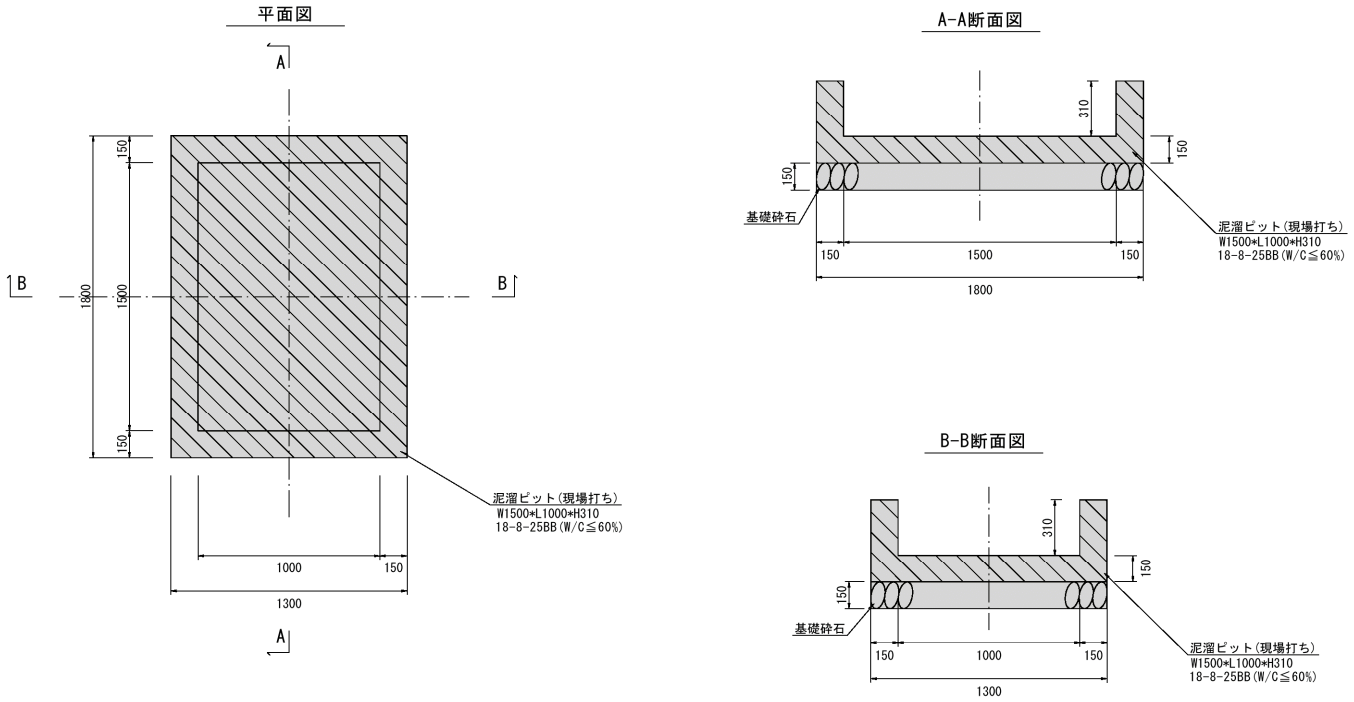
種　　別	計　　算　　式	数　　量
差込式ウィープホール	排水路製品長L=@2.00mにつき、1箇所設置	
(GQF-φ50逆止弁付)		
ウィープホール本体	N =　5 * 2 箇所　= 10.00	10.0 個
(GQF-φ50逆止弁付)		
サイドドレーン	A =　0.30 *　0.30 *　10　= 0.90	0.9 m2
(B300×L300×H300)	V =　0.30 *　0.30 *　0.30 *　10　= 0.27	0.3 m3
単粒度砕石3号 40～30mm		

※水路の浮上がり対策は、フーチング(張出し底版)により対応しているが、現場状況により湧水が多量の場合は設置を検討のこと。

泥溜ピット（現場打ち）　　数量計算書

1式当たり

図　　面



名　　称	形状・寸法	計　　算　　式		数　　量
コンクリート	18-8-25BB (W/C≦60%)	V　=　排水工構造図(3)より	=　0.61	0.6　m3
型枠工		A　=　排水工構造図(3)より	=　4.40	4.4　m2
基礎砕石 (t=150)	RC-40	A　=　排水工構造図(3)より	=　2.34	2.3　m2

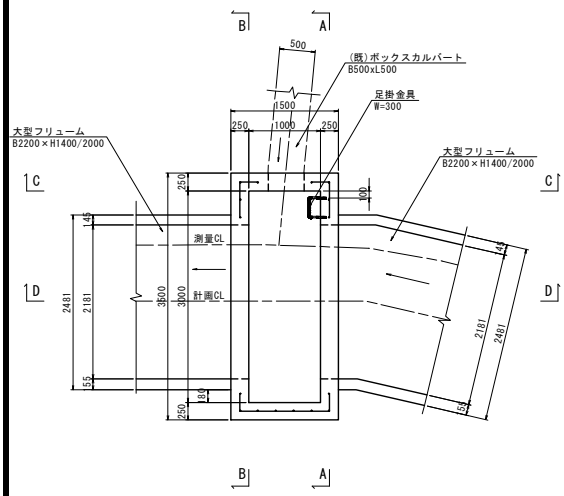
集 水 桝 工

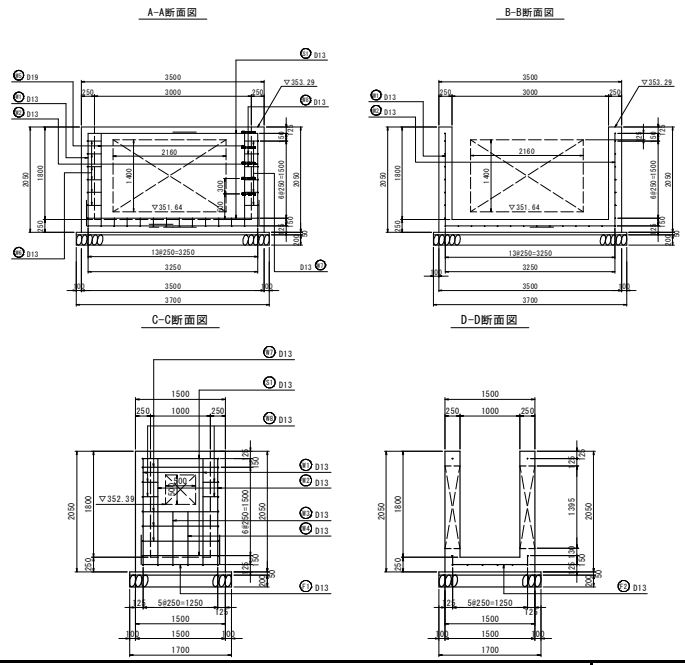
延　長　調　書

名称	形状・寸法	左右	測点		単位	数量
			自	至		
現場打ち集水桝						
現場打集水桝 M-1	B3000×L1000×H1800		測点 275.30	―	基	1.0
				ΣN=	基	1.0

細　別	現場打集水桝 M-1	数　量	1.0　基

平 面 図





名　称	形状・寸法	計　算　式	数　量
有筋(鉄筋重量表参照)		B3000 × L1000 × H1800 H1 = 250　B1,B2 = 250	
コンクリート (21-8-25BB)	外体積	V1 = 3.50 × 1.50 × 2.05 = 10.76	
	内体積	V2 = 3.00 × 1.00 × 1.80 = -5.40	
	蓋控除	V3 = 0.20 × 0.09 × 6.00 = -0.11	
	接続①	V4 = 開口2160×1400　3.024 × 0.25 = -0.756	
	接続②	V5 = 開口2160×1400　3.024 × 0.25 = -0.756	
	接続③	V6 = 開口500×500　0.250 × 0.25 = -0.063	
		ΣV = 3.68	3.7 m3
型枠工	外体積	A1 = (3.50 ＋ 1.50) × 2 × 2.05 = 20.50	
	内体積	A2 = (3.00 ＋ 1.00) × 2 × 1.80 = 14.40	
	接続①	A3 = 開口2160×1400　3.024 × 2 = -6.048	
	接続②	A4 = 開口2160×1400　3.024 × 2 = -6.048	
	接続③	A5 = 開口500×500　0.250 × 2 = -0.500	
		ΣA = 22.30	22.3 m2
基礎材	RC40-0 t=200	A = 3.70 × 1.70 = 6.29	6.3 m2
均しｺﾝ型枠工		A = (3.70 ＋ 1.70) × 2 × 0.05 = 0.54	0.5 m2
均しコンクリート	捨-8-25BB	V = 3.70 × 1.70 × 0.05 = 0.31	0.3 m3
足掛金具	W=298	N = = 5	5 本
グレーチング蓋		× =	式
鉄筋	SD345 D13	W = = 108.90	108.9 Kg
	SD345 D19	W = = 21.80	21.8 Kg

鉄筋重量表　　M1-B3000×L1000×H1800

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	総重量	備考
	D	m	本	kg/m	kｇ	kｇ	
F1	D13	2.250	2	0.995	2.24	4.5	
F2	D13	1.550	10	0.995	1.54	15.4	
W1	D13	3.425	4	0.995	3.41	13.6	
W2	D13	3.875	4	0.995	3.86	15.4	
W3	D13	2.525	2	0.995	2.51	5.0	
W4	D13	2.975	2	0.995	2.96	5.9	
W5	D19	4.850	2	2.250	10.91	21.8	
W6	D13	1.750	10	0.995	1.74	17.4	
W7	D13	2.250	4	0.995	2.24	9.0	
W8	D13	0.750	4	0.995	0.75	3.0	
S1	D13	4.950	4	0.995	4.93	19.7	
			合計	SD345	D13	108.9	
				SD345	D19	21.8	

付　帯　工

延　長　調　書

名称	形状・寸法	左右	測点		単位	数量
			自	至		
付帯工						
管理用道路	左岸　W=3000	L	測点 160.00	測点 290.00	m	130.0
（擁壁工、舗装工）				ΣL=	m	130.0
転落防止柵	H=1100、W=3000	R	測点 160.00	測点 258.00	m	98.0
		L	測点 160.00	測点 262.50	m	101.3
		L	測点 267.00	測点 290.00	m	22.5
				ΣL=	m	221.8
転落防止柵(両開き門扉)	H=1100、W=2000	L	測点 192.50	—	箇所	1.0
				ΣN=	箇所	1.0
地覆	ボックスカルバート両端		測点 262.50	測点 267.00	箇所	2.0
				ΣN=	箇所	2.0
天端コンクリート	t=5cm 右岸側埋戻し部	R	測点 160.00	測点 290.00	m	130.0
				ΣL=	m	130.0
既設水路接続	施工区間 上下流端		測点 158.87	測点 292.74	箇所	2.0
				ΣN=	箇所	2.0
点検用昇降ステップ	足掛金具 W=298	L	測点 193.50	—	箇所	1.0
				ΣN=	箇所	1.0
法面保護	左岸側 水路脇法面	L	測点 158.87	測点 220.00	m	61.1
				ΣL=	m	61.1

管理用道路工　数量集計表

名　　称	記号	計　　算　　式	数　　量
【管理道路工】			
管理道路掘削	C3	V　= 別紙土量及び面積計算書より　=　49.0 ※上記掘削に伴う残土処分は作業土工に合算計上	49　m3
現場打ち擁壁① (W200×H340)		L　= 別紙擁壁工数量計算書より　=　60.0	60　m
現場打ち擁壁② (天端200×根入300)		L　= 別紙擁壁工数量計算書より　=　70.0	70　m
下層路盤工 (RC-40 t=20cm)		A　= 別紙舗装面積計算書より　=　355.6	356　m2
上層路盤工 (M-25 t=10cm)		A　= 別紙舗装面積計算書より　=　361.2	361　m2
表層工 (再生密粒度As20F t=4cm)		A　= 別紙舗装面積計算書より　=　364.0	364　m2

管理用道路　土量及び面積計算書

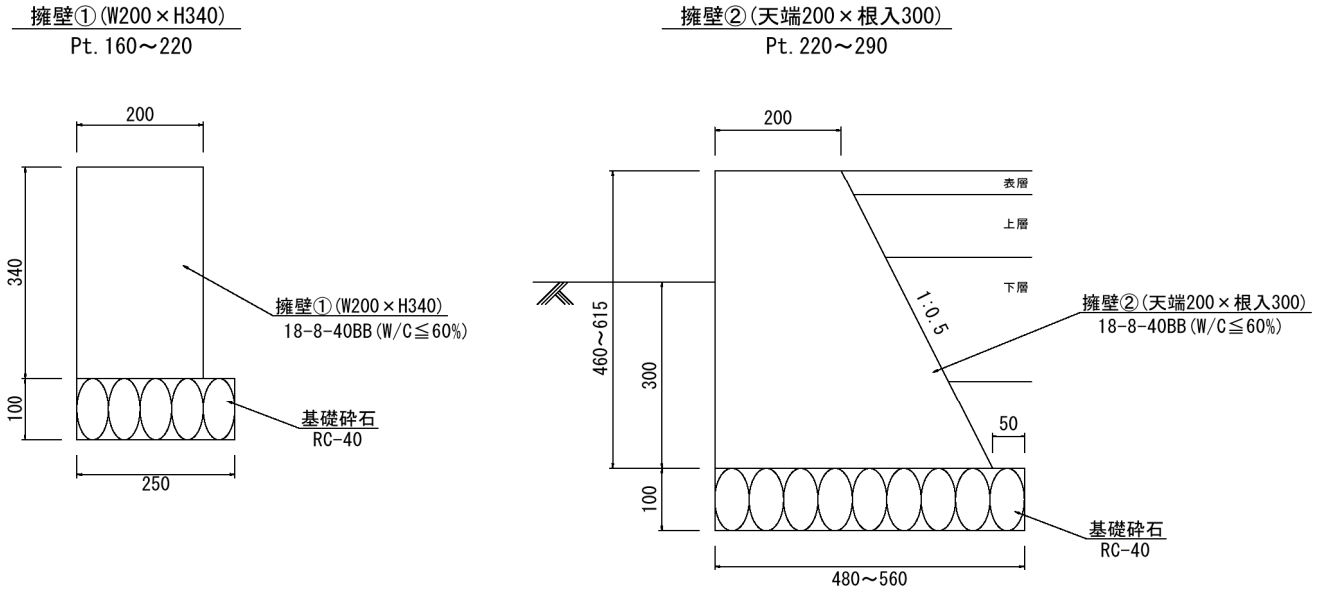
No. 1

測　　点			管理道路掘削:C3			管理道路埋戻:B4			不陸整正:W2			摘要
			断面積	平均断面積	土量	断面積	平均断面積	土量	延長	平均延長	面積	
測点名	追加距離	単距離	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m	m	m2	
160.00	160.000	－	0.5	－	－	0.0	－	－	0.0	－	－	
180.00	180.000	20.000	0.5	0.50	10.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
200.00	200.000	20.000	0.5	0.50	10.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
220.00	220.000	20.000	0.4	0.45	9.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
240.00	240.000	20.000	0.3	0.35	7.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
260.00	260.000	20.000	0.3	0.30	6.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
280.00	280.000	20.000	0.2	0.25	5.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
290.00	290.000	10.000	0.2	0.20	2.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	※測点300断面を準用
合計		130.000			49.0			0.0			0.0	

管理用道路　擁壁工　　数量計算書

10m当たり

図　　面



10m当たり

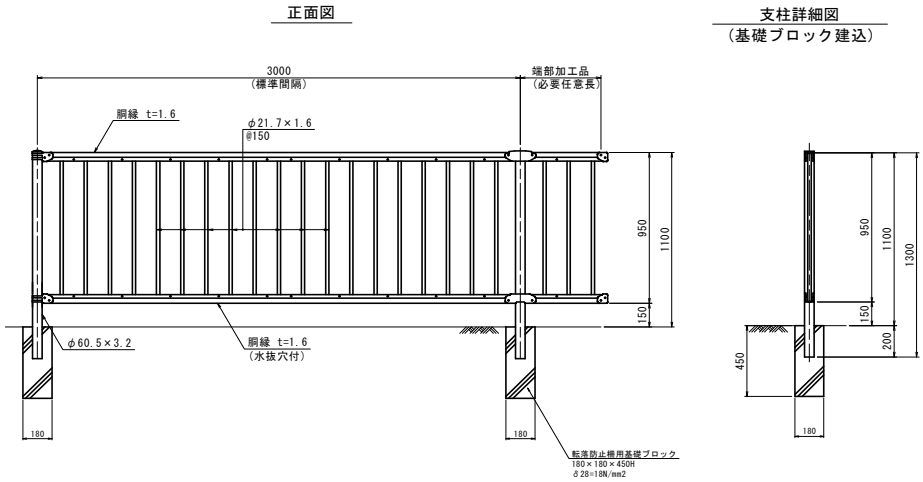
名　　称	形状・寸法	計　　算　　式	数　　量
【擁壁①】	W200×H340	Pt160.0 ～ 220 延長L=	60.0 m
コンクリート	18-8-40BB (W/C≦60%)	V = 0.20 ＊ 0.34 ＊ 10.0 = 0.68	0.7 m3
型枠		A = 0.34 ＊ 2.0 ＊ 10.0 = 6.80	6.8 m2
基礎砕石	RC-40 t=100	A = 0.25 ＊ 10.0 = 2.50	2.5 m2
【擁壁②】	天端200×根入300	Pt220.0 ～ 290 延長L=	70.0 m
コンクリート	18-8-40BB (W/C≦60%)	平均値より V = (0.20 + 0.47) ＊ 0.54 / 2.0 ＊ 10.0 = 1.81	1.8 m3
型枠		平均値より A = (0.54 + 0.61) ＊ 10.0 = 11.50	11.5 m2
基礎砕石	RC-40 t=100	平均値より A = 0.52 ＊ 10.0 = 5.20	5.2 m2

舗装面積計算書（管理用道路）

測点	追加距離(m)	単距離(m)	幅員(m)			平均幅員（m）			区間長(m)	面積（m2）			備　　考
			表層	上層	下層	表層	上層	下層		表層	上層	下層	
			W1	W2	W3	W1	W2	W3		W1	W2	W3	
160.00	160.000	－	2.80	2.80	2.80	－	－	－	－	－	－	－	管理用道路
180.00	180.000	20.000	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	20.0	56.0	56.0	56.0	
200.00	200.000	20.000	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	20.0	56.0	56.0	56.0	
220.00	220.000	20.000	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	20.0	56.0	56.0	56.0	
220.00	－	－	2.80	2.76	2.68	－	－	－	－	－	－	－	測点220 変化点
240.00	240.000	20.000	2.80	2.76	2.68	2.80	2.76	2.68	20.0	56.0	55.2	53.6	
260.00	260.000	20.000	2.80	2.76	2.68	2.80	2.76	2.68	20.0	56.0	55.2	53.6	
280.00	280.000	20.000	2.80	2.76	2.68	2.80	2.76	2.68	20.0	56.0	55.2	53.6	
290.00	290.000	10.000	2.80	2.76	2.68	2.80	2.76	2.68	10.0	28.0	27.6	26.8	※測点300 断面を準用
合計		130.000						合　計	130.000	364.0	361.2	355.6	

細　　別	転落防止柵(H=1100)	数　　量	221.8 m

箇所(1) = 98.0 m
箇所(2) = 101.3 m
箇所(3) = 22.5 m
ΣN = 221.8 m

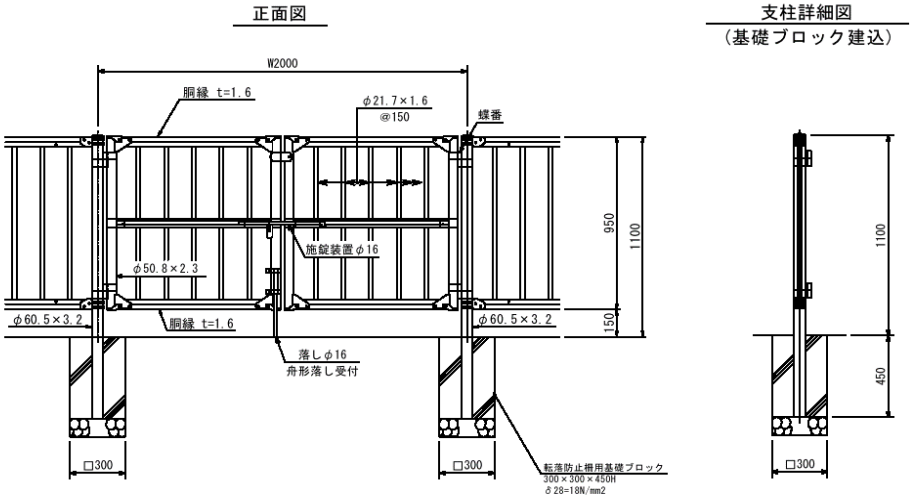


10m当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
転落防止柵(H=1100)	製品長L=@3.00m　H=1.10m	
転落防止柵	L = = 10.00	10.0 m
転落防止柵用基礎ブロック	N = = 3.30	3.3 個
(180×180×450H)		

細　　別	転落防止柵(両開き門扉)	数　　量	1.0　箇所

箇所(1)　=　1.0 箇所



ΣN　=　1.0 箇所

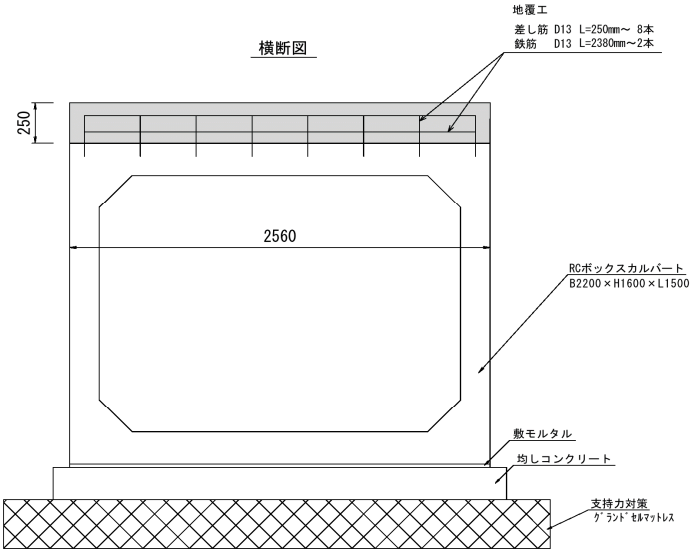
1箇所当り

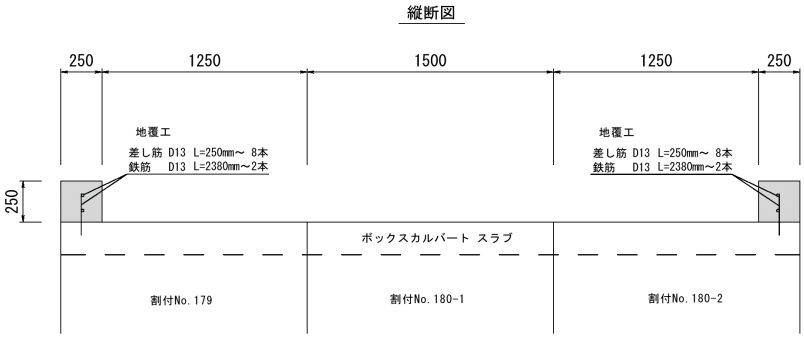
種　　別	計　　算　　式	数　　量
転落防止柵(両開き門扉)	製品長W=2.00m　H=1.10m	
転落防止柵(両開き門扉)	L =　　=　2.00	2.0 m
転落防止柵用基礎ブロック	N =　　=　2.00	2.0 個
(300×300×450H)		
基礎砕石	N =　　=　2.00	2.0 箇所
(RC-40 t=100)		

地覆工(ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ ｽﾗﾌﾞ上)　　数量計算書

1式当たり

図　面





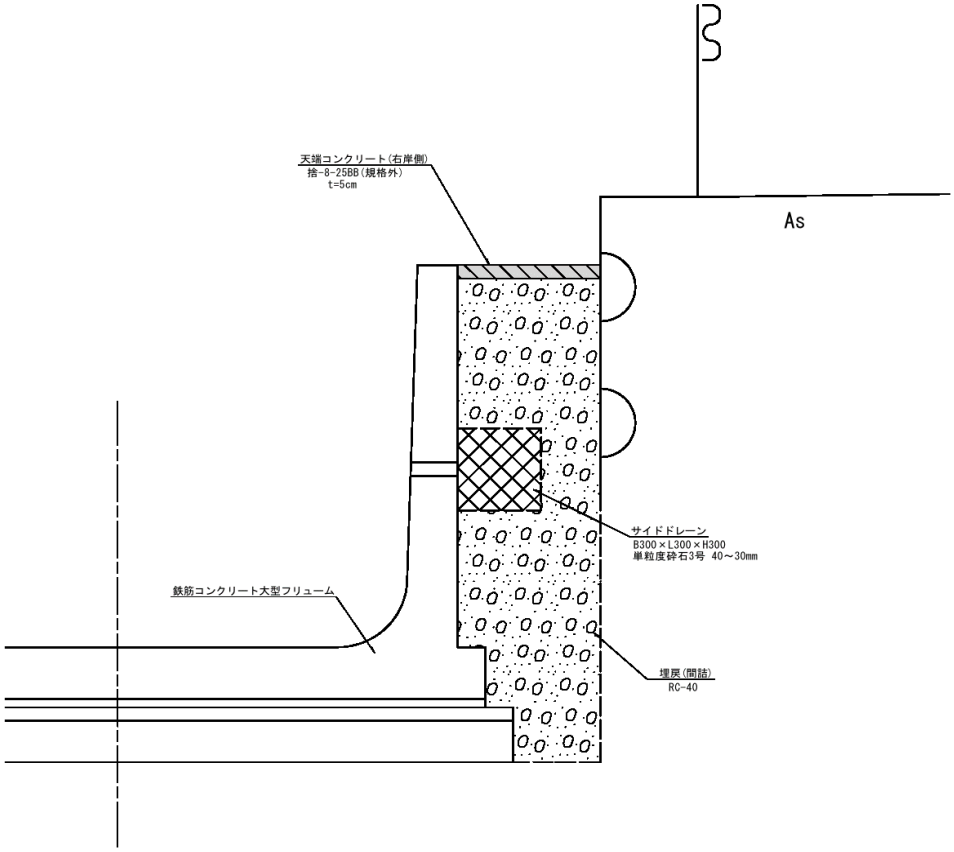
名　称	形状・寸法	計　算　式		数　量
コンクリート	18-8-25BB (W/C≦55%)	V = 付帯工構造図(1)より	= 0.32	0.3 m3
型枠工		A = 付帯工構造図(1)より	= 2.80	2.8 m2
差筋	SD345 D13	W = 付帯工構造図(1)より	= 13.50	13.5 Kg

天端コンクリート(右岸側埋戻部)　　数量計算書

1式当たり

図　　面

天端コンクリート(右岸側埋戻部) 標準図　S=NON



名　　称	形状・寸法	計　　算　　式	数　　量
コンクリート	捨-8-25BB (t=5cm)	V = 別紙打設量計算書より　　= 5.80	5.8 m3

天端コンクリート　打設量計算書

No. 1

測　　点			天端コンクリート:B5									摘要
			断面積	平均断面積	打設量							
測点名	追加距離	単距離	m2	m2	m3							
160.00	160.000	0.000	0.04	－	－							
180.00	180.000	20.000	0.08	0.06	1.2							
200.00	200.000	20.000	0.05	0.07	1.4							
220.00	220.000	20.000	0.04	0.05	1.0							
240.00	240.000	20.000	0.02	0.03	0.6							
260.00	260.000	20.000	0.04	0.03	0.6							
280.00	280.000	20.000	0.04	0.04	0.8							
290.00	290.000	10.000	0.00	0.02	0.2							※測点300断面を準用
合計		130.000			5.8							

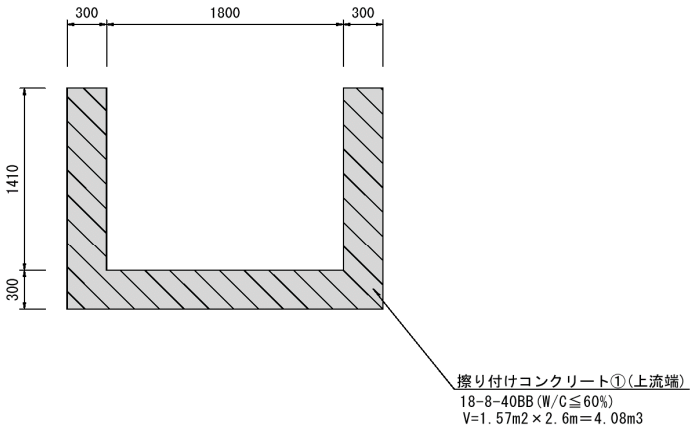
既設水路接続工　　数量計算書

1式当たり

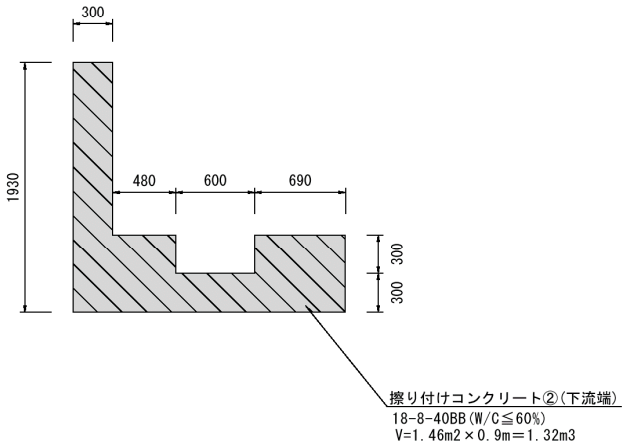
図　　面

既設水路接続工 標準図

上 流 側



下 流 側



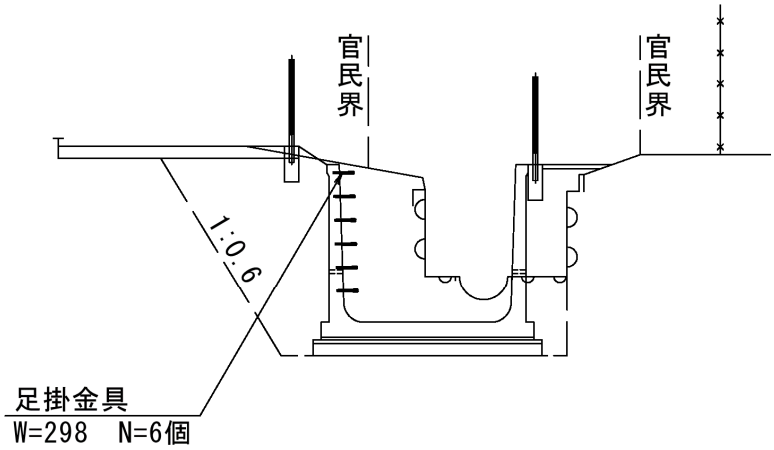
名　　称	形状・寸法	計　　算　　式	数　　量
		付帯工構造図(2)より	
コンクリート	18-8-40BB (W/C≦60%)	V = 4.08 + 1.32 = 5.40	5.4 m3
型枠工		付帯工構造図(2)より	
		A = 16.22 + 4.01 = 20.23	20.2 m2

点検用昇降ステップ　　数量計算書

1式当たり

図　　面

193.5付近



名　　称	形状・寸法	計　　算　　式	数　　量
足掛金具	W=298	N = 6 = 6.00	6.0 本

法面保護工（ｾﾒﾝﾄ複合ﾌｪﾙﾄﾏｯﾄ工法）　数量計算書

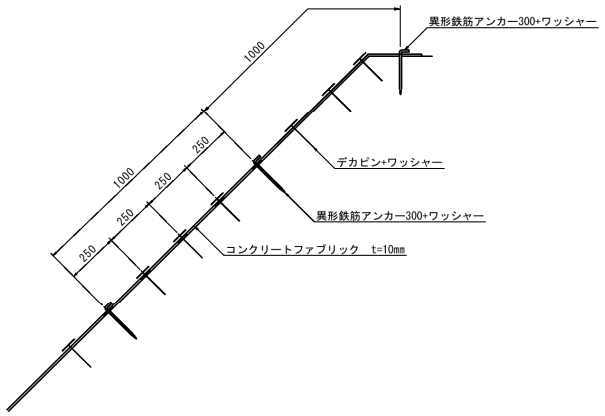
1式当たり

図　面

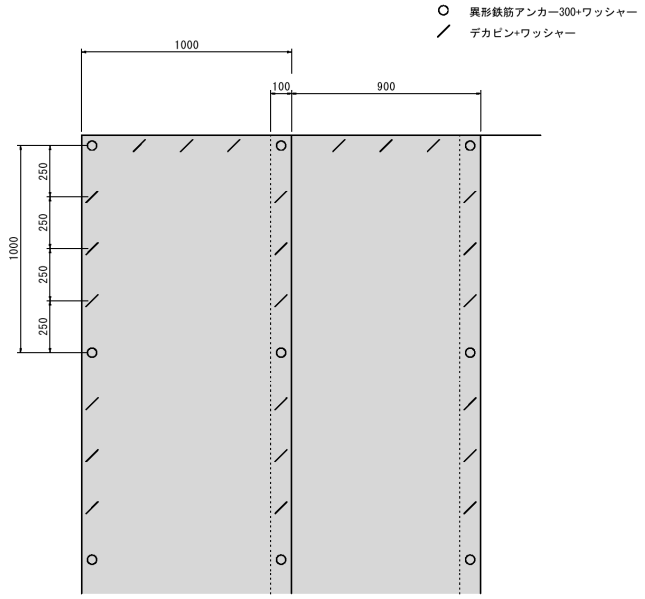
法面保護工　セメント複合フェルトマット工法 標準施工図　S=NON

（コンクリートファブリック工法）

標準断面図



標準展開図



※端部処理

・風による捲れ防止や雑草抑制のため、端部は縁石などに接着剤で固定すること。

・シート重ね部も専用接着剤で固定すること。

名　称	形状・寸法	計　算　式	数　量
法面保護	ｾﾒﾝﾄ複合 ﾌｪﾙﾄﾏｯﾄ	V ＝ 別紙面積計算書より　＝　21.80 （盛土法面整形部 Pt.158.87～220）	21.8　m2

法面保護工　面積計算書

No. 1

測　　点			盛土法面整形:L2									摘要
			延長	平均延長	面積				延長	平均延長	面積	
測点名	追加距離	単距離	m	m	m2				m	m	m2	
158.87	158.870	－	0.7	－	－							※測点160断面を準用
160.00	160.000	1.130	0.7	0.70	0.8							
180.00	180.000	20.000	0.3	0.50	10.0							
200.00	200.000	20.000	0.4	0.35	7.0							
220.00	220.000	20.000	0.0	0.20	4.0							
合計		61.130			21.8							

構 造 物 撤 去 工

構造物撤去工　数量集計表

1式当たり

工種	種　　別	細　　別	規格（番号）	単位	数量	備考
構造物撤去工・産業廃棄物処理工						
	コンクリート土留(1)	B200×H1000	有筋	m	97.80	
	コンクリート土留(2)	B200×H1850	有筋	m	124.60	
	コンクリート土留(3)	B200×H1850（一部残置）	有筋	m	124.60	
	半円形フリューム	半円φ600	有筋	m	124.60	
	現場打水路(1)	B1800×H1710（一部残置）	有筋	m	7.00	
	現場打水路(2)	B2300×H1410（一部残置）	有筋	m	5.80	
	コンクリート床版(1)	B3300（平均）×H250	有筋	m	2.10	
	コンクリートたたき(1)	t=100mm	無筋	m	124.60	
	コンクリートたたき(2)	t=100mm	無筋	m	124.60	
	ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊	取壊し		m3	168.5	
	鉄筋構造物	運搬		m3	234.0	
		処分(体積)		m3	234.0	
		処分(重量)		t	421.2	
	ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊	取壊し		m3	15.0	
	無筋構造物	運搬		m3	19.5	
		処分(体積)		m3	19.5	
		処分(重量)		t	35.1	

構造物撤去工　計算書

種　目	計　算　式	数　量
1 構造物取壊し工 （有筋構造物）	撤去工平面図より　有筋合計 ＝ 168.490 m3	168.5 m3
	1 コンクリート土留(1)　L側　1)　0.36 m3/m × 23.8 m ＝ 8.568 m3 B200×H1000　R側　2)　0.36 m3/m × 74.0 m ＝ 26.640 m3 ΣV ＝ 35.208 m3	
	2 コンクリート土留(2)　L側　1)　0.63 m3/m × 124.6 m ＝ 78.498 m3 B200×H1850	
	3 コンクリート土留(3)　R側　1)　0.26 m2 × 124.6 m ＝ 32.396 m3 B200×H1850（一部残置）	
	4 半円形フリューム　LR側　1)　0.05 m3/m × 124.6 m ＝ 6.23 m3 半円φ600	
	7 現場打水路(1)　L側　1)　1.05 m3/m × 7.0 m ＝ 7.350 m3 B1800×H1710（一部残置）	
	8 現場打水路(2)　L側　1)　1.2 m3/m × 5.8 m ＝ 6.960 m3 B2300×H1410（一部残置）	
	9 コンクリート床版(1)　LR側　1)　0.88 m2 × 2.1 m ＝ 1.848 m3 B3300（平均）×H250	
2 構造物取壊し工 （無筋構造物）	撤去工平面図より　無筋合計 ＝ 14.952 m3	15.0 m3
	5 コンクリートたたき(1) L側　1)　0.05 m2 × 124.6 m ＝ 6.230 m3 t=100mm	
	6 コンクリートたたき(2) R側　1)　0.07 m2 × 124.6 m ＝ 8.722 m3 t=100mm	

構造物撤去工　計算書

種　目	計　算　式	数　量
3 産業廃棄物処理工		
	ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊　鉄筋構造物　2.50t/m3	
	処分費 単位体積重量 換算値 1.80t/m3	
	① Co塊　取壊し量　168.490　＝ 168.49 m3	168.5 m3
	処分 重量　168.49 × 2.50 (t/m3)　＝ 421.23 t	421.2 t
	処分 体積　421.23 ／ 1.80 (t/m3)　＝ 234.02 m3	234.0 m3
	ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊　無筋構造物　2.35t/m3	
	処分費 単位体積重量 換算値 1.80t/m3	
	② Co塊　取壊し量　14.952　＝ 14.95 m3	15.0 m3
	処分 重量　14.95 × 2.35 (t/m3)　＝ 35.13 t	35.1 t
	処分 体積　35.13 ／ 1.80 (t/m3)　＝ 19.52 m3	19.5 m3

仮 設 工

仮 設 工 集 計 表

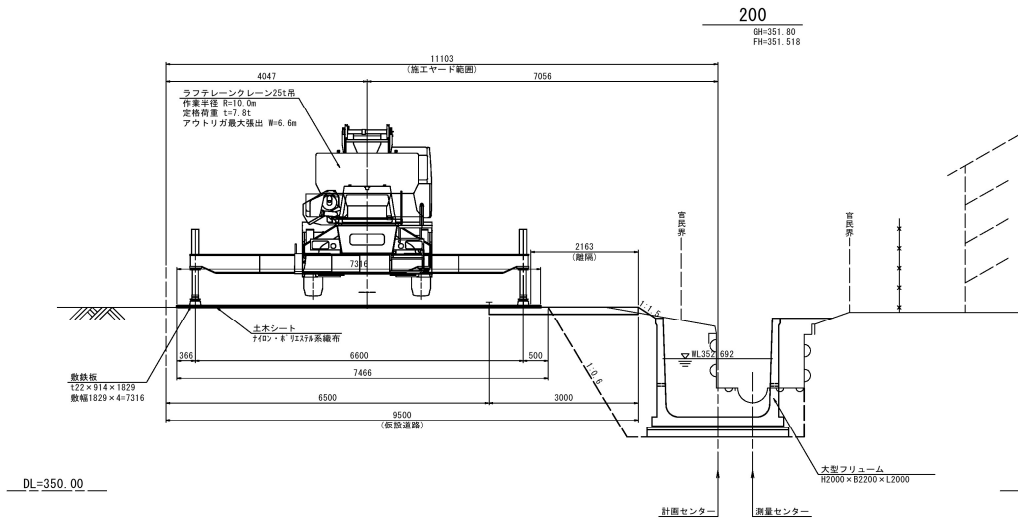
名称	形状・寸法	左右	測点		単位	数量
			自	至		
仮設工						
仮設道路工	土木シート、敷鉄板	L	測点 154.00	測点 305.60	式	151.6
水替工	締切排水工		測点300.00付近		箇所	1.0
				ΣN=	箇所	1.0
交通管理工	交通誘導員B				人・日	105

細　　別	仮設道路工	数　　量	151.6 m

仮設道路区間：　154.00　～　305.60　　延長(1) = 151.6 m

仮設道路延長：　151.60 m

ΣL　= 151.6 m



151.6m当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
仮設道路工		
土木シート 敷設・撤去	A = 7.50 * 151.60 = 1137.00	1137.0 m2
(ﾅｲﾛﾝ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系織布)		
0.25mm～0.30mm		
敷鉄板　設置・撤去	A = 7.316 * 151.60 = 1109.11	1109.1 m2
(t22×914×1829)	N = 1109.11 / (0.914 * 1.829) = 663.46	664.0 枚
	敷鉄板t22×914×1829　289kg/枚	
	W = 664.00 * 0.289 = 191.90	191.9 t
耕起	A = 6.50 * 151.60 = 985.40	985.4 m2

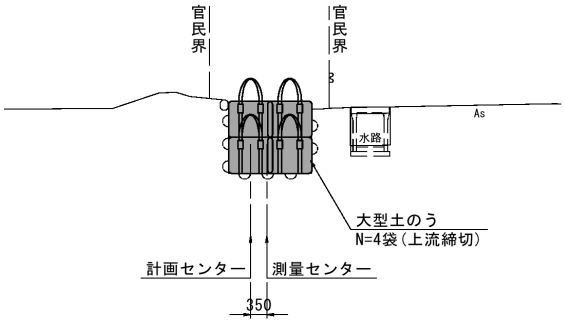
細　　別	水替工	数　　量	1.0　箇所

箇所(1)　=　1.0 箇所

締切排水工（参考）

300 付近
GH=351.94

ΣN　=　1.0 箇所



1箇所当り

種　　別	計　　算　　式	数　　量
水中ポンプ	N =　　= 6.0	6.0　台
	潜水ポンプ　常時運転	(供用予定日数150日)
	出力：0.4Kw　　口径：50mm	
	商用電源	
据付・撤去工	N =　　= 1.0	1.0 現場
大型土のう	N =　　= 4.0	4.0　袋
(容量1m3)		

細　　別	交通管理工	数　　量	105　人日

種　　別	計　　算　　式	数　　量
交通管理工	積上げによる工期算定より	
（交通誘導員B）	標準作業日数　92日　＊　1人 =　92　人日	
	準備期間中において誘導員配置想定　10日　＊　1人 =　10　人日	
	片付期間中において誘導員配置想定　3日　＊　1人 =　3　人日	
	合計　105　人日	105 人日

運 搬 工

運搬工計算書(仮設材運搬)

種　目	計　算　式	数　量
【往復運搬】	仮設材運搬	191.9　t
1 敷鉄板	仮設工計算書より　敷鉄板t22×914×1829　N=664枚　W1 ＝ 191.9　t	
	合計 W ＝ 191.9　t	

技 術 管 理 費

技術管理費　数量（土質試験）

種　目	計　算　式	数　量
	土質試験	
1 土質試験		
	スクリューウェイト貫入試験 5.0　m　×　2 箇所 ＝　10.0　m	
	合計 L ＝ 10.0 m	10.0　m
2 コンクリート削孔		
	削孔径90mm以上100mm未満 削孔深400mm以上600mm未満　N ＝ 2 孔	2　孔
3 残土　土質試験 （内訳）		
	試料採取　N ＝ 1 箇所	1　箇所
	締固めた土のコーン指数試験　N ＝ 1 試料	1　試料
	土の粒度試験　N ＝ 1 試験	1　試験

資材単価等について

本工事に関わる工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和7年度実施設計単価表」や「刊行物単価」により設定されている単価により予定価格を算出しています。
「刊行物単価」とは(財)建設物価調査会及び(財)経済調査会が市販している、いわゆる「物価資料」を示します。

また、見積りなどによる調査単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は、予定価格算出上のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

１．刊行物単価

8月号物価資料

２．調査単価

（円）

品　　名	規　　格	単位	採用単価
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L2000 ウィープホールφ50付	本	288,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1000 ウィープホールφ50付	本	315,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1010/1283 ウィープホールφ50付	本	326,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1510/1782 ウィープホールφ50付	本	362,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1492/1799 ウィープホールφ50付	本	362,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1297/1604 ウィープホールφ50付	本	348,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1433/1469 ウィープホールφ50付	本	348,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1732/1767 ウィープホールφ50付	本	369,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1590/1789 ウィープホールφ50付	本	365,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1171/1370 ウィープホールφ50付	本	335,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1166/1375 ウィープホールφ50付	本	335,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1556/1766 ウィープホールφ50付	本	363,000

（円）

品　　名	規　　格	単位	採用単価
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1605/1717 ウィープホールφ50付	本	363,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L907/1019 ウィープホールφ50付	本	314,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L974/951 ウィープホールφ50付	本	314,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L1662/1639 ウィープホールφ50付	本	362,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L2000 ウィープホールφ50付	本	304,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1500 ウィープホールφ50付	本	333,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1000 ウィープホールφ50付	本	276,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1774/1214 ウィープホールφ50付	本	371,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1775/1215 ウィープホールφ50付	本	371,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1528/1462 ウィープホールφ50付	本	371,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L914/847 ウィープホールφ50付	本	325,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1586/962 ウィープホールφ50付	本	355,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1038/963 ウィープホールφ50付	本	334,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1370/1295 ウィープホールφ50付	本	359,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1422/1253 ウィープホールφ50付	本	359,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H1400/2000×B2200×L1111/943 ウィープホールφ50付	本	336,000
鉄筋コンクリート大型フリューム	H2000×B2200×L2000 底版開口500×1500 ウィープホールφ50付	本	360,000
RCボックスカルバート	B2200×H1600×L1500 頂版特殊配筋	個	338,000
グランドセル	GN-150MP	㎡	4,650
グランドセル	GN-150MP-3	㎡	5,300

（円）

品　　名	規　　格	単位	採用単価
連結材	セルジョイント	ｾｯﾄ	290
吸出し防止材	再生長繊維不織布 t=2mm	㎡	560
樹脂アンカーピン	□20×300	本	180
単粒度砕石3号	40～30mm	m3	5,400
転落防止柵（両開き門扉）	縦格子型 H1100×W2000 独立基礎	m	78,100
セメント複合フェルトマット	コンクリートファブリック t=10mm 1m×5m巻	巻	49,500
異形鉄筋アンカー	L=300　100本／袋	袋	18,900
デカピン	L=150　50本／袋	袋	1,550
ドーム型ワッシャー	φ80mm　50枚／袋	袋	2,450
重ね部固定用接着剤	295ml／本	本	2,200
端部固定用接着剤	3kg／缶	缶	8,470
散水用機材賃料		式	1,816
残土処分費	㈱井上産業 長野市若穂牛島処分場	m3	5,000
締固めた土のコーン指数試験	1試料1供試体	試料	7,020

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区　刊行物単価等

品名	規格1	規格2	規格3	単位	Web建設物価 8月号	月刊積算資料 電子版8月号
PC鋼棒	B種1号	φ17　1～3m未満		kg	P347 全国①②	P406 全国①②
PC用定着装置	普通鋼棒工法	後付用　φ17		組	P348 全国①②	P407 全国①②
転落防止柵（標準型）	縦格子型	2.3×950×3000	C ｺﾝｸﾘｰﾄ根固め(独立基礎)	m	P245 全国②	P352 全国Ⅰ③
土木シート	ﾅｲﾛﾝ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系織布	厚0.25～0.30(0.24～0.34)mm	強度1470N/3cm	㎡	P393 全国②	P526 全国Ⅰ③

※本表記載の物品：PC用定着装置　→ 刊行物単価平均値（有効桁上位4桁）
上記以外　→ 刊行物単価平均値（有効桁上位3桁）

現場説明事項・施工条件明示事項

工事の実施にあたっては、「長野県土木工事共通仕様書（建設部）（以下、「共通仕様書」という。）」、「長野県土木工事施工管理基準（建設部）（以下、「施工管理基準」という。）」、「土木工事現場必携（長野県）」、「建設工事設計変更ガイドライン（千曲市）」、「工事一時中止に係るガイドライン（長野県）（以下、「一時中止ガイドライン」という。）」及びその他指定された図書の記載事項、かつ以下の事項について施工条件とする。

「§１　現場説明事項」及び**「§２　特記仕様書」**は、それぞれ長野県土木工事共通仕様書で定義される「現場説明書」及び「特記仕様書」と同様の位置付けである。

§１　現場説明事項

１　工事内容

(1) 工事名称及び概要

工事名称及び概要は閲覧設計書に記載のとおり。

(2) 工事関連資料

本工事箇所に関連する測量･設計委託の成果資料、及び地質調査等の報告資料は閲覧が可能である。また、契約後は貸与も可能である。

(3) コスト縮減

常に意識を持ってコスト縮減に取り組み、設計に反映できるように努めること。

~~**(4) 新技術・新工法・特許工法の指定**~~

~~使用場所~~	~~工法~~	~~施工条件~~

~~**(5) 架設工法の指定**~~

~~架設工~~	~~施工方法~~	~~施工条件~~

~~**(6) 橋梁製作工**~~

~~橋梁の製作工（高欄、伸縮装置、支承等の付属施設を除く）については、自社工場において製作して管理を行うこと。~~

(7)週休２日工事

①発注者指定型週休２日工事

本工事は発注者指定型週休２日工事の対象工事である。「週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。ただし、~~令和○年○月○日から令和○年○月○日は、週休２日の取組みを実施する期間から除くものとする。~~また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

（参考）「週休２日工事実施要領」

https://www.city.chikuma.lg.jp/soshiki/kanzaikeiyaku/nyusatsu_keiyaku/kensetu/osirase/8789.html

~~**②施工者希望型週休２日工事**~~

~~本工事は施工者希望型週休２日工事の対象工事である。週休２日の実施を希望する場合は、「週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。ただし、令和○年○月○日から令和○年○月○日は、週休２日の取組みを実施する期間から除くものとする。また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。~~

~~（参考）「週休２日工事実施要領」~~
~~https://www.city.chikuma.lg.jp/soshiki/kanzaikeiyaku/nyusatsu_keiyaku/kensetu/osirase/8789.html~~

(8)歩掛条件
（全・一部）工種について下記条件により積算を行っている。
本工事の積算に使用している積算基準は、下記のとおりである。
・「令和６年 10 月１日以降に起工起案する工事等に適用する積算基準図書（長野県建設部）」
・「令和６年 10 月１日以降に起工起案する工事等に適用する積算基準対照表（長野県建設部）」

２　工期関係
工期は令和８年３月 27 日までとする。

３　工事工程関係
~~(1) 現場の制約・条件~~
~~施工期間及び施工方法等について下記の制約･条件があるため、事前に工程の調整を行うこと。~~

制約事項	位置等	制約条件･内容

~~（保安林解除申請・埋蔵文化財事前調査・自然公園法施行承認申請・工事自粛期間・ＪＲ近接工事等）~~

(2) 地元・関係機関との協議
着工に当たって、下記の協議を関係機関及び地元住民と行うこと。

関係機関等	協議事項	内容	時期
地元区	工事説明	工事概要・工期	工事着手前

（地元耕作者・地区・水路管理者・公共機関・ﾗｲﾌﾗｲﾝ事業者・ＪＲ等）
※なお、協議結果は施工計画書又は工事打合せ簿（様式任意）に記載し提出すること。

(3) 近接・競合工事
本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので、受注者間相互の連絡調整を密にして、その内容を監督員に報告して施工すること。

発注者	工事名	工期･工事内容等	影響箇所	備考
千曲市	鳴海川河川改修工事第1工区	令和8年3月27日	市道5070号線、市道5077号線	
千曲建設事務所	急傾斜地崩壊対策工事	令和8年3月5日	市道5084号線、市道5077号線	

(4) 安全協議会
当該工区においては、安全協議会を設立し工事連絡調整を行っているので、これに加盟し、事業全体の進捗調整に協力すること。

~~(5) 部分供用~~
~~下記箇所（区間）については部分供用を予定しているので、これに合わせ工程を調整すること。~~

部分供用場所	時期	条件
~~No　～~~	~~令和　年　月　日から~~	

４　施工計画
(1) 施工計画書
・　共通仕様書 1-1-1-6（施工計画書）に基づき、設計図書、及び現場条件等を考慮し、現場で

の工事等の着手前に「施工計画書」を作成し提出すること。

- 施工計画書の作成にあたっては、「土木工事現場必携（長野県）」を参考とすること。
- 工事内容に重要な変更が生じた場合（変更内容指示時点または変更契約時点）は、「変更施工計画書」（当初施工計画書を修正）を当該工事着手前に作成し、提出すること。
- 出水期に河道内で工事を行う場合は、治水上の安全を確保するための対策を施工計画書に明記し提出すること。（長野県土木事業設計基準　第８編河川事業　8-参-2 を参照）

(2) 施工体制に関する事項

受注者は、適切な施工体制を確保し、下請負人を含む工事全体を把握して運営を行うこと。

特に社会保険への加入については、建設業の人材確保において重要な事項であることを踏まえ、自社はもとより、すべての下請について加入状況の確認を行うこと。

施工体制の適正な確保に関して作成する書類は、施工計画書に添付することとするが、別途提出としても差し支えない。

【施工体制に係る工事書類等】

①「施工体制台帳」、「施工体系図」

② すべての下請契約書の「写」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）

※工事書類簡素化ガイドライン（R6.4 適用）に基づき、監督員が現場備え付けの下請契約書等を確認

③ 主任技術者（監理技術者）の資格証等の写し及び保険証

※工事書類簡素化ガイドライン（R6.4 適用）に基づき、技術者等の通知書に添付した場合は提出不要

注）施工体制台帳作成対象としての下請負人の判断

事　例	施工体制台帳記載の有無 下請負人に関する事項、再下請通知書、下請契約書写、施工体系図を含む	主任（監理）技術者の配置の有無
交通誘導警備員	台帳作成不要 契約書写しを添付し、現場備え付け	指定路線は資格者必要
産業廃棄物処理業者 （収集運搬業・処分業）	台帳作成不要 契約書写しを添付し、現場備え付け	
ﾀﾞﾝﾌﾟ運搬	運搬のみの契約は台帳作成不要 契約書写しを添付し、現場備え付け	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
立木の伐採	立木の伐採のみ（抜根、集積、積込を含まない）の契約は台帳作成不要 契約書写しを添付し、現場備え付け	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
１日で完了する請負契約、少額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約	業者間の契約が建設工事である場合は請負契約のため台帳作成	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
ｸﾚｰﾝ作業、ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ打設等、日々の単価契約で行っている場合	日々の単価契約であっても請負契約に該当するため、台帳作成を必要とする。	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
ｸﾚｰﾝ等の重機ｵﾍﾟﾚｰﾀを機械と一緒にﾘｰｽ会社から借り上げる場合	台帳を作成する	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要

(3) 関係機関への届出等

- 労働基準監督署への「建設工事計画届」、「機械等設置変更届」
- 公安委員会への「道路使用許可申請」
- 千曲市道路河川課への「道路通行制限願」
- 河川内作業における漁協との工事打合せ簿等の「写」

~~５　用地・補償・支障物関係~~

~~(1) 未買収地~~

~~本工事に必要な用地のうち一部未買収地は下記のとおり。買収次第発注者から通知をする予定。~~

未買収地位置	面積	特記事項

(2) 工事支障物の処置（地下埋設物・地上物件等）

本工事区間の支障物件の処置を下記により予定しているので、工事着手前に管理者立会のもと、試掘等の調査を実施し処置方法等について協議すること。

なお、　　工は、重複して施工するので　　月　　日までに施工すること。

支障物件	管理者	位置	処置方法(見込)	処置時期

(3) 工事用借地

本工事に必要な用地のうち、発注者で借地する箇所及び期間等は以下のとおり。

借地目的	借地場所･面積	項目	借地条件等（中止期間･契約見込）
作業ﾔｰﾄﾞ	No　　付近	借地期間	令和　　年　　月　　日 ～　　月　　日 但し、
	約　　m2	使用条件	
		復旧方法	
		特記事項	
仮設道路	No　　付近	借地期間	令和　　年　　月　　日 ～　　月　　日 但し、
	約　　m2	使用条件	
		復旧方法	
		特記事項	

- 上記以外で必要な借地及びこれに伴う諸手続は、受注者側で対応する。
  特に、「農地の一時転用」については、事前に長野地域振興局農業農村支援センター農業農村振興課･千曲市農業委員会等と調整をすること。
- 借地等は原形復旧を原則とし、所有者及び管理者等と立会のうえ、借地期間内に返還まで完了すること。
- 借地等の復旧箇所は、着手前の状況を写真や測量成果等で記録すると共に、境界杭や構造物の移転は引照点等を設けるなど適切な管理を行い、地権者等の立会で了解を得たうえで着工すること。

６　周辺環境保全関係

(1) 大気への配慮

建設機械･設備等は、排出ガス対策型建設機械の使用を原則とする。（別紙－２）

(2) 公道への配慮

現場から発生土等を搬出する際には、運搬車両等の付着土砂を確実に除去してから一般道を通行すること。また、一般道が当工事による原因で破損及び汚れた場合は、受注者の責任において処理すること。

(3) 過積載の防止

- 土木工事現場必携（長野県）が定める過積載防止対策に沿って必ず対策を行うこと。
- 取引業者から購入する各種材料(生ｺﾝ･Ａｓ･骨材等)や下請業者についても、過積載防止対策の範囲とする。
- 対策について、「施工計画書」の施工方法に具体的に記載すること。
- 工事現場において過積載車両が確認された時は、速やかに改善を行うと共に発注者にその内容を報告すること。
- 実施した過積載防止対策については、点検記録等を整理・保管し、監督員等に求めら

れた際は、提示すること。

(4) 排水への対応

本工事施工に伴う排水については、関係法令を遵守し、自然環境等へ悪影響を及ぼす事のないよう沈殿処理・PH 管理等、適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。

対策項目	処理施設	処理条件	特記事項
濁水対策			
湧水対策			

~~(5) 第三者災害への対応~~

~~本工事の一部区間においては、施工に伴い第三者に何らかの影響を及ぼす事が懸念されるため、下記の調査費を計上している。それぞれの特記仕様書により実施し、その結果を報告すること。~~

~~なお、現地の状況等により調査範囲の変更の必要性が認められた時は、監督員に協議のうえ実施すること。~~

~~調査項目~~	~~調査数量・範囲~~	~~仕様~~
~~家屋調査(事前)~~	~~軒~~	~~家屋事前調査業務標準仕様書~~
~~地下水観測~~	~~箇所~~	~~特記仕様~~
~~騒音調査~~	~~No ～ 間~~	~~特記仕様~~
~~振動調査~~	~~No ～ 間~~	~~特記仕様~~
~~地盤沈下調査~~	~~No ～ 間~~	~~特記仕様~~
~~電波障害~~	~~No ～ 間~~	~~特記仕様~~

~~特に、住宅近接地域での騒音・振動等及び水田や畑への排水の流出等については、公害防止対策を事前に十分検討すると共に、問題が生じた場合は速やかに対処すること。~~

~~地下掘削工事は、周囲の構造物及び地表への影響が出ないよう掘削量等の施工管理を適切に行い、沈下や陥没等が生じた場合は、公衆災害防止処置を直ちに講じると共に速やかに監督員に報告し、その後の対応にあたること。~~

~~現場周辺の井戸は、位置を確認し監督員と協議のうえ、必要に応じ水質の監視を行うこと。これは設計変更の対象とする。~~

7 安全対策関係

(1) 安全教育・研修・訓練

・ 工事現場では、共通仕様書 1-1-1-38 に基づき労働災害及び公衆災害防止に努めると共に、作業員を対象に定期的に安全教育･研修及び訓練を行うこと。

・ 安全教育等は工事期間中月 1 回(半日)以上を実施し、この結果を記録するほか、工事写真等に整理・保管し、監督員等に求められた際は、提示すること。

(2) 安全施設

現場出入口の管理は、伸縮ｹﾞｰﾄ等を用い施錠が可能な構造とすること。

(3) 交通管理

① 交通誘導警備員

・近接工事等で交通量が著しく増減した場合や、道路管理者･警察署等からの要請又は現場条件に変更が生じた場合や当初設計で予定している施工方法に対して違う施行方法となった場合を除き、原則として設計変更の対象としない。

・受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第４条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

・(国)○○号においては、長野県公安委員会告示第 19 号（平成 27 年７月２日）により交通誘導警備業務を行う場所ごとに一人以上の１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員を配置して実施すること。

② 交通安全施設

・仮設ﾔｰﾄﾞ回りは、パネルフェンス等を単管等で固定し、公衆の安全対策を講じること

・車道部分に接し車両等が飛び込みの恐れのある場合は、ガードレール･視線誘導板･回転燈等を設置すると共に、特に夜間の安全対策に配慮すること。

③　交通規制

・規制箇所は袋小路にならないように計画し、規制期間を極力短くすること。
また、行事等の時期を把握して地元の希望に沿う規制方法とすること。

(4) 架空線等上空施設一般

・　工事現場における架空線等上空施設について、施工に先立ち、現地調査を実施し、種類、位置（場所、高さ等）及び管理者を確認すること。

・　建設機械等のブーム等により接触・切断の可能性があると考えられる場合は、必要に応じて以下の保安措置を行うこと。実施内容については施工計画書に記載すること。

①　架空線上空施設への防護カバーの設置。
②　工事現場の出入り口等における高さ制限措置の設置
③　架空線等上空施設の位置を明示する看板等の設置
④　建設機械のブーム等の旋回・立入禁止区域等の設定

・　前項①の設置を架空線等管理者に依頼し、費用が生じる場合は、あらかじめ監督員等に現場状況等の確認を請求すること。確認の結果、必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。

~~**(5) 掘削法面**~~

~~・　斜面下部を切土する場合は、切土施工単位10～20mを原則とするが、現場の状況で、これによりがたい場合は必要な安全対策を講じるとともに、切土面を長時間放置することがないようにすること。~~

~~・　「斜面崩壊による労働災害防止対策に関するガイドライン」等（土木工事現場必携（長野県）参考）により必要な対策を講ずること。~~

~~・　現場内には、雨量計を設置のこと（簡易なものでも可）。~~

~~・　掘削法面上部は定期的に点検し、クラックの発生等、地山の状態を常に把握しておくと共に、いつ崩壊があっても退避できる体制を取っておくこと。特に掘削高さ10m以上の法面下の工事、地すべり崩壊地滑落崖下等の工事では十分注意すること。~~

~~**(6) 土石流対策・急傾斜地崩壊対策・地すべり対策・雪崩対策関係、その他工事**~~

~~・　「砂防等工事における安全の確保について」(平成11年3月土木部砂防課資料)により、現場状況･工事内容を踏まえた安全対策を検討し、「施工計画書」で避難訓練、避難場所・経路等を含めた警戒避難体制及び安全対策を協議、実施すること。~~

~~・　斜面崩壊、有害ｶﾞｽ･酸素欠乏等の対策として、下表の設備（各種センサー類及び換気設備等を安全費に計上している。なお、現地に即すための仕様変更やそのほかに設置が必要となる設備の費用は、協議のうえ設計変更の対象とする。~~

~~各種センサー類及び換気設備等~~	~~設置場所~~	~~設置期間~~	~~備考~~

〔参考〕

１）建設現場における警戒避難雨量の設定

・　河川内工事、またそれ以外の工事においても出水や土石流による被災が予想される箇所については、雨量計及び長野県河川砂防情報ステーション
(ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽhttp://www.sabo-nagano.jp/dps）等による気象情報を入手するとともに、警戒避難雨量を設定し、現場内の安全に万全を期すこととすること。
【警戒避難雨量例：連続雨量75㎜、24時間雨量60㎜、1時間雨量15㎜】
※上記雨量は標準的な基準値であり、各現場毎条件を勘案し、必要な場合は別途基準雨量を設定して対応すること。

・　連続雨量とは降雨中断が24時間以内の総雨量をいう。

・　雨量が各警戒避難雨量に該当したら、工事を中断し避難をすること。

・　降雨等により、地すべりや土石流の発生が予想され避難するときは、下流住民にもその旨を

周知徹底すること。

２）土石流に対する安全対策

河川内工事、またはそれ以外の工事においても、土石流の達する恐れのある現場では共通仕様書 1-1-1-37 の 17 の規定に基づき、工事内容を踏まえた安全対策等を検討し、施工計画書に記載すること。特に、下記の項目について、施工計画書に記載すること。

なお、安全対策に別途必要となる費用は協議により設計変更の対象とする。

【現場の状況】

項　目	調　査　数　量	流域の状況
１渓流調査	渓流勾配が15°以上となる地点及び最急渓床勾配	
２渓床状況	土砂の状況	
３流量面積	渓床勾配15°地点より上流の流域面積 （発生流域面積）	
４土石流	過去に発生した土石流、崩壊の有無	
５亀裂・滑落崖	新しい亀裂、滑落害の有無	

３）降積雪期の建設工事における安全確保

工事期間が冬期間の施工である現場においては、降積雪期であるため、雪崩、土石流の発生が予想される。そのため、下記事項に留意する他、「雪崩等災害防止対策要領（案）」、「積雪期における土木工事安全施工技術指針（案）」により工事の安全対策等を検討し、施工計画書に記載すること。

・雪崩、土石流等に対する安全対策の点検。
・積雪深、融雪量、気温等の観測及び大雪、雪崩注意報等の気象状況の把握。
・作業着手前、作業中の安全巡視。
・気象変化時における安全パトロールの実施。必要に応じた見張員の配置。
・警戒避難雨量基準等に基づく工事中止の徹底。

８　仮設工関係

(1) 工事用道路

公道及び私道を工事用道路として使用する場合は、交通整理及び安全管理を十分に行い、事故や苦情の原因とならないようにすること。また、使用中に道路及び付属施設を破損した時は、受注者の責任において速やかに原形復旧すること。

~~**(2) 仮設工設置期間**~~

~~仮設工は撤去を原則とするが、仮設土留工・仮橋・足場等のうち、次表（設計書）に明示した部分は撤去しなくても良いこととする。なお、現場条件により周囲の構造物等に影響を与えると認められることが判明した場合は、撤去方法について協議をすること。~~

~~受注者に起因する工期延長等に伴う仮設材の費用は、原則として設計変更しない。~~

~~仮設工~~	内容	期間	条件等

本工事の足場については、原則として平成 21 年３月２日付け厚生労働省令第 23 号にて厚生労働省から公布された「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」による、手すり先行工法を採用するものとする。

（参考）「手すり先行工法に関するガイドライン」

http://www.jaish.gr.jp/horei/hor1-50/hor1-50-15-1-3.pdf

(3) 任意仮設

発注者が想定している任意仮設については、閲覧設計書、参考図に示したとおり。

受注者は、明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには、変更の対象とする。

~~(4) 指定仮設~~

~~指定仮設については、図面、数量総括表及び閲覧設計書に示したとおり。~~

~~(5) 附帯工~~

~~附帯工の範囲は管理者との立会･協議により決定する。~~

９　使用材料関係

(1) 材料の承認

・工事で使用する材料は、長野県土木工事共通仕様書材料編第２節「4.見本・品質証明資料」により「材料承認願」で確認を受けなければならないが、一括承認済の資材等については確認は不要である。

(2) 生コンクリート

・使用材料の品質管理のため、配合計画書の内容を確認し、使用するまでに監督員等に提出し、確認を受けること。

・水セメント比について明記のない場合は、下記のとおりとする。

＜鉄筋コンクリート＞　W/C=55%以下

＜無筋コンクリート＞　W/C=60%以下

(3) アスファルトコンクリート

・基準密度等の品質管理のために、使用前に配合報告書を提出し、確認を受けること。

・材料について明記のない場合は、「再生加熱アスファルト混合物の利用基準（土木工事現場必携（長野県））」によるものとし事前に使用材料の確認を受けなければならない。

・再生加熱アスファルト混合物は、舗装再生便覧の規定に適合したもので、リサイクル材配合率は、50%以下とし、含有率(%、重量比)を記載した、「再生加熱アスファルト混合物 材料承認申請　提出表」を提出すること。

(4) クラッシャーラン

・材料について特記のない場合は、「再生砕石等の利用基準（土木工事現場必携（長野県））」によるものとし、使用前に使用材料の確認を受けなければならない。

・再路盤材に使用する再生砕石（RC-40）は、舗装再生便覧の規定に適合したもので、所要の品質を得るため必要に応じて加える補足材は、必要最小限度とし、含有率(%、重量比)を記載した「再生砕石等　材料承認申請　提出表」を使用前に提出し、確認を受けること。

(5) 県産木材

・ 工事に使用する木材は原則として県産木材を使用することとし、共通仕様書材料編 2-2-4-1 により、取り組みを推進するものとする。施工計画書提出時に、県産木材の素材供給段階における長野県産土木用材産地証明書発行基準（別紙－４）に基づく産地証明書等により監督員の確認を受けること。また、しゅん工書類に産地証明書等を添付すること。

・ 供給困難等の理由により、県産木材を使用できない場合は別途協議とする。

(6)　県内産資材

・ 県内企業の振興や地域経済の活性化を図る観点から､建設資材の県内産優先使用に関する規定、共通仕様書材料編 2-2-13-5 により、工事材料の選定にあたっては、県内産資材で規格・品質等を満たす材料を優先使用する取り組みを推進するものとする。

①　県内産資材の優先使用に努めること

②　工事用資材の調達を極力県内取り扱い業者から購入すること

③　県外産資材を使用する場合は、「県外産資材使用報告書」を提出すること

・必要に応じて理由が確認できる資料を添付すること。

(7)　その他

・ 生コンクリート及びアスファルトの単価については、当初設計では夜間割り増しを見込んでいないが、プラントとの打ち合わせにより協議のこと。

１０発生土・廃棄物・再生資源関係

共通仕様書 1-1-1-24 第 3 項に規定される、再生資源の利用の促進と建設副産物の適正

処理に基づき、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図ること

(1) 建設副産物の処理に関する事項

- 本工事は建設リサイクル法対象工事であり、契約締結前に法第 12 条第 1 項の規定に基づいて、発注者に対し説明書の提出をもって事前説明を行うこと（様式は土木工事現場必携（長野県）参照）。
- 本工事において生じる建設発生土及び産業廃棄物等の処分は、下記の条件を想定して処分費・運搬費を計上している。
- 建設副産物処理費は、施設毎の処理費と運搬費の合計が最も経済的な処理施設を選定している。また、受注者においても、建設リサイクル法第 5 条の主旨に準じ建設副産物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めること。
- 建設資材廃棄物は、建設リサイクル法 9 条に則りその種類ごとに分別すること。
- 発生物のうち　－　は、本工事の　－　に使用するので、施工方法等を協議すること。
  また、発生物のうち　―　は、他工区に使用するため現場内で引渡すので関係者や外部進入者等に危険とならないように保管すること。
- 工事に伴い生ずる廃棄物の処理については、受注者が廃棄物処理法上の排出事業者としての責任を有し、産業廃棄物の運搬・処分を他人に委託する場合には、「(5) 建設副産物の運搬・処理」によるが、当該産業廃棄物の処理の状況に関する確認及び、最終処分終了までの一連の処理行程における処理が適正に行われることを確認する措置等について、施工計画に定めること。

(2) 建設発生土に関する事項

引渡場所・仮置場所	処分方法	特記事項
(株)井上産業	処分	

①原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。
②盛土規制法の許可等の手続きを完了した搬出先である。
③公告時点は上記①及び②のとおりだが、契約後に搬出先を変更する場合は、変更後の搬出先における盛土規制法の許可等で必要となる手続きを改めて確認する必要がある。

(3) 特定建設資材に関する事項（建設リサイクル法）

・受注者は発注者から「通知書」の「写」を受け取ること。
・受注者は下請負がある場合、下請負業者に対し、「通知書」の「写」を添付して「告知書」にて告知すること。
・再資源化等が完了した時は、発注者に「再資源化等報告書」にて竣工時に報告すること。

種　　別		処理場名	備考
ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊			
ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊	無筋	米山建材㈱	
	鉄筋	米山建材㈱	
	二次製品		
建設資材木材			

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。
※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針　H22 環境省）

・産業廃棄物の処理に関する設計条件は下表のとおりである。

種　　別	処理場名	備考
木くず(抜根・伐採材)		
汚　泥		

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。
※積算に用いる木くず処理量の体積 ― 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用

いる。なお、体積(m³)での確認となる場合は、体積を確認できるよう１台毎写真管理すること。

種　　別	処分条件	備考
その他（金属くず他）		

(5) 建設副産物の処理

・ 建設副産物を産業廃棄物として運搬･処分業者に委託する場合は、廃棄物処理法に基づく委託基準に従い、書面による委託契約を締結すること。
・ 廃棄物の運搬･処分を業とする「許可証」を確認し、その「写」を委託契約書に添付すること。
・ 下請負業者が産業廃棄物の運搬･処分を行う場合でも、下請負契約とは別に委託契約を締結すること。
・「ﾏﾆﾌｪｽﾄ（産業廃棄物管理票）」により適切に運搬･処分されているか確認を行うこと。土木工事現場必携を参照し、廃棄物種類ごとの集計表をしゅん工書類に添付すること。
・受注者は施工計画書に以下の事項を記載する。

処理方法※	１再資源化　２破砕処理　３焼却処理　４埋立処分場　５その他		
処分先（処理業者）	業者名		
	住所		
運搬委託先（委託の場合）	業者名		
	住所		
その他	資源化の方法など		

（施工計画提出時に必要な書類等）
・処理先の許可書の写し及び収集運搬業者の許可書の写し（収集運搬を委託する場合）
・処理業者の所在地及び計画運搬ルート

(6) 再生資源の利用促進

・工事目的物に要求される機能を確保し、再生資源の利用に努めること。また再資源化施設の活用を図ることにより、再生資源の利用を促進すること。
・再生資源の利用促進への取り組み方針、再生資材により設計されている工事材料の選定、施工等、及び、工事に使用する再生資材の選定、施工等について施工計画に定めること。
・受注者は、500m3 以上の建設発生土を搬出しようとする場合には、土壌汚染対策法等の手続確認等や搬出先の確認等を行い、確認結果票に確認結果を記録すること。
（詳細は、土木工事現場必携（R6.10.1）共 12 を参照のこと）
・受注者は、建設発生土を搬出先へ搬出したときは、搬出先に対し土砂受領書の交付を求めること。また、搬出先から更に他の搬出先へ搬出された場合には、次の①～④の場合を除き、最終搬出先まで確認を行うこと。（詳細は、土木工事現場必携（R6.10.1）共 12 を参照のこと）
① 国又は地方公共団体が管理する場所（当該管理者が受領書を交付するもの）
② 他の建設現場で利用する場合
③ ストックヤード運営事業者登録規程により国に登録されたストックヤード
④ 土砂処分場（盛土利用等し、再搬出しないもの）
・信州リサイクル製品の率先利用に努めること

(7) 再生資源利用等実施書の提出

・受注者は、施工計画書提出時に、「再生資源利用計画書」･「再生資源利用促進計画書」・「確認結果票」を作成し、発注者へ提出、説明のうえ公衆の見えやすい場所へ掲示すること。
・再資源化等報告書に､「再生資源利用実施書」･「再生資源利用促進実施書」を添付し提出すること。
（ＣＯＢＲＩＳで作成した場合は、実施書の提出は不要）
・提出様式は、原則としてＣＯＢＲＩＳ（建設副産物情報交換システム、通称ｺﾌﾞﾘｽ）を利用し作成すること。これにより難い場合は監督員との協議により､「建設リサイクル報告様式(EXCEL)」によることも可能とする。
・対象は「公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）」による。
（参考）「再生資源利用計画書等の提出について（長野県）」
https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/saiseishoigen.html

(8) 処分量の確認

建設副産物の処分量を確認するため、監督員から請求書、伝票等の提示を求められた場合は応じなければならない。

１１薬液注入関係

~~(1) 薬液注入工~~

~~調査地点・地下水位・地質等に著しい変動がある場合を除き、原則として設計変更しない。~~

~~〔観測井の本数〕~~

	~~ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ長（m）~~						
	~~H= 5.0 m~~	~~H= m~~	~~H= m~~	~~H= m~~	~~H= m~~	~~H= m~~	~~H= m~~
~~設置本数~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~
~~撤去本数~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~	~~本~~

~~〔水質調査〕~~

	~~試験項目~~	~~分析回数~~	~~備考~~
~~水質調査~~	~~Ph~~	~~回~~	
	~~過ﾏﾝｶﾞﾝ酸加消費量~~	~~回~~	

(2) 工事の留意事項及び施工計画書への記載

特に下記について、周辺環境に悪影響を及ぼさないよう入念な施工管理を行うこと。

・薬液注入プラントからの流出防止対策

・プラント洗浄液の流出防止及び中和対策

・路面からの流出防止対策

以上の対策の具体的内容については、施工計画書に記載すること。

１２品質・技術管理関係

(1) 建設資材の品質記録

発注者が指定した土木構造物の建設材料については建設資材の品質記録を作成し、工事完了時に提出すること。

(2) コリンズへの登録

・請負代金額 500 万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS･一般財団法人日本建設情報総合センター）を活用し、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けた後、直ちに登録を行うこと。

・受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内とする。

・完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内とする。

・登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内とする。

・訂正時は適宜登録をする。

・上記以外は共通仕様書 1-1-1-7 を参照。

(3) 建設資材の試験

コンクリート圧縮試験及び鉄筋引張試験等は、原則として公益財団法人長野県建設技術センター試験所にて行うこと。

また、コンクリートの供試体には、受注者の主任技術者又はコンクリート担当技術者がサインした供試体確認版を入れること。なお、供試体確認版は、「ＱＣ版」と「品質証明シール」から選択できるものとする。

(4) コンクリートの品質管理

①コンクリート担当技術者の配置

・ $50m^3$ 以上のコンクリート工事においては、コンクリート担当技術者を配置し、施工計画書に明示すること。

・ 同技術者は、主任技術者及び監理技術者との兼務は可能である。また、現場代理人が主任技術者の資格を有する場合は兼務が可能である。

②責任分界点からの品質管理

受注者は、責任分界点から先の全ての品質管理に責任を負うものであり、品質管理のための試験等を生ｺﾝ会社に委託する場合は、その全てに立会うこと。

③コンクリート品質管理基準

コンクリートの品質管理は「施工管理基準」によるものとするが、コンクリートの打設量が50㎥以下の場合については、施工時の圧縮強度試験、スランプ試験、空気量測定の回数は次のとおりとする。

試験名	工種	ｺﾝｸﾘｰﾄ種類	回数	特記事項
スランプ				
空気量				
塩化物総量				
圧縮強度				
その他				

④レディーミクストコンクリート納入書

・レディーミクストコンクリート納入書は、監督員等の求めに応じて提示すること。また、しゅん工検査時に提示すること。

・レディーミクストコンクリート納入書には、荷卸し地点到着時間及び打設完了時間を記入すること。

⑤コンクリートの養生

発熱等によるひび割れ防止のため、「共通仕様書」の規定に従い、散水養生等を適切におこなうこと。

⑸ 管理図または度数表・ヒストグラム

出来形及び品質管理について、管理図または度数表・ヒストグラムを作成し、竣工書類に添付すること。

~~⑹ 六価クロム溶出試験及びタンクリーチング試験~~

~~【参照(国土交通省ホームページ)：http://www.mlit.go.jp/tec/kankyou/kuromu.html】~~

~~本工事は、「六価クロム溶出試験」及び「タンクリーチング試験」の対象工事であり、下表のとおり試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。~~

~~試験名~~	~~対象工種名~~	~~検体数~~
~~六価クロム溶出試験~~		
~~タンクリーチング試験~~		

なお、試験方法は、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

１３ワンデーレスポンス

⑴ この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。

⑵ 「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するなど、工事現場において発生する諸問題に対し迅速な対応を実現することである。ただし、即日回答が困難な場合は、回答が必要な期限を受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなどの回答を「その日のうち」にすること。また、受注者は計画工程表の提出にあたり、工事の進捗状況等を把握できる工程管理の方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

１４その他

⑴ 各種調査・試験への協力

共通仕様書 1-1-1-18 に基づき、発注者が自ら又は発注者が指定する第３者が行う下記の調査･試験等に対して、請負者は協力すること。

①公共事業労務費調査

受注者は正確な調査が行えるように、労働基準法に従い就業規則を作成すると共に、賃金台

帳を調整･保存する等、雇用している現場労働者の賃金･時間管理を適切に行うこと。

また、工事の一部を下請負契約する場合、当該下請負工事の受注者も同様の義務を負う旨を定めること。

②諸経費動向調査

③施工合理化調査（歩掛実態調査）

④施工形態動向調査

調査対象になった工種には、発注者から通知すると共に、技術管理費に当該調査に関わる調査費用を計上する。

⑵ 構造改善

建設現場における福祉の改善や労働時間の短縮、又は建設産業への理解を深める事業の実施などの構造改善対策にも配慮すること。

⑶ 暴力団等（暴力団、暴力団関係企業など、不当介入を行うすべての者をいう。）からの不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除

① 暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告し、所轄の警察署に届けること。

② 暴力団等からの不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告し、被害届を速やかに所轄警察署に提出すること。

③ 不当介入を排除するため、発注者及び所轄警察署と協力すること。

④ 不当介入により工期の延長が生じる場合は、約款の規定により発注者に工期延長等の要請を行うこと。

⑷ 遵守事項

「指導事項」（別紙－３）を遵守すること。

⑸ しゅん工検査における複数検査員及び複数日検査への協力

しゅん工検査において、検査補助員を配する検査あるいは複数日の検査となる場合は、検査に協力すること。

⑹ 抜き打ち検査

建設工事の抜き打ち検査が実施された場合､受注者は受検体制を含め検査員の指示に従うこと。

⑺ 指導監査

施工途中において指導監査を実施する場合､受注者は受検体制を含め検査員の指示に従うこと。

⑻ 不正軽油撲滅対策

軽油を燃料とする車両及び建設機械等には、ガソリンスタンド等で販売されている適正な軽油を使用すること。

県庁税務課及び各県税事務所がおこなう燃料の抜き取り調査等に協力すること。

⑼ 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

法定外の労災保険への付保状況について、受注者は保険契約の証券又はこれに代わるものにより、監督員の確認を受けなければならない。

１５注意事項

⑴ 変更請負額

設計変更に伴い算出する請負額は、次式により算出する。

（変更請負額(税抜)）＝(変更設計額(税抜))×(請負額(税抜))／(設計額(税抜))(万円未満切捨て)

⑵工事書類簡素化ガイドライン

共通仕様書 1-1-1-27 に定める工事しゅん工書類に関して簡素化出来るものについては、「工事書類簡素化ガイドライン」によることとする。

⑶ 電子納品

電子納品にあたっては、「電子納品に係る実施要領（千曲市）」によるものとする。

１６創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、別紙－１「創意工夫・社会性に関する実施状況」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

１７工事現場の環境改善について

(1)目的

工事現場の現場環境改善は、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ、そこで働く関係者の意識を高めるとともに関係者の作業環境を整えることにより、公共事業の円滑な執行に資することを目的とするものである。よって、受注者は施工に際し、この趣旨を理解し、発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。

(2)現場環境改善の実施内容について

① 現場環境改善費が率計上されている場合は、別紙6「現場環境改善費実施計画表」に基づき、現場着手前までに受発注者協議により決定するものとする。

決定する際は、「現場環境改善費実施計画表」の「実施する内容」の中から、原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を選択することとする。

② 現場環境改善費が①の他に積上計上されている場合は、発注者の指示に従い実施のこと。

(3)工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。

(4)本工事は、「建設工事における「快適トイレ」設置の試行要領（長野県建設部）」を適用する工事です。

１８質問回答について

公告文を参照すること。

１９設計表示数位

適用する設計表示数位は、国土交通省「土木工事数量算出要領（案）」の最新版に準拠している。

§２　特記仕様書

(1)採用単価に関する情報

別添「資材単価等について」、「刊行物単価等」を添付しています。

(2)地下埋設物に関する対応

施工区間内における地下埋設物については、上下水道の管理者と協議の上、試掘により位置や施工影響等を確認することとしているが、隣接する家屋への引込管・排水管についても位置確認及び施工影響を確認すること。また、地元個人で管理している農業用取水管が浅い位置に埋設されているため、地元説明時に確認し、対応を発注者と協議すること。

(2)施工計画について

現道通行止めによる沿線住民への影響を小さくできるように配慮すること。

(3)建設発生土の処分場について

他工事との調整により、発生土の運搬先を変更する場合があります。

(4)雨水の対策について

側溝工や舗装等の施工時には、民地等へ市道から雨水が流出しないように留意して施工し、別途対応が必要と考えられる場合は発注者と協議すること。

(5)耕作地への配慮について

工事現場への材料搬入時等に近隣の耕作地へ悪影響を及ぼさないように注意すること。対応が必要となった場合は発注者と協議の上実施すること。

(6)構造物撤去について

既設構造物撤去時には、その構造物の寸法及び材質を記録し、適切に撤去及び処分を行うこと。

(7)工種の追加について

現場再精査等により、新たな工種が必要となった場合には、発注者と協議の上、施工範囲または設計数量の変更、工種の追加を行う場合があります。

(8)購入土について

他工事等との調整により変更となる場合があります。

（別紙－１）

創意工夫・社会性に関する実施状況

工事名	令和○○年度　○○　　工事		請負者名	○○建設
項　目	評価内容	番号	実施内容（説明資料の実施内容を複写）	
□創意工夫 項目数 ＿＿＿項目	□施工		（例） ・災害等での臨機の処置 ・施工状況（条件）の変化に対応した自発的提案 ・ＩＣＴ活用工事の取組み ・測量・位置出し ・施工に伴う機械、器具、工具、装置類の工夫 ・二次製品、代替製品の利用の工夫 ・施工方法の工夫 ・施工環境の改善 ・仮設計画の工夫 ・施工管理の工夫 ・写真管理の工夫 ・その他	
	□品質		（例） ・使用材料、施工方法、品質確保の工夫 ・集計ソフトの活用 ・その他	
	□安全衛生 （※）		（例） ・安全施設･仮設備の配慮･工夫 ・安全教育･講習会･パトロールの工夫 ・作業環境の改善 ・交通事故防止･被害軽減対策･交通確保の工夫 ・その他	
	□その他		（例） ・リサイクル推進 ・生産性向上の取組み ・その他	
□社会性等 （地域社会や住民に対する貢献） 項目数 ＿＿＿項目	□地域への貢献 （週休2日に対する取組みを含む） （※）		（例） ・週休2日実現の取組みの工夫 ・地域の自然環境保全 ・作業現場の周辺地域との調和 ・地域住民とのコミュニケーション ・ボランティア活動への積極的な参加 ・その他	

実施状況の提出は、創意工夫、社会性等それぞれ７項目を上限とする。

※　現場環境改善費で実施した５項目については評価しない。

創意工夫・社会性等に関する実施状況　　説明資料

工事名			番号	
項　目		評価内容		
実施内容				

（説　明）

（添付図）

○作成にあたっての注意事項

本実施状況の提出は、創意工夫、社会性それぞれ７項目を上限とする。

【別添様式】について

１．該当する項目に□に、レ点マーク記入。

２．該当項目以外にも評価できる内容がある場合には、その他として項目を設けるものとする。

３．具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

４．提案内容１件毎に番号を付し、説明資料の右上に対応する番号を記入する。

「説明資料」については、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

（別紙－２）

排出ガス対策型建設機械について

本工事においては、（表－１）に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械の使用を原則とする。

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付建設省経機発第２４９号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用出来ない場合は、平成７年度建設技術評価制度募集課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

（表－１）排出ガス対策型建設機械を原則使用とする機種

機　　種	備　　考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの； 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 （閲覧設計書等で2次基準値と表示している機種については、2次基準値を標準とする工種である。）

（別紙－３）

指導事項

（１）建設産業における生産システムの合理化指針の遵守等について

工事の適正かつ円滑な施工を確保するため、「建設産業における生産システムの合理化指針」において明確にされている総合・専門工事業者の役割に応じた責任を的確に果たす　とともに、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善等　に努めること。

（２）建設工事の適正な施工の確保について

一　建設業法（昭和２４年５月２４日法律第１００号）及び公共工事の入札契約の促進に関する法律（平成１２年１１月２７日法律第１２７号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

二　建設業法第２６条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して、専らその職務に従事する者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。

なお､主任技術者または監理技術者の専任を要しない期間の留意事項は､以下のとおりとする。

・請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて決める。

・工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付けのみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

三　受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者のうち、当該建設工事に係る建設業が指定建設業である場合の監理技術者は、建設業法第１５条第２号イに該当する者又は同号ハの規定により建設大臣が同号イに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者で、監理技術者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、監理技術者の写しを契約時に提出する。また発注者から請求があったときは、資格者証を提示すること。

四　一、二及び三のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

（３）労働福祉の改善等について

建設労働者の確保を図ること並びに労働災害の防止、適正な賃金の確保、退職金制度及び各種保険制度への加入等労働福祉の改善に努めること。

（４）建設業退職金共済制度について

一　建設業者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

二　建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入して現物により交付すること、又は建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

三　請負代金の額が 800 万円以上の建設工事の請負契約を締結したときは、建設業者は、建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後１ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場制作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合においては、あらかじめその理由及び共済証紙の購入予定時期を書面により申し出ること。

四　建設業者は、三の申し出を行った場合、請負代金額の増額変更があった場合等において、共済証紙を追加購入したときは、当該共済証紙に係る収納書を工事完成時までに提出すること。なお、

三の申し出を行った場合又は請負代金額の増額変更があった場合において、共済証紙を追加購入しなかったときは、その理由を書面により申し出ること。

五　共済証紙の購入状況を把握するため必要があると認めるときは、共済証紙の受払い簿その他関係資料の提出を求めることがあること。

六　建退共制度に加入せず、又は共済証紙の購入若しくは貼付が不十分な建設業者については、指名等において考慮することがあること。

七　下請業者の規模が小さく、建退共制度に関する事務処理能力が十分でない場合には、元請業者に建退共制度への加入手続き、共済証紙の共済手帳への貼付等の事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者においてできる限り下請業者の事務の受託に努めること。

（５）ダンプトラック等による過積載、不正改造等の防止について

一 積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。

二 過積載、不正改造等を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

三 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

四 さし枠装着車、物品積載装置、リヤバンパー等を不正改造したダンプカー及び不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。

五 過積載車両、さし枠装着車、リヤバンパーの切断・取り外し改造車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載、不正改造等を助長することのないようにすること。

六 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、リヤバンパーの切断・取り外し改造車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

七 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

八 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

九 以上のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

十 上記の対策について、施工計画書に具体的に記載すること。

（６）不法無線局及び違法無線局対策について

受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（不法アマチュア局、外国製無線機など）及び無線局の違法な運用（アマチュア局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。

（別紙－４）

長野県産土木用材産地証明書発行基準

１（目的）

長野県県産間伐材供給センター協議会規約第４条（３）により、県産土木用材産地証明書（以下証明書という）を発行するための基準を示すものである。

２（発行対象者）

（１）長野県県産間伐材供給センター協議会（以下供給センターという）を構成する者及びその構成員。

（２）供給センターの認めた者。

３（発行者）

証明書の発行は、次の地区協議会が行う。

証明書の発行を求めるものは次の事務局へ、次の書類を提出する。

（発行所）

① 東信地区協議会　小諸市甲鞍掛４７４７（東信木材センター協同組合連合会内）
（℡０２６７－２３－０８８７）

② 南信地区協議会　上伊那郡辰野町伊那富後山５８９２－１
（長野県森林組合連合会　南信木材センター内）

③ 中信地区協議会　安曇野市三郷温４０００
（長野県森林組合連合会　中信木材センター）

④ 北信地区協議会　長野市大字穂保字中ノ配３４２－１
（長野県森林組合連合会　北信木材センター内）

（提出書）

（１）証明書発行申請書（様式１）

（２）素材丸太にあっては、その生産者の、加工品にあってはその加工製造業者の「出荷証明書」
（書式は特に定めないが、①工事名　②施工主　③元請　④品種（県産材使用を明記する）⑤製造日又は伐採日　⑥製造者又は伐採者を明記し、その発行者の押印のあるもの）

４（証明書の書式）

証明書の書式は、（様式２）とする。

５（申請者の責務）

① 申請書記載事項等に虚偽があり、その責務を問われた場合、その責務は申請者に帰するものとする。

② 協議会から長野県産間伐材を使用していることを証明する資料を求められた場合速やかに従う責務を負う。

（様式１）

長野県産土木用材産地証明書発行申請書

令和　　年　　月　　日

県産間伐材供給センター協議会長　様

（申請者）
会社名
代表者名

下記使用について確かに長野県産材を使用したので長野県産土木用材産地証明書を発行してください。

記

工事名：令和　年度　　工事　　線　　市　　字
発注者：長野県　　事務所長
品　種：県産からまつ間伐材使用
　　2.0m×8～12cm　皮むき丸太　500本
製造者：
製造日：　　令和　　年　　月　　日
添付書類：　　出荷証明書
その他：

（様式２）

県 産 土 木 用 材 産 地 証 明 書

様

令和　　年　　月　　日

長野県岡田町３０－１６
県産間伐材供給センター協議会
会　長　　〇〇〇〇

下記の土木用材は長野県産であることを証明します。

記

納　材　者　　氏名又は名称 及び代表者名	

樹　　種	規格・仕様	数　　量

令和　　年　　月　　日

千曲市長　様

県　外　産　資　材　使　用　報　告　書

受注者名：
（現場代理人）

工事名

本工事において県内産を使用しない材料は、以下のとおりです。

資材名	規格	使用数量	製造者名・製造工場名・ 購入先等（県名及び市町村名）	県内産資材を使用しない理由

※報告が必要な資材を「生コン」、「砕石」、「加熱アスファルト合材」、「コンクリート二次製品」に限定します。
※「県内産」とは、県内企業が「生産」した製品とします。
※県内産資材を使用しない理由には、「工事予定期間に製品の納入が困難」「大規模災害の発生により製造が間に合わない」「構造的に使用ができる製品がない」などの具体的な内容を記載してください。

（別紙－６）

現場環境改善費実施計画表

計上費目	チェック欄	実施する内容		現場で実施する内容
現場環境改善（仮設備関係）		1	用水・電力等の供給設備	
		2	緑化・花壇	
		3	ライトアップ施設	
		4	見学路及び椅子の設置	
		5	昇降設備の充実	
		6	環境負荷の低減	
			その他	
現場環境改善（営繕関係）		1	現場事務所の快適化 （女性用更衣室の設置を含む）	
		2	労働宿舎の快適化	
		3	デザインボックス （交通誘導警備員待機室）	
		4	現場休憩所の快適化	
		5	健康関連設備及び厚生施設の充実等	
			その他	
現場環境改善（安全関係）		1	工事標識・照明等安全施設のイメージアップ （電光式標識等）	
		2	盗難防止対策（警報器等）	
		3	避暑（熱中症予防）・防寒対策	
			その他	
地域連携		1	完成予想図	
		2	工法説明図	
		3	工事工程表	
		4	デザイン工事看板 （各工事PR看板含む）	
		5	見学会等の開催 （イベント等の実施含む）	
		6	見学所（インフォメーションセンター）の 設置及び管理運営	
		7	パンフレット・工法説明ビデオ	
		8	地域対策費 （地域行事等の経費を含む）	
		9	社会貢献	
			その他	

電子納品に係る実施要領

（令和６年５月１日制定）

（目的）

第１　この要領は、千曲市の建設工事及び建設工事に係る測量設計業務等（以下、「工事等」という。）における電子納品を進めるための実施方法等を定め、公共工事におけるＣＡＬＳ/ＥＣの推進を図ることを目的とする。

（電子納品の定義）

第２　「電子納品」とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することで、業務の次段階における活用を容易にし、品質の向上や業務の効率化を図ることをいう。ここでいう電子データとは、各電子納品要領（案）等に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

（対象工事等）

第３　原則として全ての工事等を対象とする。ただし、発注者が不要と認めた場合はこの限りでない。

（対象成果品）

第４　電子納品の対象となる成果品は、次に規定される成果品とする。

・土木工事共通仕様書（施工管理基準、写真管理基準等を含む）
・測量業務共通仕様書
・地質・土質調査共通仕様書
・設計業務共通仕様書
・用地調査等共通仕様書（第３章～第３章の７に該当するもの）

（経費の取り扱い）

第５　電子納品の作成に係る経費の取り扱いは以下のとおりとする。なお、第 11 で規定する成果品の提出部数によらない場合は、特記仕様書に明示するほか、別途、必要経費を考慮するものとする。

１）工事：共通仮設費率に含まれるものとする。
２）業務：各分野の積算基準で定める「電子成果品作成費」を計上するものとする。

（要領・基準）

第６　千曲市の電子納品は、特に記載のない限り国土交通省の電子納品要領及び関連基準（以下「要領・基準類」という。）を準用する。【別記】

（運用に関する手引き）

第７　千曲市の電子納品に関する下記事項等の運用については、別に定める「運用の手引き」による。【別記】これに定めのない事項については、国土交通省の「電子納品等運用ガイドライン［土木工事編］、電子納品運用ガイドライン　［業務編］」に準じて受発注者間で協議して定めることとする。

・要領・基準類の千曲市での読み替え
・受発注者間で協議確認する際に使用する「チェックシート」
・電子納品対象書類の範囲

・電子ファイルのアプリケーションソフト、バージョン
・施工中の書類の取り扱い
・電子成果品の保管管理
・千曲市工事では、完成図面（100%出来形展開図等）、工事写真を電子納品の対象とし、原則１枚の納品媒体に格納することとします。格納された各データは、１つの工事管理ファイル　（index_c.xml、　index_d.xml）により管理されるものとします。

（協議確認事項）
第８　電子納品の実施にあたり、受発注者間で協議・確認すべき内容をチェックシートにより行う。
〇事前協議
　工事等の着手時に、期間中の電子納品に関する疑問を解消し円滑に電子納品を実施するため、「事前協議チェックシート」を用いて受発注者間で電子納品の対象書類やファイル形式について協議。

（納品媒体）
第９　納品する電子媒体は基本的にＣＤ－ＲもしくはＤＶＤ－Ｒとする。ＣＤ－Ｒの論理ファイルフォーマット形式はＪｏｌｉｅｔ※とし、ＤＶＤ－Ｒの論理ファイルフォーマット形式は、ＵＤＦ（UDF Bridge）とする。なお、中途における情報のやり取りについては、受発注者協議の上、他の電子媒体を認めることとする。

（納品物のチェック）
第 10　受注者は、電子成果物を納品する前に、必ず国土交通省から提供される最新版の「電子納品チェックシステム」によりチェックを行い、エラーを解消させることとする。また、ウィルスチェックを行い、ウィルスが検出されないことを確認することとする。

（工事等完成図書の提出部数）
第 11　建設工事電子データにより納品する成果品については、電子データを格納した電子媒体をもって原図・原稿及び製本に代えるものとし、提出部数は以下のとおりとする。

①工事完成図書

電子納品対象書類	電子媒体（ＣＤ－Ｒ・ＤＶＤ－Ｒ）	２部（正・副）
	紙媒体　工事写真のうち「着手前・完成」	１部（その他協議による）
上記以外	紙媒体	１部
②業務完成図書書類	電子媒体（ＣＤ－Ｒ・ＤＶＤ－Ｒ）	２部（正・副）
	紙媒体	１部

・電子媒体ラベルへの記載項目のうち、工事等名称については、路河川名及び市町村名、字名を含むのものとする。

（電子納品の検査）
第 12　電子成果品の書類検査は、電子データで検査することを原則とし、必要がある場合に限り紙での出力により対応する。検査に必要な機器の準備は、原則として受注者が行う。機器の操作は、受注者が主に行い、発注者は操作補助を行う。

（適用）
第 13　この要領は、令和６年５月１日以降に入札公告を行う工事等から適用する。

※　Ｊｏｌｉｅｔ（ジョリエット）
マイクロソフト社が設計した、ISO9660の拡張規格であり、1文字2バイトで表現するUnicodeを採用し、128バイト（64文字）までの長いファイル名に対応しています。流通しているほとんどのOSが対応しており、Joliet を利用できないシステムでも ISO 9660 レベル1 として読み込めるようになっていることから、ワープロソフト等で一般的になった4文字の拡張子に対応するため、電子納品に関する要領・基準での標準として採用しました。
（国土交通省電子納品運用ガイドラインによる）

【別記】千曲市が準用する「要領・基準類」及び「運用に関する手引き」等

（令和６年４月１日現在）

〇国土交通省「要領・基準類」は以下のとおり。

要領・基準

・工事完成図書の電子納品等要領	令和５年３月
・土木設計業務等の電子納品要領	令和５年３月
・ＣＡＤ製図基準	平成29年３月
・デジタル写真管理情報基準	令和５年３月
・測量成果電子納品要領	令和３年３月
・地質・土質調査成果電子納品要領	平成28年10月

ガイドライン類

・電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】	令和５年３月
・電子納品運用ガイドライン【業務編】	令和５年３月
・ＣＡＤ製図基準に関する運用ガイドライン	平成29年３月
・電子納品運用ガイドライン【測量編】	令和３年３月
・電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】	平成30年３月

〇国土交通省関東地方整備局「運用に関する手引き」は以下のとおり。

・電子納品に関する手引き（案）[土木工事編]	平成21年10月
・電子納品に関する手引き（案）[業務編]	平成21年10月

〇納品時に使用するチェックシステムは以下のとおり。

・国土交通省から提供される電子納品チェックシステムの最新版
・OCFの「SXF確認機能検定」に合格したソフトウェア
（CAD製図基準に基づいて作成された図面を見る場合）

〇千曲市工事では、完成図面（100%出来形展開図等）、工事写真を電子納品の対象とし、原則１枚の納品媒体に格納することとします。格納された各データは、１つの工事管理ファイル（index_c.xml、index_d.xml）により管理されるものとします。

＜参考資料＞

- 国土交通省「電子納品に関する要領・基準」
  http://www.cals-ed.go.jp/youryou-rev-20230323
- 電子納品チェックシステム　http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/

建設工事における「快適トイレ」設置の試行要領

千曲市

（令和４年11月１日制定）

１　目的

建設現場を働きやすい環境とする取組の一環として、男女ともに快適に使用できる仮設トイレ（以下、「快適トイレ」という。）を導入し、現場環境の改善を図ることを目的とする。

２　試行対象

〇対象工事

千曲市が発注する建設工事（建築工事は除く）

〇対象金額

全ての工事　→　受注者の希望により実施

３　快適トイレの仕様

受注者は、現場に以下の（１）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式便器

（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

（３）臭い逆流防止機能

（４）容易に開かない施錠機能

（５）照明設備

（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

（８）入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）

（９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）

（10）鏡と手洗器

（11）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

（12）室内寸法900×900mm以上（面積ではない）

（13）擬音装置（機能含む）

（14）着替え台

（15）臭気対策機能の多重化

（16）室内温度の調節が可能な設備

(17) 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

4　実施方法

・受注者は、快適トイレを設置する場合、**様式－１「快適トイレチェックシート」**に必要事項を記入し、パンフレット等の資料とともに監督員に工事打合せ簿にて提出するものとする。

・現場付近に個別にトイレを設置する場合に適用する（現場事務所内にあるトイレには適用しない。）

・標準仕様を満たすトイレを男女別で各 1 台設置することを標準とする（女性が現場にいない場合は、この限りではない）

・「快適トイレとして活用するために備える付属品」については、受注者は必ず備えるものとする。備えていないトイレは、快適トイレとしては扱わないこととする。

・原則として、試行対象工事に適用するが、市場に全現場に相当するトイレが流通していないと想定されることから、当初は金額を計上せず、導入できた工事について変更契約時に計上する方法とする。

・ただし、快適トイレの流通の関係上、仕様を満たすトイレを手配できない場合は、監督員と協議のうえ、快適トイレを導入しないものとする。

5　積算について

・快適トイレの費用は、51,000 円／基・月を上限に「積算上の差額」※を計上するものとし、男女別で 1 台ずつ計 2 台まで計上できるものとする（102,000 円／2 基・月が上限）

※「積算上の差額」とは、実際にかかった費用から 10,000 円（従来品）を引いた額

・計上費用は、「積算上の差額」と「51,000 円／基・月」を比較し、どちらか安い方の費用を共通仮設費（営繕費）に計上するものとする。

・ハウス型等の男女別トイレが一体型となっている場合、男女別の入口になっている場合に限り、1 ハウスで 102,000 円／基・月上限まで計上可能とする。

・積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）の対象(１項目)としてよい。

6　その他

・従来行ってきた「女性用トイレ」を現場に設置する場合は、原則として快適トイレを設置するものとする。なお、快適トイレが手配できないなどの理由によりこれによりがたい場合は、受発注者協議のうえ決定する。

・災害時に避難所で使用する快適トイレが不足する場合は、避難所へ優先配備できるよう、可能な範囲で協力するものとする。

【具体的な計上方法例】

① 実際に導入した快適トイレ費用　70,000 円／基・月の場合（積算上の差額　60,000 円）

積算で計上する費用：51,000 円／基・月

② 実際に導入した快適トイレ費用　40,000 円／基・月の場合（積算上の差額　30,000 円）

積算で計上する費用：30,000 円／基・月

③ 実際に導入した快適トイレ費用

男女一体型ハウス　100,000 円／基・月の場合（積算上の差額　90,000 円）

積算で計上する費用：90,000 円／基・月

④ 実際に導入した快適トイレ費用

男女一体型ハウス　200,000 円／基・月の場合（積算上の差額　190,000 円）

積算で計上する費用：102,000 円／基・月

7　適用

本試行要領は、令和 4 年 11 月 1 日以降に起工起案する工事から適用する。

材料の一括承認一覧表 材料承認願を施工計画書に記載することにより省略できるもの：市土木工事(国補・市単共) 令和6年4月 千曲市役所

路盤・基礎材料

（R6.4～R7.3）

	中部興業㈲	北信地区砕石協同組合			長埴石産㈱	㈱塩沢産業
		飯山陸送 松代工場	信越建商 高山工場	藤森砕石 高山工場		
粒調砕石 25mm	◎	◎	◎	◎		◎
粒調砕石 40mm	◎	◎	◎	◎		◎
クラッシャーラン 25mm		◎	◎	◎	◎	◎
クラッシャーラン 40mm	◎	◎	◎	◎	◎	◎

加熱アスファルト（新材）

（R6.4～R7.3）

	高沢産業 更埴工場	高沢産業 長野工場	本久 長野工場	本久 上田工場	しなの アスコン㈱	塩沢 アスコン
粗粒度As(20)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(20)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(13)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
細粒度As(13)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(20F)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(13F)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
細粒度As(13F)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
開粒度As(13)			◎	◎	◎	◎
加熱安定処理材				◎		
改質Ⅱ型密粒度As(20F)				◎		◎
改質Ⅱ型密粒度As(13F)				◎		◎

加熱アスファルト（再生材）

（R6.4～R7.3）

	高沢産業 更埴工場	高沢産業 長野工場	本久 長野工場	本久 上田工場	しなの アスコン㈱	塩沢 アスコン
粗粒度As(20)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(20)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(13)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
細粒度As(13)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(20F)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
密粒度As(13F)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
細粒度As(13F)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
加熱安定処理材	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※再生材混入率30%

生コンクリート

（R6.4～R7.3）

	信州生コン㈱	㈲柳沢建材	上小生コン事業協同組合	
			上田生コン	シナノ生コン上田工場
21-8-20N （W/C=60以下）			◎	
21-8-25N （W/C=60以下）		◎		
21-8-40N （W/C=60以下）		◎	◎	
24-8-20N （W/C=60以下）				◎
24-8-40N （W/C=60以下）				◎
21-8-20BB （W/C=60以下）			◎	
21-8-25BB （W/C=60以下）	◎	◎		
21-8-40BB （W/C=60以下）	◎	◎	◎	
24-8-20BB （W/C=60以下）				◎
24-8-40BB （W/C=60以下）				◎
24-8-20N （W/C=55以下）			◎	
24-8-25N （W/C=55以下）		◎		
24-8-40N （W/C=55以下）		◎	◎	
24-12-20N （W/C=55以下）			◎	
24-12-25N （W/C=55以下）		◎		
24-12-40N （W/C=55以下）		◎	◎	
27-8-20N （W/C=55以下）				◎
27-8-40N （W/C=55以下）				◎
27-12-20N （W/C=55以下）				◎
27-12-40N （W/C=55以下）				◎
24-8-20BB （W/C=55以下）			◎	
24-8-25BB （W/C=55以下）	◎	◎		
24-8-40BB （W/C=55以下）	◎	◎	◎	
24-12-20BB （W/C=55以下）			◎	
24-12-25BB （W/C=55以下）	◎	◎		
24-12-40BB （W/C=55以下）	◎	◎	◎	
27-8-20BB （W/C=55以下）				◎
27-8-40BB （W/C=55以下）				◎
27-12-20BB （W/C=55以下）				◎
27-12-40BB （W/C=55以下）				◎
捨-8-40N			◎	◎
捨-8-40BB			◎	◎

※生コンクリートの使用にあたっては、一括承認されている場合でも施工計画書に「配合計画書」を添付してください。

※水セメント比の選択については、長野県土木事業設計基準第5章第1節に準拠する。

各生コン工場の工場適用配合は次の通りです。（指定規格と製品規格が異なるもの、同等品）

信州生コン

指定	工場適用配合
18-8-25BB (W/C=60%以下)	21-8-25BB
18-8-40BB (W/C=60%以下)	21-8-40BB

柳沢建材

指定	工場適用配合
18-8-25N　(W/C=60%以下)	21-8-25N
18-8-40N　(W/C=60%以下)	21-8-40N
18-8-25BB (W/C=60%以下)	21-8-25BB
18-8-40BB (W/C=60%以下)	21-8-40BB

上田生コン

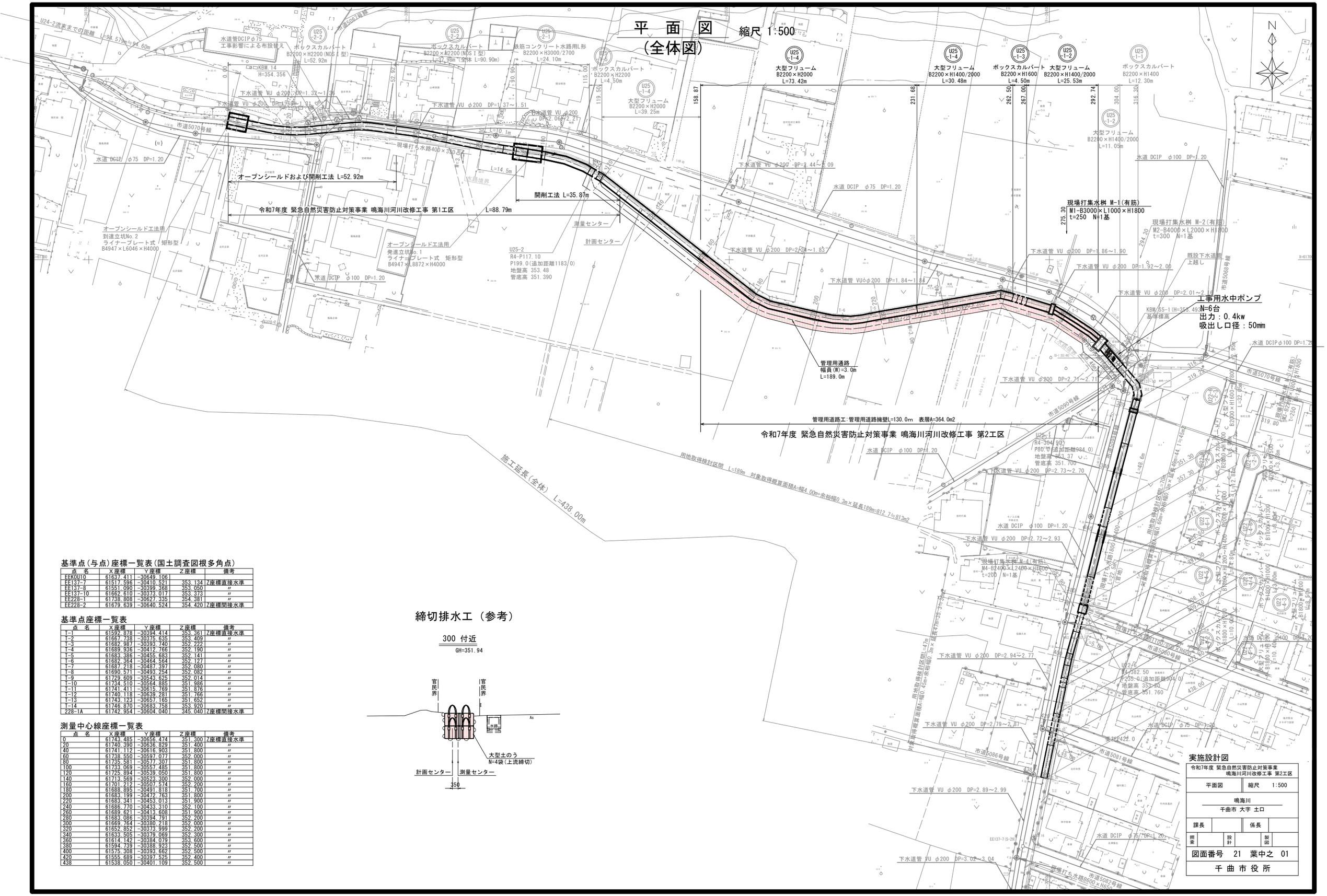
指定	工場適用配合
18-8-25(20)N　(W/C=60%以下)	21-8-20N
21-8-25(20)N　(W/C=60%以下)	
18-8-40N　(W/C=60%以下)	21-8-40N
21-8-40N　(W/C=60%以下)	
18-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	24-8-20N
21-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	
24-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	
18-8-40N　(W/C=55%以下)	24-8-40N
21-8-40N　(W/C=55%以下)	
24-8-40N　(W/C=55%以下)	
18-8-25(20)BB　(W/C=60%以下)	21-8-20BB
21-8-25(20)BB　(W/C=60%以下)	
18-8-40BB　(W/C=60%以下)	21-8-40BB
21-8-40BB　(W/C=60%以下)	
18-8-25()20BB　(W/C=55%以下)	24-8-20BB
21-8-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
24-8-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
18-8-40BB　(W/C=55%以下)	24-8-40BB
21-8-40BB　(W/C=55%以下)	
24-8-40BB　(W/C=55%以下)	
18-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	24-12-20N
21-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	
24-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	
18-12-40N　(W/C=55%以下)	24-12-40N
21-12-40N　(W/C=55%以下)	
24-12-40N　(W/C=55%以下)	
18-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	24-12-20BB
21-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
24-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
18-12-40BB　(W/C=55%以下)	24-12-40BB
21-12-40BB　(W/C=55%以下)	
24-12-40BB　(W/C=55%以下)	

シナノ生コン

指定	工場適用配合
18-8-25(20)N　(W/C=60%以下)	24-8-20N
21-8-25(20)N　(W/C=60%以下)	
24-8-25(20)N　(W/C=60%以下)	
18-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	27-8-20N
21-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	
24-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	
27-8-25(20)N　(W/C=55%以下)	
18-8-40N　(W/C=60%以下)	24-8-40N
21-8-40N　(W/C=60%以下)	
24-8-40N　(W/C=60%以下)	
18-8-40N　(W/C=55%以下)	27-8-40N
21-8-40N　(W/C=55%以下)	
24-8-40N　(W/C=55%以下)	
27-8-40N　(W/C=55%以下)	
18-8-25(20)BB　(W/C=60%以下)	24-8-20BB
21-8-25(20)BB　(W/C=60%以下)	
24-8-25(20)BB　(W/C=60%以下)	
18-8-25(20)BB　(W/C=55%以下)	27-8-20BB
21-8-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
24-8-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
27-8-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
18-8-40BB　(W/C=60%以下)	24-8-40BB
21-8-40BB　(W/C=60%以下)	
24-8-40BB　(W/C=60%以下)	
18-8-40BB　(W/C=55%以下)	27-8-40BB
21-8-40BB　(W/C=55%以下)	
24-8-40BB　(W/C=55%以下)	
27-8-40BB　(W/C=55%以下)	
18-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	27-12-20N
21-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	
24-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	
27-12-25(20)N　(W/C=55%以下)	
18-12-40N　(W/C=55%以下)	27-12-40N
21-12-40N　(W/C=55%以下)	
24-12-40N　(W/C=55%以下)	
27-12-40N　(W/C=55%以下)	
18-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	27-12-20BB
21-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
24-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
27-12-25(20)BB　(W/C=55%以下)	
18-12-40BB　(W/C=55%以下)	27-12-40BB
21-12-40BB　(W/C=55%以下)	
24-12-40BB　(W/C=55%以下)	
27-12-40BB　(W/C=55%以下)	

平　面　図
（全体図）

縮尺 1:500



基準点(与点)座標一覧表(国土調査図根多角点)

点　名	X座標	Y座標	Z座標	備考
EEKOU10	61637.411	-30649.106		
EE137-7	61517.596	-30410.521	353.134	Z座標直接水準
EE137-8	61551.090	-30399.368	353.050	〃
EE137-10	61662.610	-30373.017	353.373	〃
EE228-1	61738.808	-30627.335	354.381	〃
EE228-2	61679.639	-30640.524	354.420	Z座標間接水準

基準点座標一覧表

点　名	X座標	Y座標	Z座標	備考
T-1	61592.878	-30394.414	353.361	Z座標直接水準
T-2	61667.738	-30375.635	353.409	〃
T-3	61682.987	-30393.740	352.222	〃
T-4	61689.936	-30412.766	352.190	〃
T-5	61683.386	-30455.683	352.141	〃
T-6	61682.364	-30464.564	352.127	〃
T-7	61687.218	-30487.397	352.080	〃
T-8	61690.571	-30493.254	352.082	〃
T-9	61729.609	-30543.625	352.014	〃
T-10	61734.510	-30564.885	351.986	〃
T-11	61741.411	-30615.769	351.876	〃
T-12	61740.118	-30639.281	351.766	〃
T-13	61743.123	-30657.165	351.652	〃
T-14	61746.870	-30683.758	353.920	〃
228-1A	61742.954	-30604.040	345.040	Z座標間接水準

測量中心線座標一覧表

点　名	X座標	Y座標	Z座標	備考
0	61743.485	-30656.474	351.300	Z座標直接水準
20	61740.390	-30636.829	351.400	〃
40	61741.112	-30616.903	351.800	〃
60	61738.550	-30597.077	352.000	〃
80	61735.581	-30577.307	351.800	〃
100	61733.069	-30557.485	351.800	〃
120	61725.894	-30539.050	351.800	〃
140	61713.569	-30523.300	352.000	〃
160	61701.212	-30507.574	352.200	〃
180	61688.895	-30491.818	351.700	〃
200	61683.199	-30472.763	351.800	〃
220	61683.341	-30453.013	351.900	〃
240	61686.770	-30433.310	352.100	〃
260	61689.621	-30413.608	351.900	〃
280	61683.086	-30394.791	352.200	〃
300	61669.764	-30380.218	352.000	〃
320	61652.852	-30373.999	352.200	〃
340	61633.505	-30379.069	352.300	〃
360	61614.142	-30384.079	353.600	〃
380	61594.739	-30388.923	352.500	〃
400	61575.308	-30393.662	352.500	〃
420	61555.689	-30397.525	352.400	〃
438	61538.050	-30401.109	352.500	〃

締切排水工（参考）

300 付近

GH=351.94

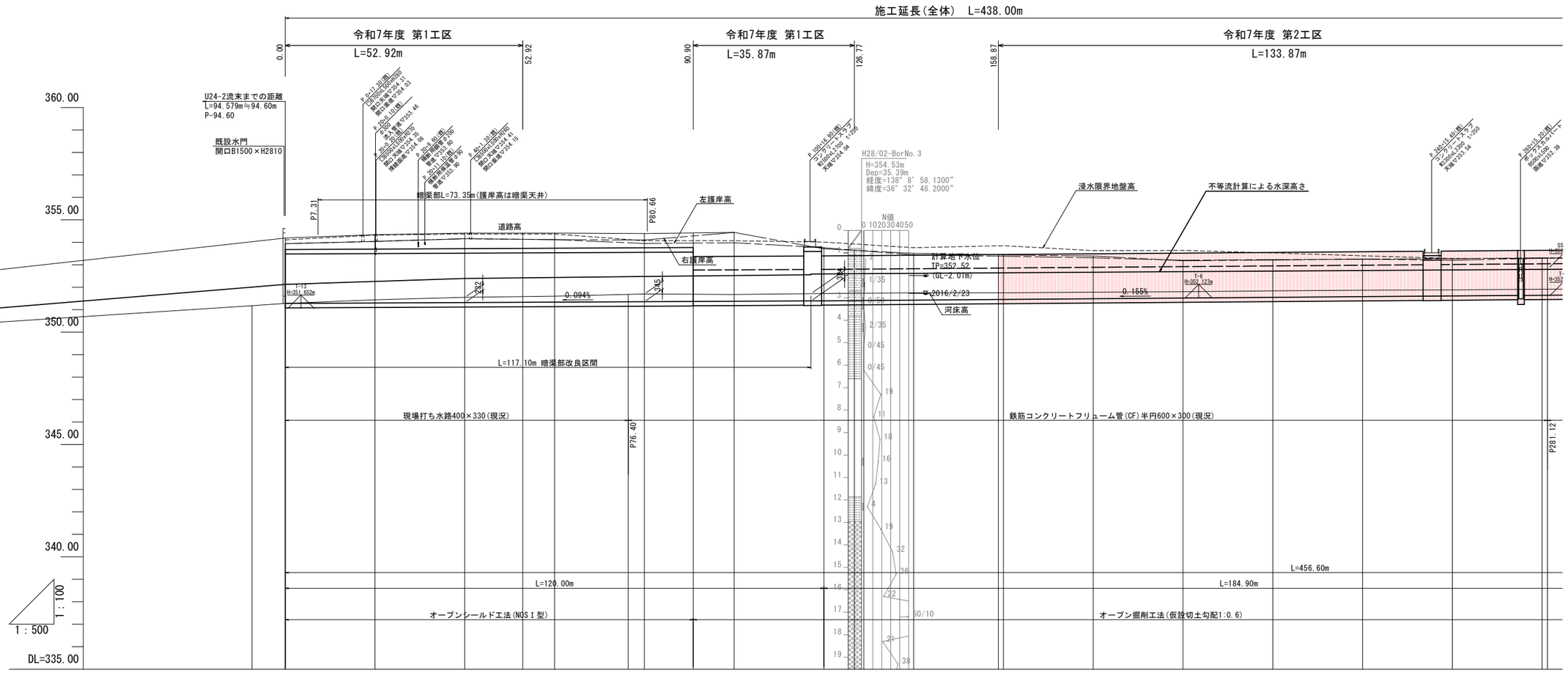
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区	
平面図	縮尺 1:500
鳴海川 千曲市 大字 土口	
課長	係長
照査 / 設計	製図
図面番号 21 葉中之 01	
千 曲 市 役 所	

縦断図(1)

H=1:500
V=1:100

(1)



管番号	勾配	計画高	右護岸高	左護岸高	現況河床高	追加距離	単距離	測点
U25-2-2 B2200×H2200 0.094% 90.90	i=1.300% L=94.600m	351.180			351.18	-7.400	0.000	-7.4
	351.280	351.280	353.94	353.94	351.28	0.000	7.400	0
	i=0.094% L=120.000m	351.299	354.04	354.04	351.44	20.000	20.000	20
		351.318	354.16	354.16	351.55	40.000	20.000	40
		351.330	354.13	354.13	351.58	52.920	12.920	52.92
		351.336	354.12	354.12	351.60	60.000	7.080	60
		351.355	354.10	353.95	351.70	80.000	20.000	80
		351.365	354.29	353.97	351.69	90.900	10.900	90.90
		351.374	354.44	353.98	351.68	100.000	9.100	100
U25-2-1 B2200×H3000/2700 0.094% 24.10		351.390	353.71	353.76	351.72	120.000	20.000	120
U25-1-5 B2200×H2200 0.155% 4.50	351.393	351.393						
U25-1-4 B2200×H1400/2000～H2000 0.155% 143.14	i=0.156% L=184.90m	351.403	353.64	353.65	351.73	126.770	6.770	126.77
		351.424	353.51	353.44	351.75	140.000	20.000	140
		351.453	353.45	353.38	351.75	158.870	18.870	158.87
		351.455	353.44	353.38	351.75	160.000	1.130	160
		351.486	353.39	353.31	351.78	180.000	20.000	180
		351.518	353.18	353.20	351.80	200.000	20.000	200
		351.549	353.21	353.23	351.84	220.000	20.000	220
		351.580	353.25	353.25	351.87	240.000	20.000	240
U25-1-3 B2200×1600 0.155% 4.50		351.611	353.20	353.27	351.88	260.000	20.000	260
U25-1-2 B2200×H1400/2000 0.155% 37.00		351.643 351.645	353.29	353.31	351.91 351.92	280.000 281.210	20.000 1.210	280 +1.21

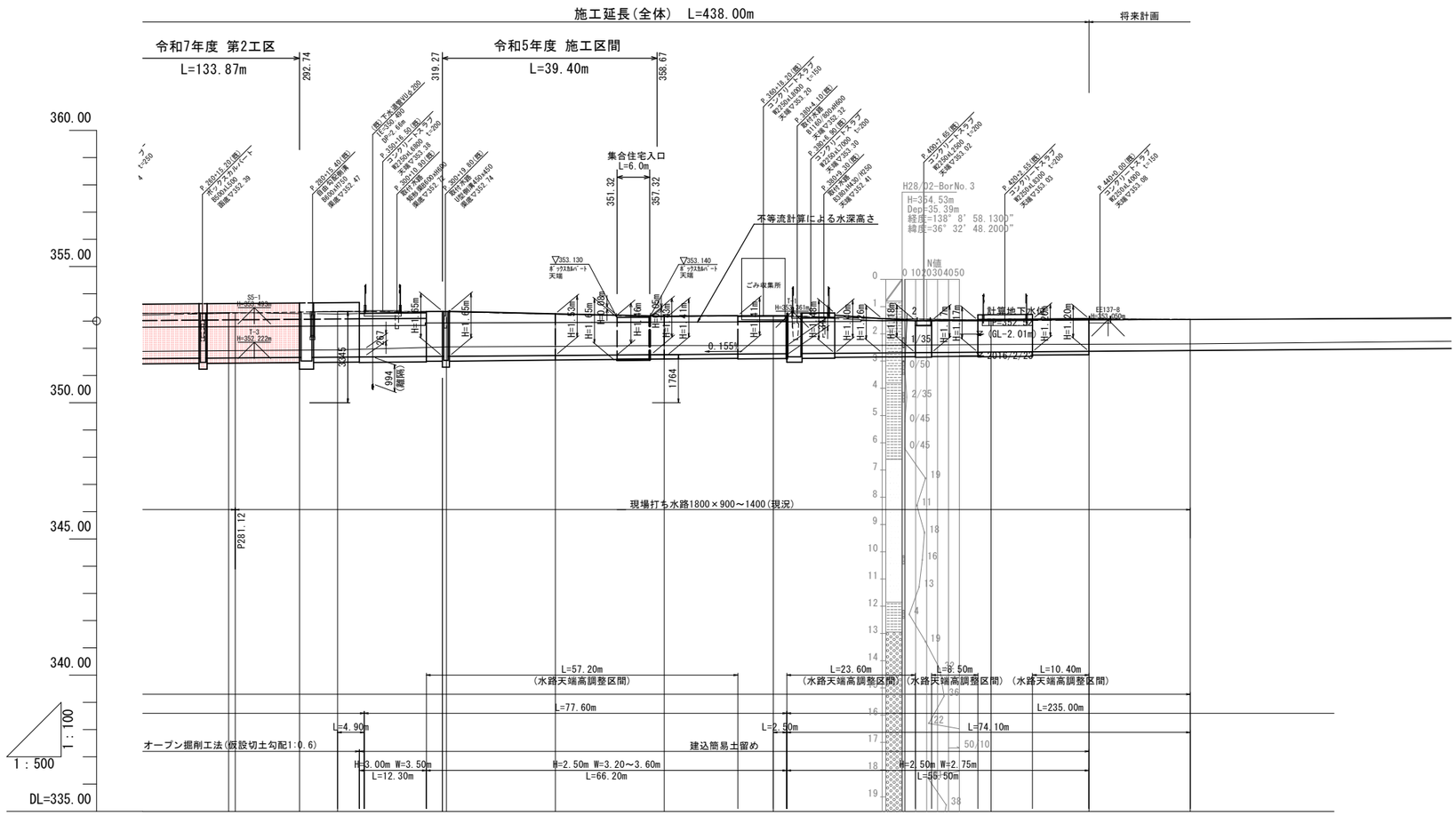
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区	
縦断図(1)	縮尺 図示
鳴海川 千曲市 大字 土口	
課長	係長
照査 / 設計	製図
図面番号 21 葉中之 02	
千曲市役所	

縦断図(2)

H=1:500
V=1:100

(2)



管番号	U25-1-2 B2200×H1400/2000 0.155% 37.00	U25-1-1 B2200×H1400 0.156% 12.30	U22-8-2-3 B2000×H1600～H1800 0.156% 35.00	U22-8-2-2 B2000×H1200 0.155% 6.00	U22-8-2-1 B2000×H1500 0.156% 16.20	U22-6-1 B2000×H1200 0.155% 9.00	U22-4-6 B1800×H1300 0.156% 8.80	U22-4-5 B1800×H1200～H1400 0.156% 14.80	U22-4-4 B1800×H1000 0.156% 3.00	U22-4-3 B1800×H1200 0.156% 8.50	U22-4-2 B1800×H1200 0.156% 10.00	U22-4-1 B1800×H1200 0.156% 10.40
勾配	351.682	i=0.156% L=77.60m				351.803	i=0.157% L=235.00m				351.890	i=0.156% L=179.50m

測点	計画高	右護岸高	左護岸高	現況河床高	追加距離	単距離
280	351.643	353.29	353.31	351.91	280.000	20.000
+1.21	351.645	353.33	353.28	351.92	281.210	1.210
292.74	351.662	353.33	353.26	351.93	292.740	11.530
300	351.674	353.35	353.26	351.94	300.000	7.260
319.27	351.704	353.35	353.33	352.00	319.270	19.270
320	351.705	353.35	353.33	352.00	320.000	0.730
340	351.738	353.26	353.25	352.01	340.000	20.000
358.67	351.765	353.17	353.16	352.06	358.670	18.670
360	351.767	353.17	353.16	352.06	360.000	1.330
380	351.799	353.20	353.20	352.10	380.000	19.320
	351.803					
400	351.830	353.01	353.09	352.11	400.000	20.000
420	351.861	353.00	353.03	352.14	420.000	20.000
438	351.890	353.04	353.09	352.15	438.000	18.000
+18.6	351.919	353.05	353.06	352.16	456.600	18.600

実施設計図

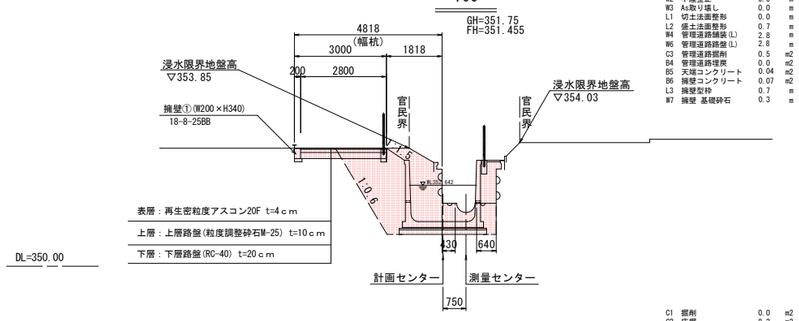
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
縦断図(2)	縮尺	図示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号 21 葉中之 03			
千曲市役所			

横断図(1)

S=1:100

160

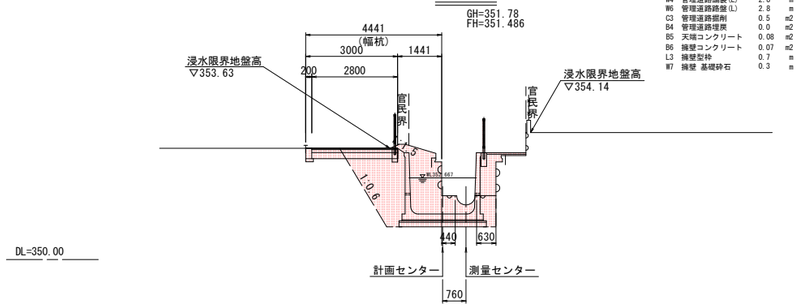
GH=351.75
FH=351.455



C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	8.8	m2
B1 埋戻	3.3	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	1.2	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.7	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.5	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.04	m2
B6 擁壁コンクリート	0.07	m2
L3 擁壁型枠	0.7	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.3	m

180

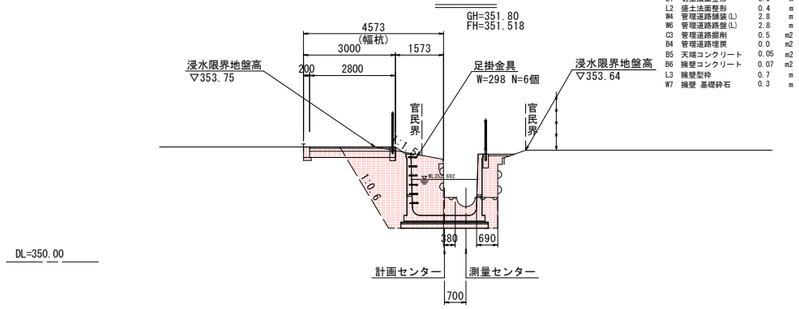
GH=351.78
FH=351.486



C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	8.2	m2
B1 埋戻	2.8	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	1.2	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.3	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.5	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.08	m2
B6 擁壁コンクリート	0.07	m2
L3 擁壁型枠	0.7	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.3	m

200

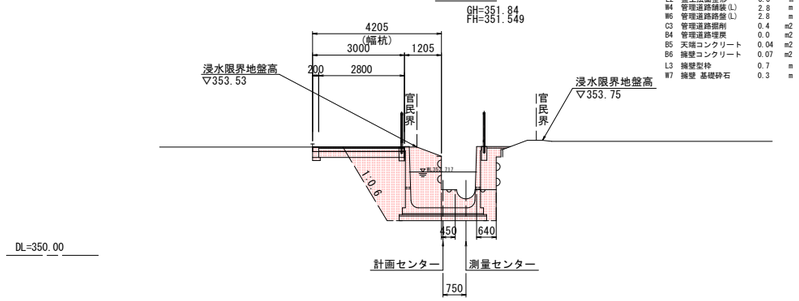
GH=351.80
FH=351.518



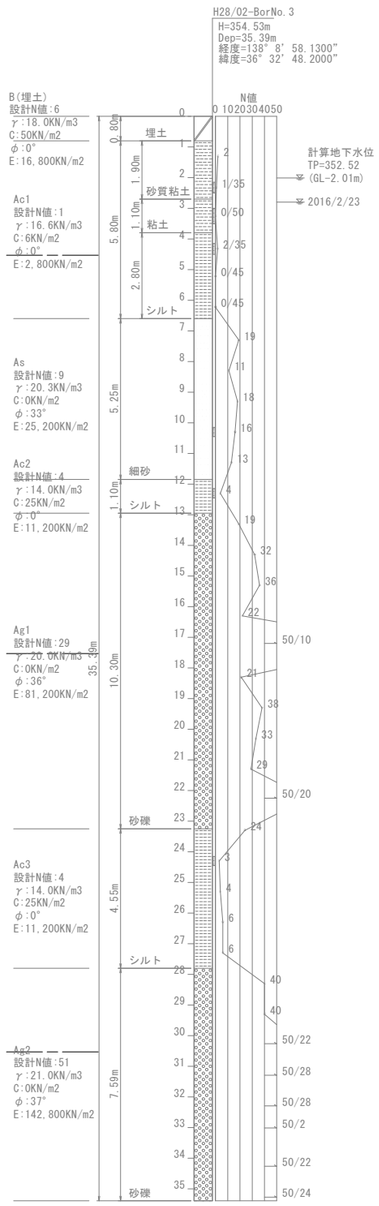
C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	8.0	m2
B1 埋戻	3.0	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	1.2	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.4	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.5	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.05	m2
B6 擁壁コンクリート	0.07	m2
L3 擁壁型枠	0.7	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.3	m

220

GH=351.84
FH=351.549

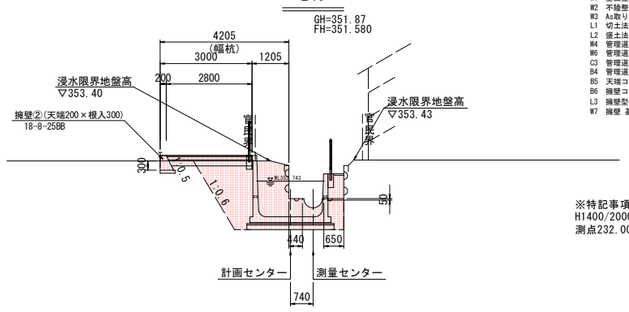


C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	7.5	m2
B1 埋戻	2.5	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	1.2	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.0	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.4	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.04	m2
B6 擁壁コンクリート	0.07	m2
L3 擁壁型枠	0.7	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.3	m



240

GH=351.87
FH=351.580

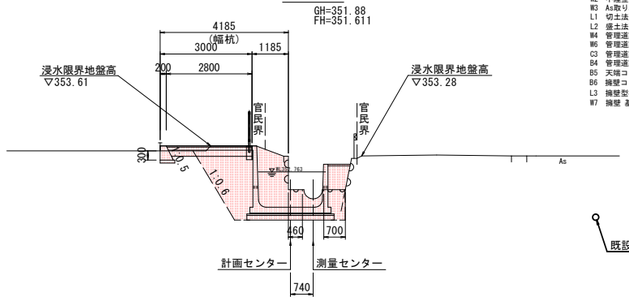


C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	7.1	m2
B1 埋戻	2.5	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	0.9	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.0	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.3	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.02	m2
B6 擁壁コンクリート	0.16	m2
L3 擁壁型枠	1.0	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.5	m

※特記事項
H1400/2000×B2200×L2000 側壁変更タイプの採用区間は、
測点232.00(官民境界)から上流側区間を対象とする。

260

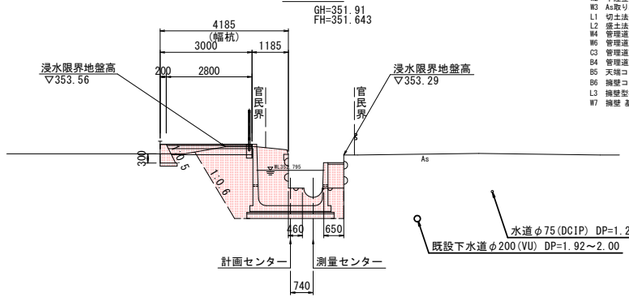
GH=351.88
FH=351.611



C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	7.3	m2
B1 埋戻	2.5	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	1.0	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.0	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.3	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.04	m2
B6 擁壁コンクリート	0.15	m2
L3 擁壁型枠	1.0	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.5	m

280

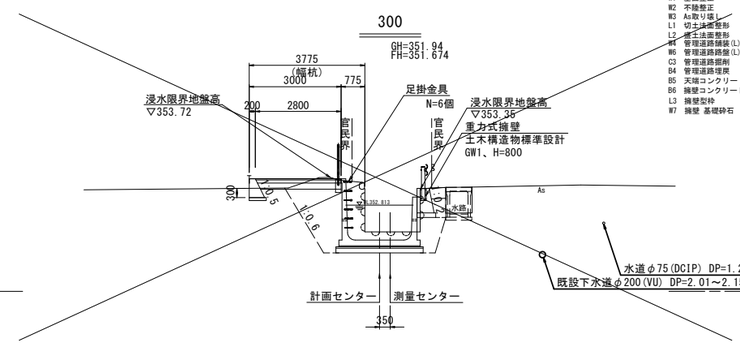
GH=351.91
FH=351.643



C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	7.2	m2
B1 埋戻	2.5	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	0.9	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.0	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.2	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.04	m2
B6 擁壁コンクリート	0.22	m2
L3 擁壁型枠	1.3	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.6	m

300

GH=351.94
FH=351.674



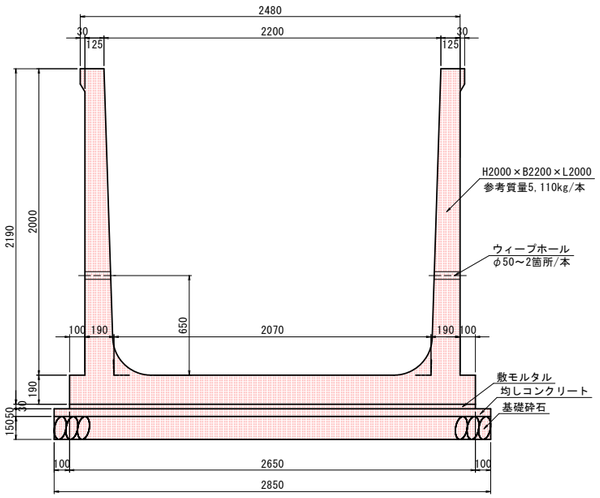
C1 掘削	0.0	m2
C2 床掘	7.6	m2
B1 埋戻	3.3	m2
B2 盛土	0.0	m2
B3 埋戻(間詰)	0.3	m2
W1 基面整正	2.9	m
W2 不陸整正	0.0	m
W3 As取り壊し	0.0	m
L1 切土法面整形	0.0	m
L2 盛土法面整形	0.0	m
W4 管理道路舗装(L)	2.8	m
W6 管理道路路盤(L)	2.8	m
C3 管理道路擁壁	0.2	m2
B4 管理道路埋戻	0.0	m2
B5 天端コンクリート	0.0	m2
B6 擁壁コンクリート	0.22	m2
L3 擁壁型枠	1.3	m
W7 擁壁 基礎砕石	0.6	m

実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
横断図(1)	縮尺 1:100		
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号 21 葉中之 04			
千 曲 市 役 所			

排水工構造図(1)　S=1:20

農業土木事業協会規格
鉄筋コンクリート大型フリューム-Ⅱ種
H2000×B2200×L2000
(参考図)



10m当たり材料表

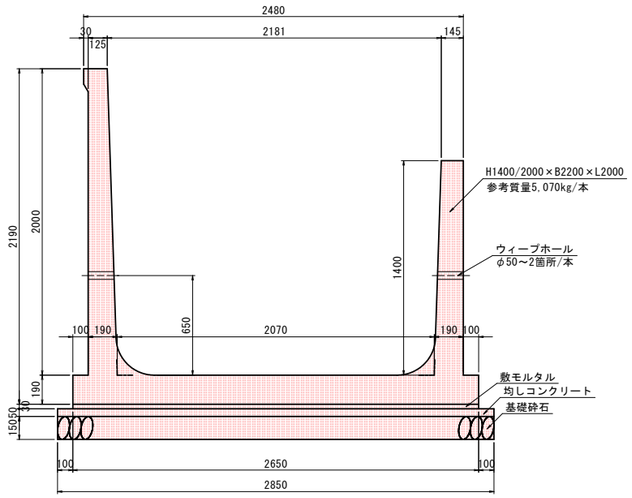
名　　称	規　　格	単　位	数　　量
本　　体	L=2.0m	(本)	5.00
基礎砕石	RC40-0	(m³)	28.50
敷モルタル	1：3	(m³)	0.80
均しコンクリート	18-8-25BB	(m³)	1.43
型　　枠	基礎用型枠	(m²)	1.00

数量表

分　類	名　称　・　規　格		単位	数量	備　　考
大型フリューム H2000×B2200	標準品	L=2000mm	本	24	121～130,133,136,137,140,141,144,148,153,154,157～161
	短尺品	L=1000mm	本	1	147
	斜切品	L=1010/1283mm	本	1	131
		L=1510/1782mm	本	1	132
		L=1492/1799mm	本	1	134
		L=1297/1604mm	本	1	135
		L=1433/1469mm	本	1	142
		L=1732/1767mm	本	1	143
		L=1590/1789mm	本	1	145
		L=1171/1370mm	本	1	146
		L=1166/1375mm	本	1	149
		L=1556/1766mm	本	1	150
		L=1605/1717mm	本	1	151
		L= 907/1019mm	本	1	152
		L= 974/ 951mm	本	1	155
		L=1662/1639mm	本	1	156
	合　　計		本	39	

※水路延長の@100m/箇所に足掛金具W=298(N=6個)を設置すること。

農業土木事業協会規格
鉄筋コンクリート大型フリューム-Ⅱ種
H1400/2000×B2200×L2000 側壁変更タイプ
(参考図)



10m当たり材料表

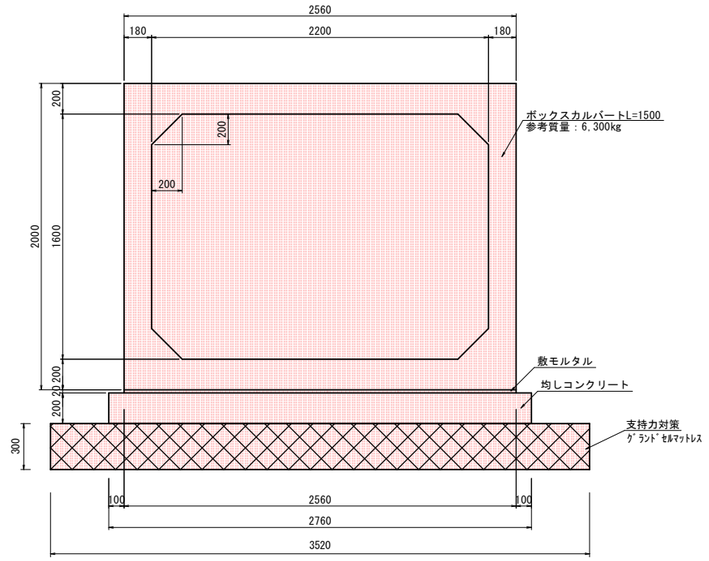
名　　称	規　　格	単　位	数　　量
本　　体	L=2.0m	(本)	5.00
基礎砕石	RC40-0	(m³)	28.50
敷モルタル	1：3	(m³)	0.80
均しコンクリート	18-8-25BB	(m³)	1.43
型　　枠	基礎用型枠	(m²)	1.00

数量表

分　類	名　称　・　規　格		単位	数量	備　　考
大型フリューム H1400/2000×B2200	標準品	L=2000mm	本	18	162～172,182～184,190～192,195
	短尺品	L=1000mm	本	1	189
		L=1500mm	本	4	173,174,181,186
	斜切品	L=1774/1214mm	本	1	175
		L=1775/1215mm	本	1	176
		L=1528/1462mm	本	1	177
		L= 914/ 847mm	本	1	178
		L=1586/ 962mm	本	1	185
		L=1038/ 963mm	本	1	187
		L=1370/1295mm	本	1	188
		L=1422/1253mm	本	1	193
		L=1111/ 943mm	本	1	194
	合　　計		本	32	

※水路延長の@100m/箇所に足掛金具W=400(N=6個)を設置すること。

ボックスカルバート
(支持力対策有り)
B2200×H1600×L1500
(参考図)



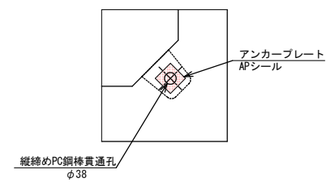
10m当たり材料表

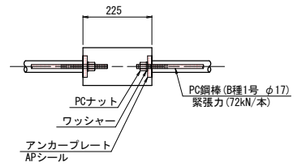
名　　称	規　　格	単　位	数　　量
本　　体	L=1.5m		6.67
敷モルタル	1：3	(m³)	0.51
均しコンクリート	18-8-25BB	(m³)	5.52
型　　枠	基礎用型枠	(m²)	4.00
支持力対策	ｸﾞﾗﾝﾄﾞｾﾙﾏｯﾄﾚｽ	(m²)	35.20

数量表

分　類	名　称　・　規　格			単位	数量	備　　考
RCボックスカルバート B2000×H1600	標準品	L=1500mm	B1	本	2	179,180-2
			A1	本	1	180-1
	合　　計			本	3	
PC縦締め部材数量	PC鋼棒 (B種1号 φ17) 緊張力 (72KN/本)	L=2975mm		本	4	
	PCナット	M18		個	8	
	ワッシャー	M18用		枚	8	
	アンカープレート	φ17用 GH付		枚	8	
	APシール			枚	8	
支持力対策工	グランドセルマットレス			式	1	

PC縦締め詳細図 S=1:10





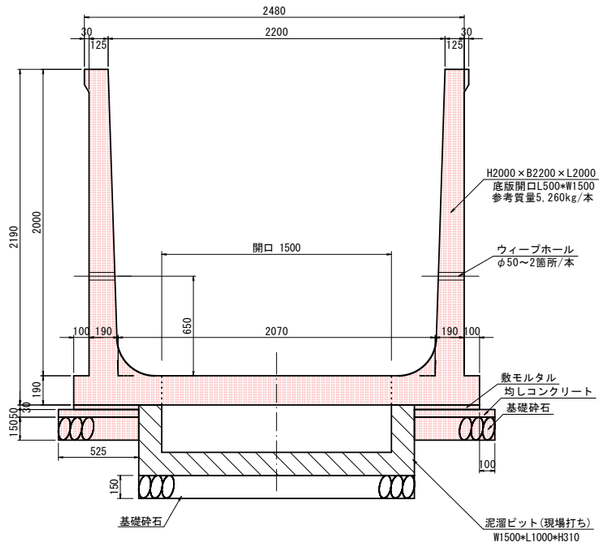
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
排水工構造図(1)	縮尺	図　示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　05			
千曲市役所			

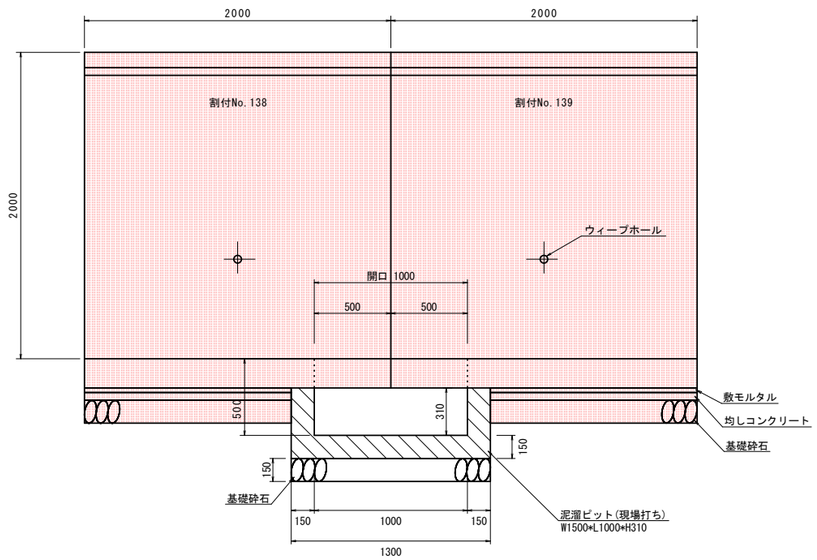
排水工構造図(2)　S=1:20

農業土木事業協会規格
鉄筋コンクリート大型フリューム-Ⅱ種
H2000×B2200×L2000 底版開口タイプ
(参考図)

断 面 図



側 面 図



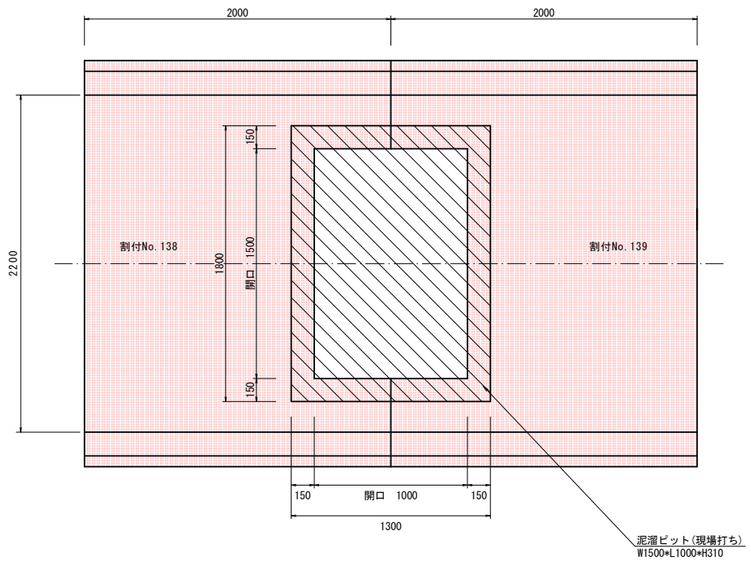
4m当たり材料表

名　　称	規　格	単 位	数　量
本　　体	L=2.0m	(本)	2.00
基 礎 砕 石	RC40-0	(m³)	9.06
敷 モ ル タ ル	1 : 3	(m³)	0.25
均しコンクリート	18-8-25BB	(m³)	0.45
型　　枠	基礎用型枠	(m²)	0.40

数量表

分　類	名 称 ・ 規 格		単位	数量	備　考
大型フリューム H2000×B2200 底版開口タイプ	標準品	L=2000mm	本	2	138,139
	合　計		本	2	

平 面 図



実施設計図

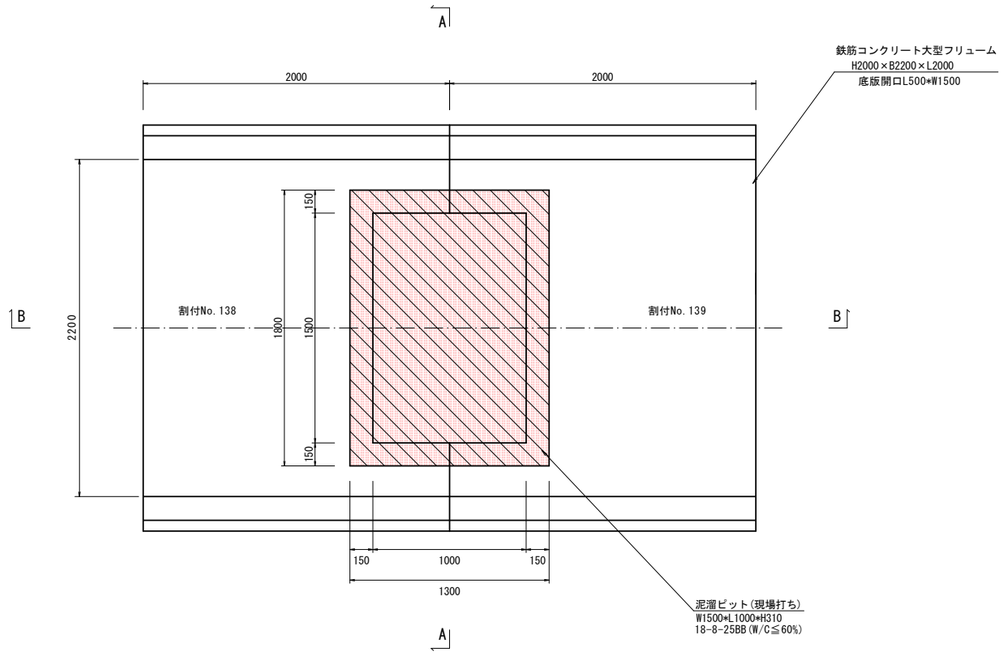
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
排水工構造図(2)	縮尺	図 示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号 21 葉中之 06			
千 曲 市 役 所			

排水工構造図(3)　S=1:20

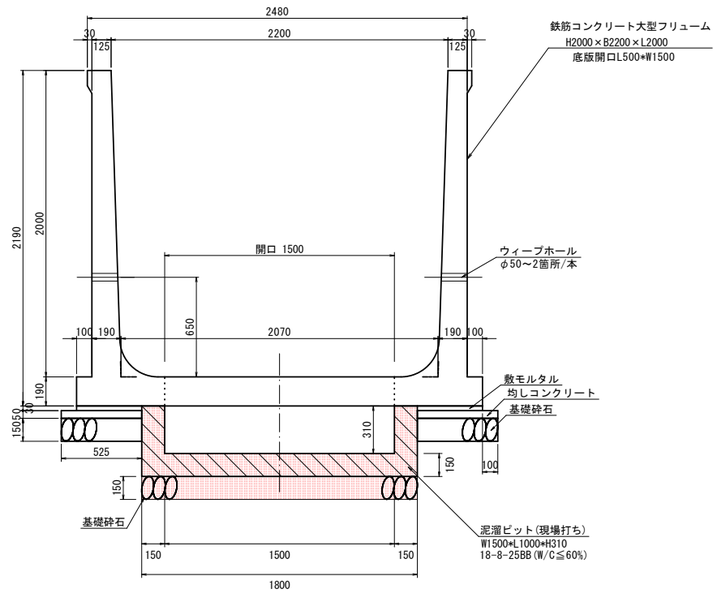
泥溜ピット(現場打ち) 標準図

鉄筋コンクリート大型フリューム-Ⅱ種
H2000×B2200×L2000 底版開口タイプ

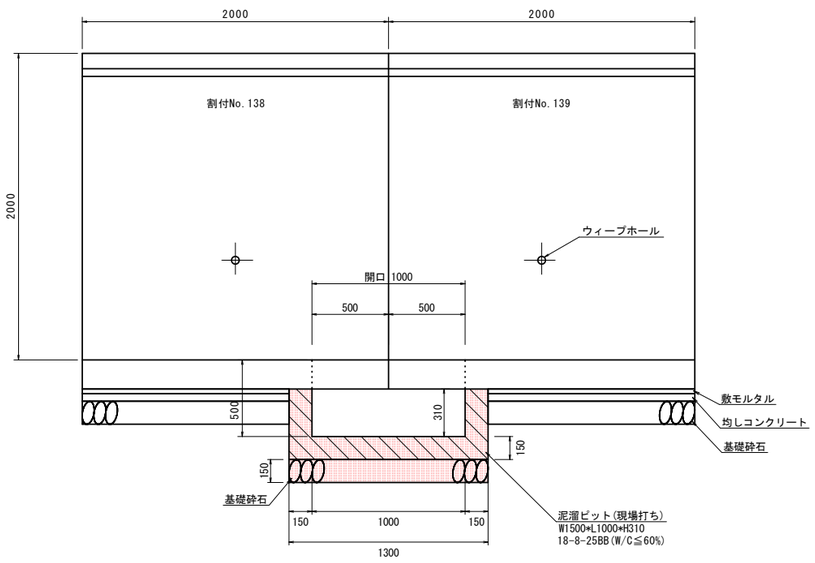
平面図



A-A断面図



B-B断面図



泥溜ピット(現場打ち)　材料表　　1箇所当たり

項　目	規　格	単　位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-25BB	(m³)	0.61	(1.3×1.8×0.46)－(1.5×1.0×0.31)＝0.61m3
型　枠	一般型枠	(m²)	4.40	(1.8+1.3)×2×0.46+(1.5+1.0)×2×0.31＝4.40m2
基礎砕石	RC40-0	(m³)	2.34	1.8×1.3＝2.34m2

※特記事項
1) 生コン使用における設計上の構造物分類
「水セメント比について」
鉄筋コンクリート　　：W/C≦55%
無筋コンクリート
一般の場合：W/C≦60%
耐久性考慮しない場合：W/C≦65%

実施設計図

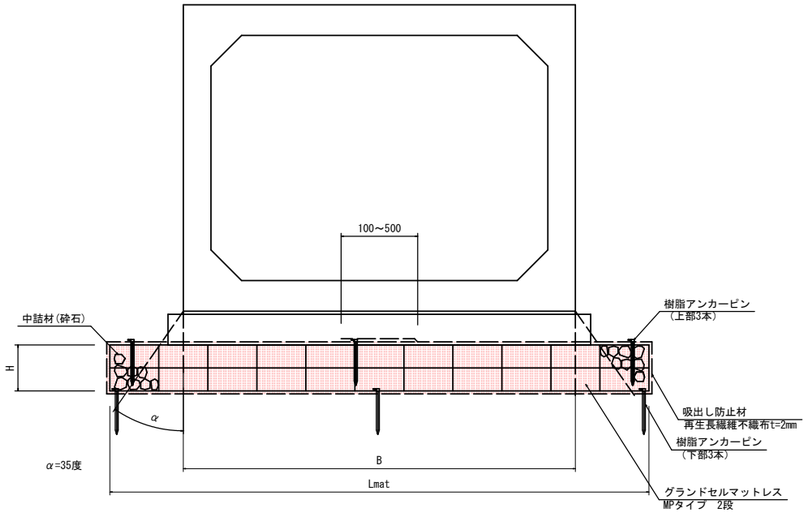
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
排水工構造図(3)	縮尺	図示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　07			
千 曲 市 役 所			

支持力対策工　構造図

グランドセルマットレス工法(同等品以上)
(参考図)

標準断面図　S=1:20

ボックスカルバート
B2200×H1600×L1500



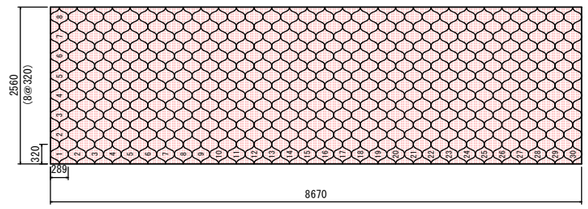
グランドセルマットレス寸法表

呼び名(上部工)	B(mm)	セルタイプ	H(mm)	セル高(mm)	段数(N)	セル巾(mm)	セル数	Lmat(mm)	吸出防止材(mm)
BOX B2200×H1600	2,560	150MP	300	150	2	320	11	3,520	8,140

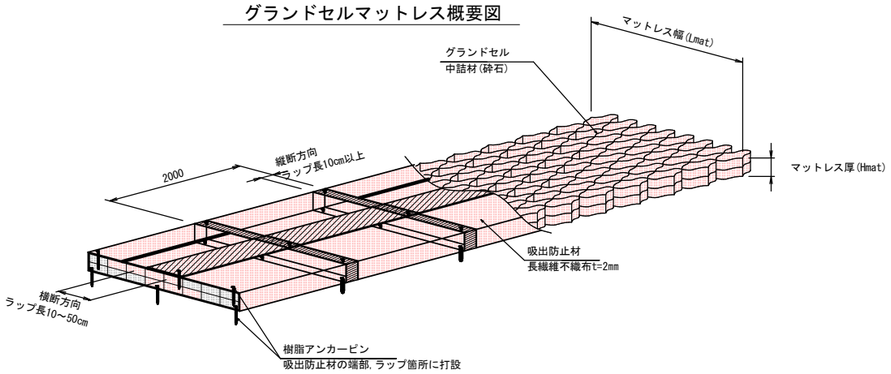
※敷設する地盤を過掘りや著しく軟弱な箇所には、砕石を用いて不陸調整(均し)を行うこと

特記事項	NETIS:CG-160016-VR
基礎地盤排水工	・適切な排水処理を施すこと ・予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと ・施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル内部へ水を導かない ように排水処理を行うこと
安全管理	・安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに 遵守すること
基礎材料	・砕石、再生砕石などを使用する。 ・締固めは、最大乾燥密度の90%（路体）以上を満足すること
基礎地盤	・設計条件との違いがみられる場合は、再度調査を行い 設計の見直しなど適切な処理を行うこと
ジオセル	・製品は実物大実験などを行い性能を立証されているものとする ・シートと砕石のせん断抵抗角を確認している製品とする ・ジオセル接続強度は、溶着強度以上を保持すること （セル高150mmは2130N以上、200mmは2840N以上）

グランドセル標準展開
GN-150MP

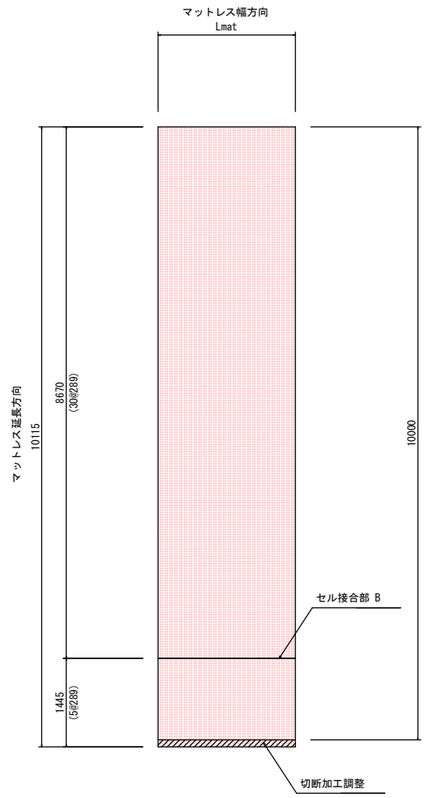


グランドセルマットレス概要図



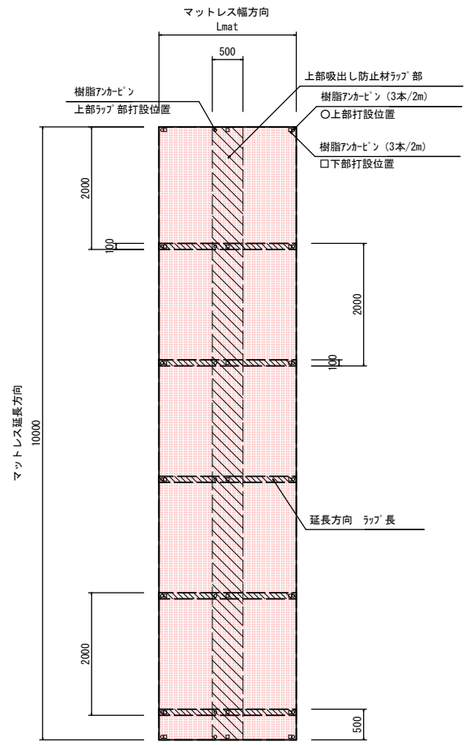
延長10m当り

グランドセル割付図



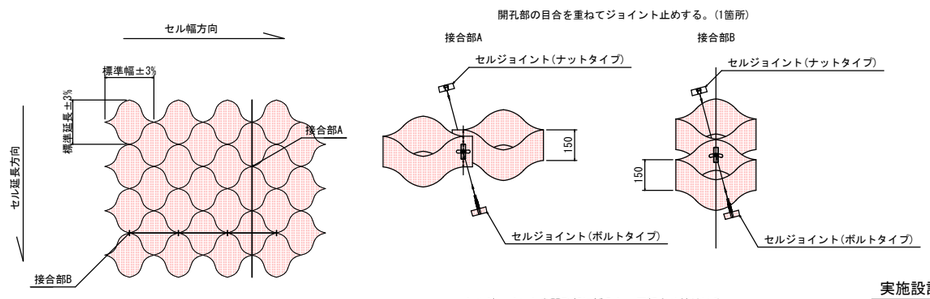
※グランドセルマットレス面積
B幅×厚N段×延長

吸出し防止材割付図



※樹脂ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ　3本　×（延長ラップ数+両端）
※吸出し防止材面積
〔(B幅+厚t)×2+0.5〕×延長

セル相互接合部詳細



セルの接合方法は、セルジョイントを用いる。
ただし、加工箇所等はタッピングビスまたはステープルを推奨する。

セルジョイントを開孔部に挿入し、回転させ締付ける。

実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
支持力対策工 構造図	縮尺	図	示
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　08			
千 曲 市 役 所			

※1 大型フリューム、鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ水路用Ｌ形割付の製品長は、クリアランス(5mm/本)を含む。

※2 ボックスカルバート割付の製品長は、クリアランス(5mm/本)を含む。

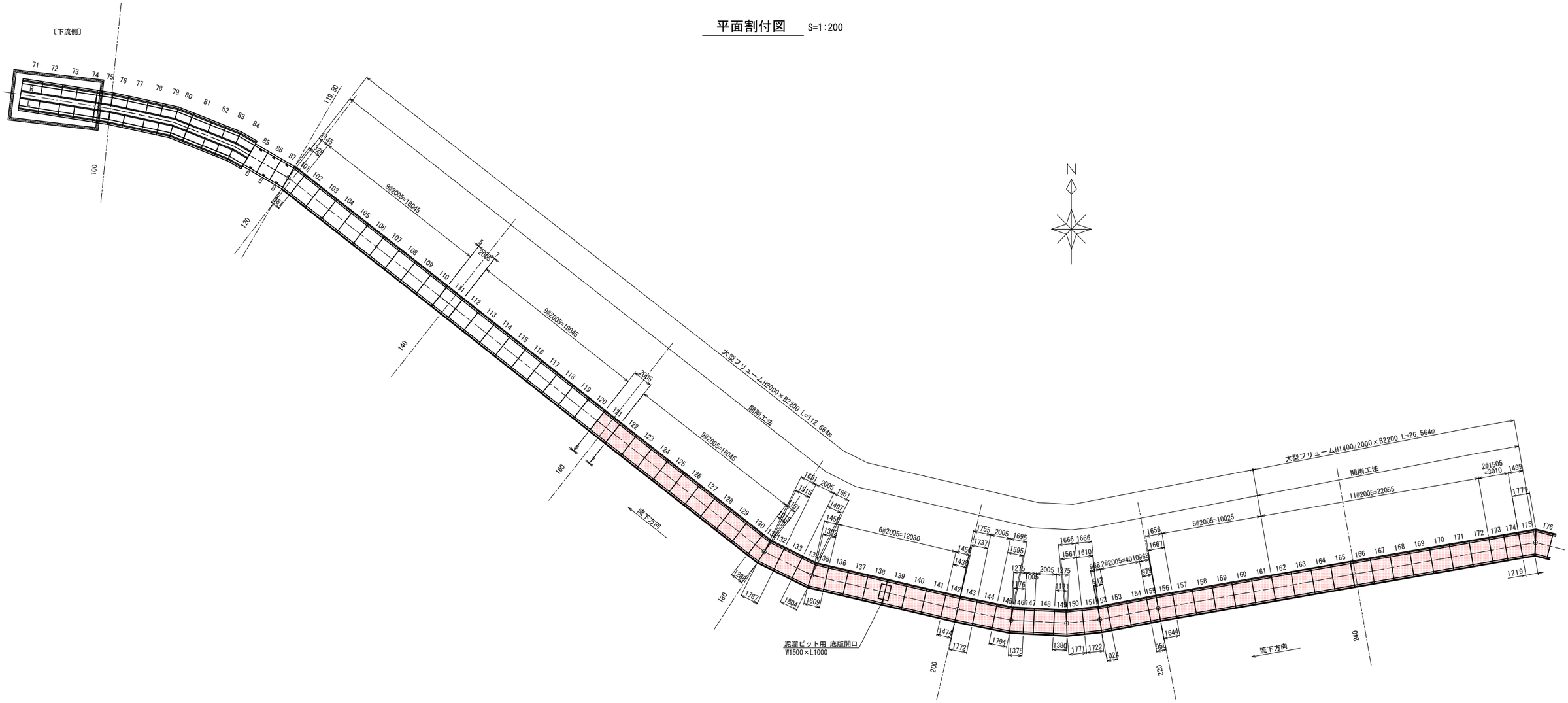
※3 ボックスカルバート NOSⅠ型割付の製品長は、クリアランス(3mm/本)を含む。

ボックスカルバート縦締め形状
Ⓐﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ無し
Ⓑﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ有り
Ⓒﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ無し ﾎﾞﾙﾄ連結有り
Ⓓﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ有り ﾎﾞﾙﾄ連結有り

水路製品割付図(1)

(RCボックスカルバート B2200×H1600)(大型フリューム H2000×B2200)
(H1400/2000×B2200)

平面割付図 S=1:200



実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
水路製品割付図(1)	縮尺	1:200	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号 21 葉中之 09			
千 曲 市 役 所			

※1 大型フリューム、鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ水路用Ｌ形割付の製品長は、クリアランス(5mm/本)を含む。

※2 ボックスカルバート割付の製品長は、クリアランス(5mm/本)を含む。

※3 ボックスカルバート N0S Ⅰ型割付の製品長は、クリアランス(3mm/本)を含む。

ボックスカルバート縦締め形状

Ⓐﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ無し

Ⓑﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ有り

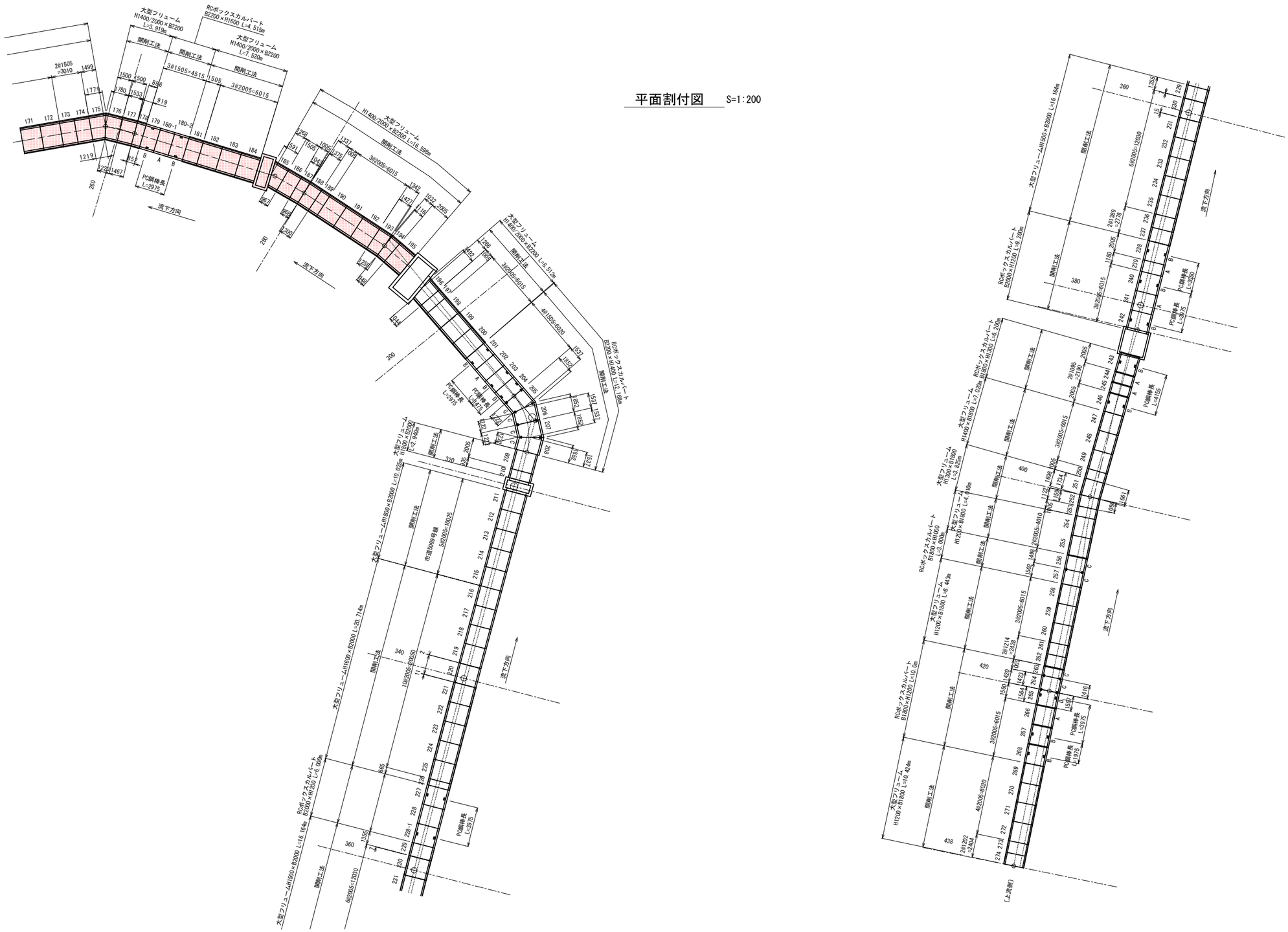
Ⓒﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ無し ﾎﾞﾙﾄ連結有り

Ⓓﾀｲﾌﾟ：ｱﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ有り ﾎﾞﾙﾄ連結有り

水路製品割付図(2)

(RCボックスカルバート B2200×H1600)(大型フリューム H2000×B2200)
(H1400/2000×B2200)

平面割付図 S=1:200



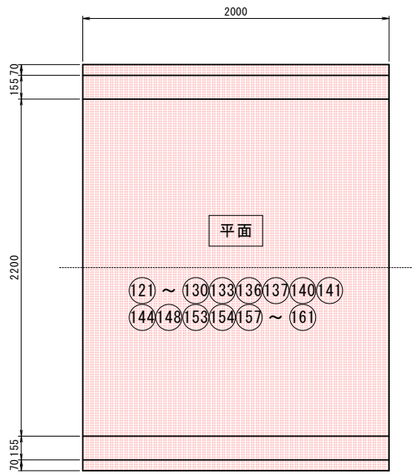
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区	
水路製品割付図(2)	縮尺 1:200
鳴海川 千曲市 大字 土口	
課長	係長
照査 / 設計	製図
図面番号 21 葉中之 10	
千 曲 市 役 所	

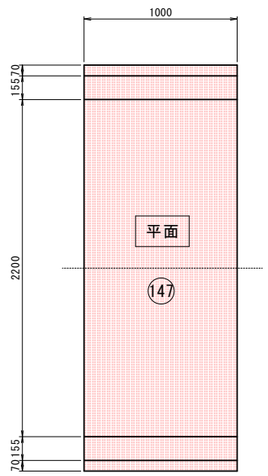
水路製品寸法図(1)　S=1:20

(大型フリューム　H2000×B2200)

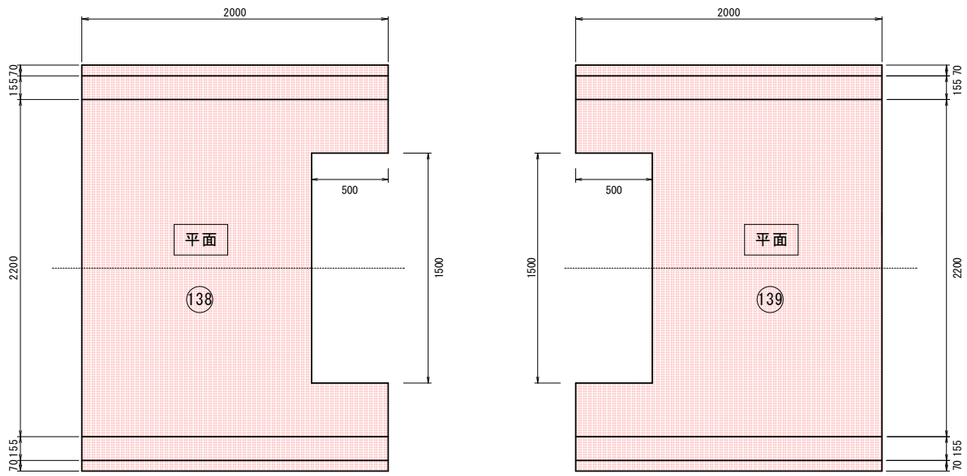
標 準 品



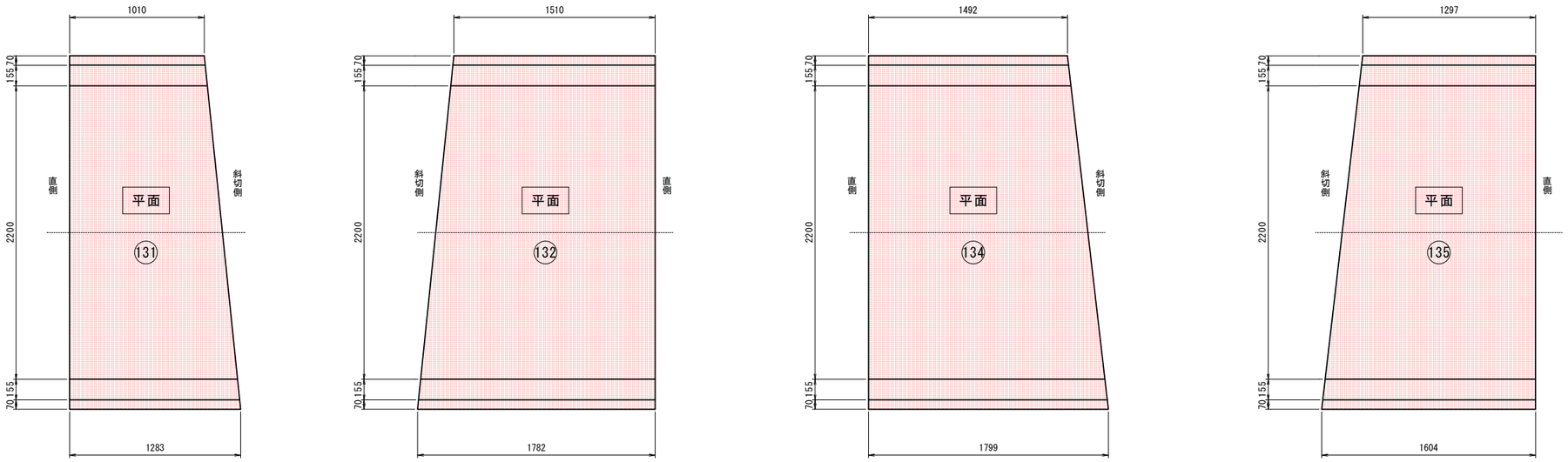
短 尺 品



底版開口タイプ



斜 切 品



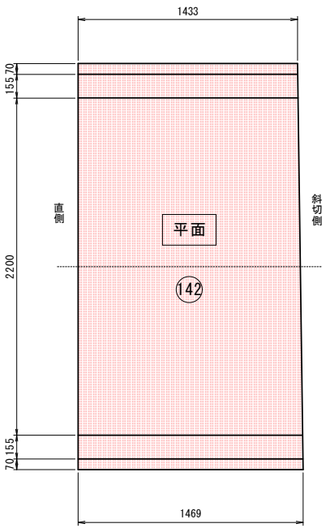
実施設計図

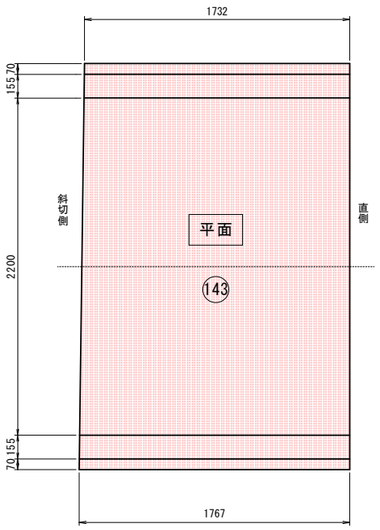
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
水路製品寸法図(1)	縮尺	1:20	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　11			
千 曲 市 役 所			

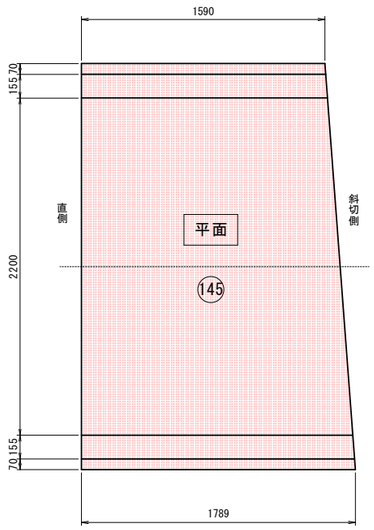
水路製品寸法図(2)　S=1:20

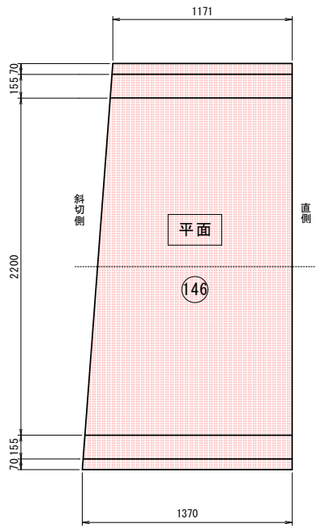
(大型フリューム　H2000×B2200)

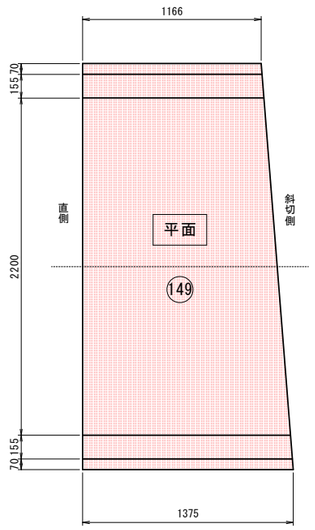
斜 切 品

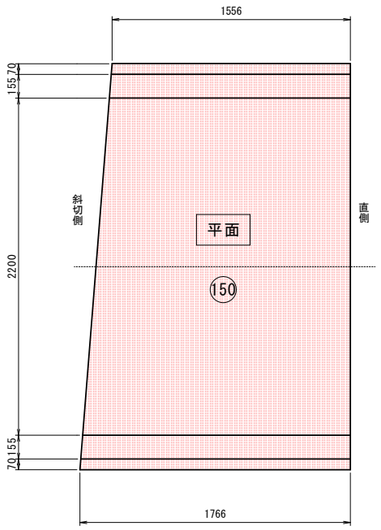


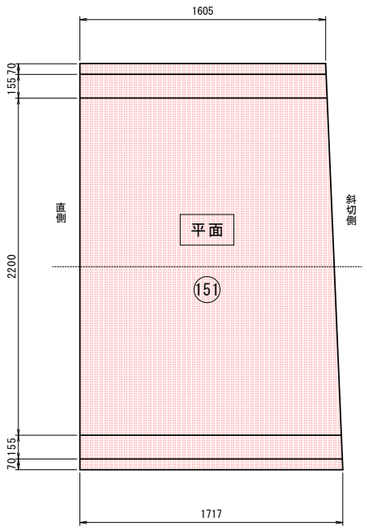


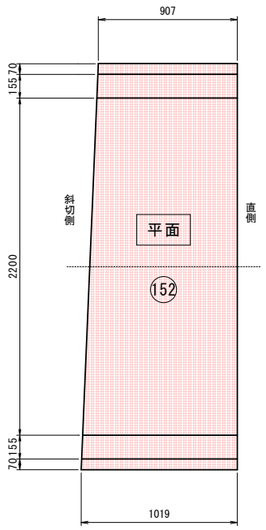


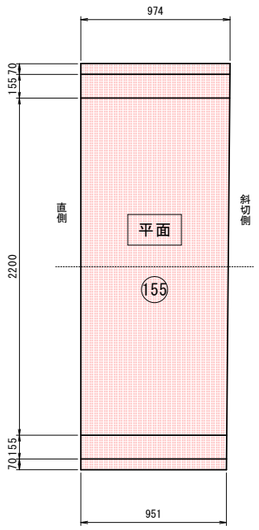


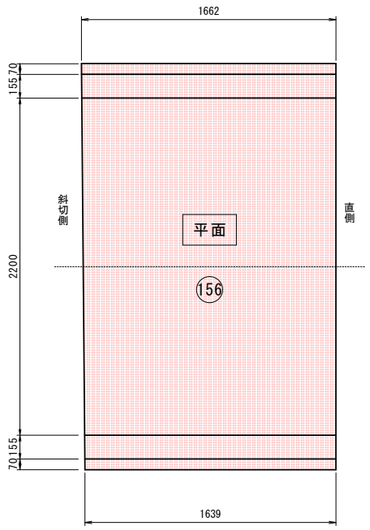












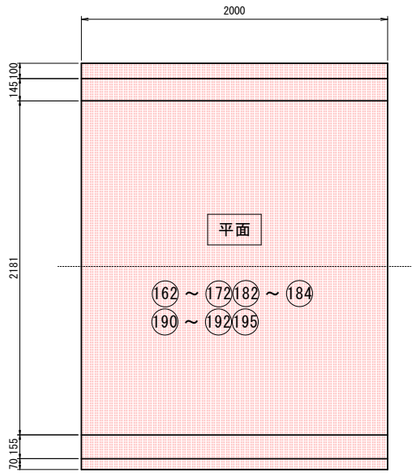
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
水路製品寸法図(2)	縮尺	1:20	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　12			
千 曲 市 役 所			

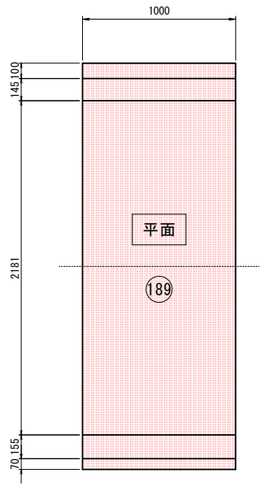
水路製品寸法図(3)　S=1:20

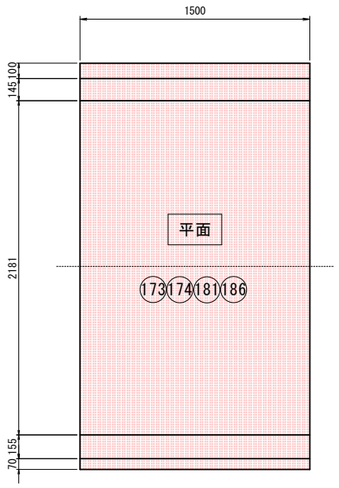
（大型フリューム　H1400/2000×B2200）

標 準 品



短 尺 品





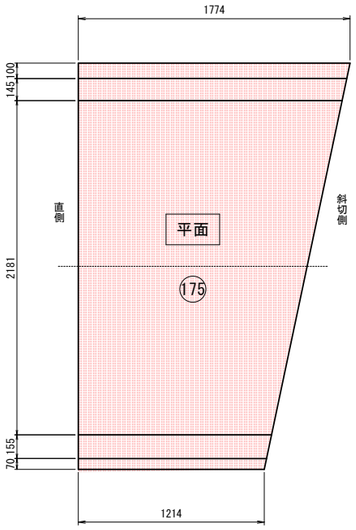
実施設計図

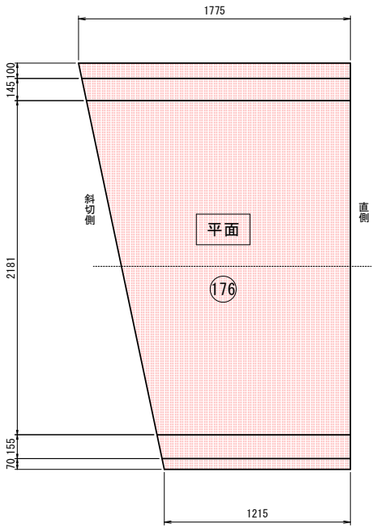
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
水路製品寸法図(3)	縮尺	1:20	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　13			
千 曲 市 役 所			

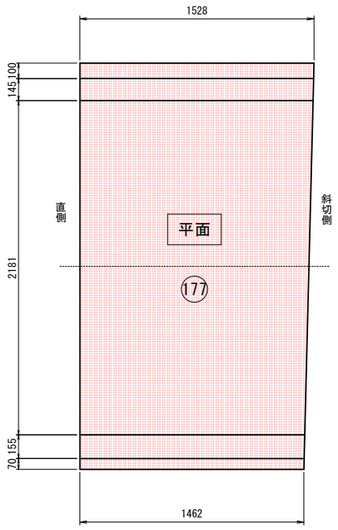
水路製品寸法図(4)　S=1:20

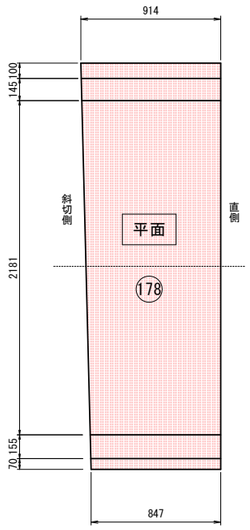
(大型フリューム　H1400/2000×B2200)

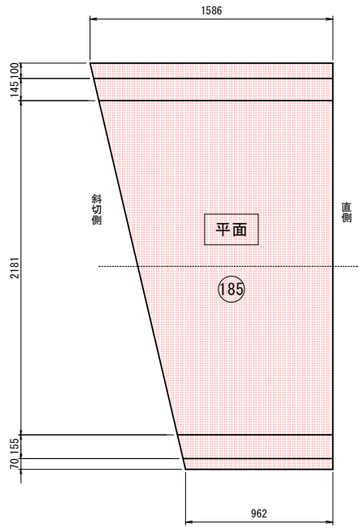
斜 切 品

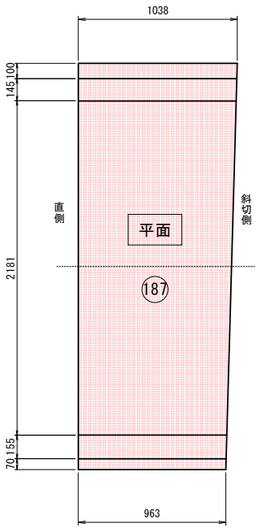


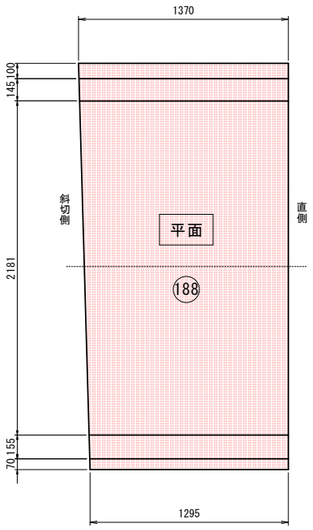


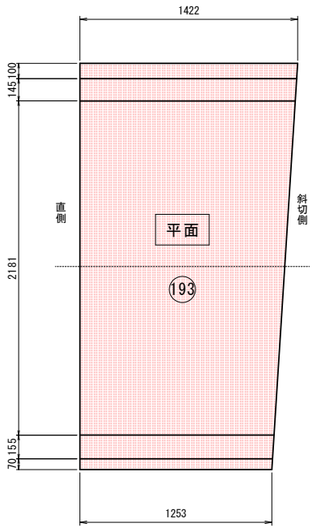


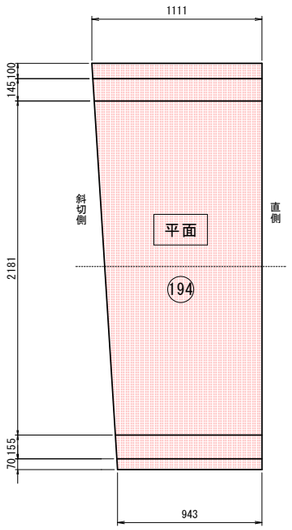












実施設計図

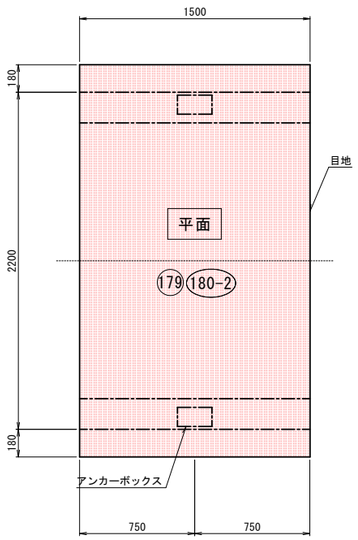
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
水路製品寸法図(4)	縮尺	1:20	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　14			
千 曲 市 役 所			

水路製品寸法図(5)　S=1:20

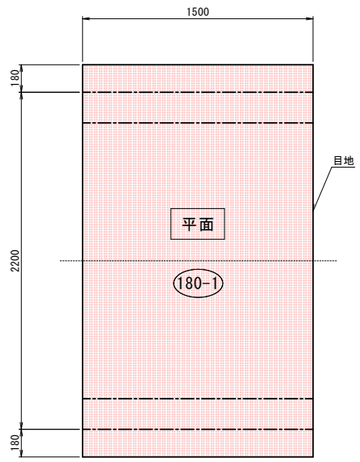
(RCボックスカルバート B2200×H1600)

標 準 品

B1 タイプ



A1 タイプ



実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
水路製品寸法図(5)	縮尺　1:20		
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　15			
千 曲 市 役 所			

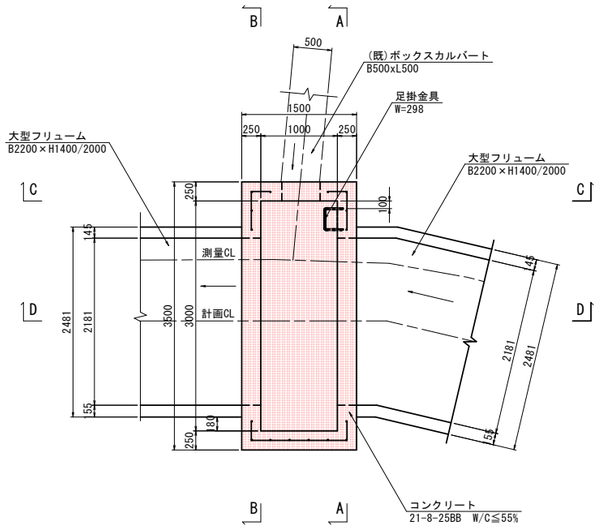
現場打集水桝配筋図　S=1:40

（測点 275.30）

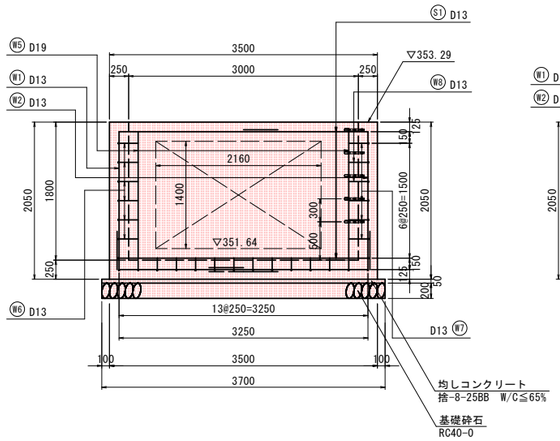
現場打集水桝 M-1　S=1:40

M1-B3000×L1000×H1800

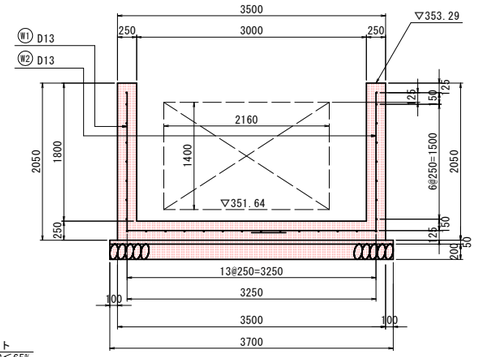
平面図



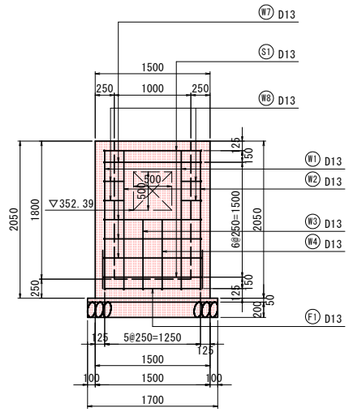
A-A断面図



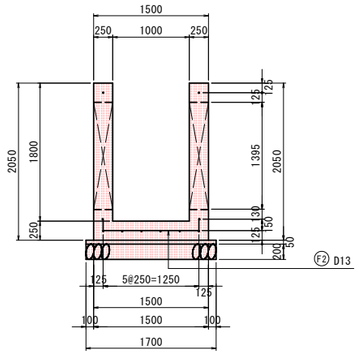
B-B断面図



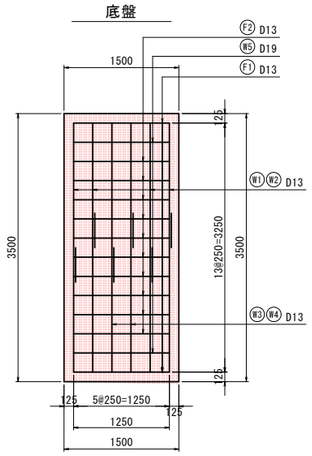
C-C断面図



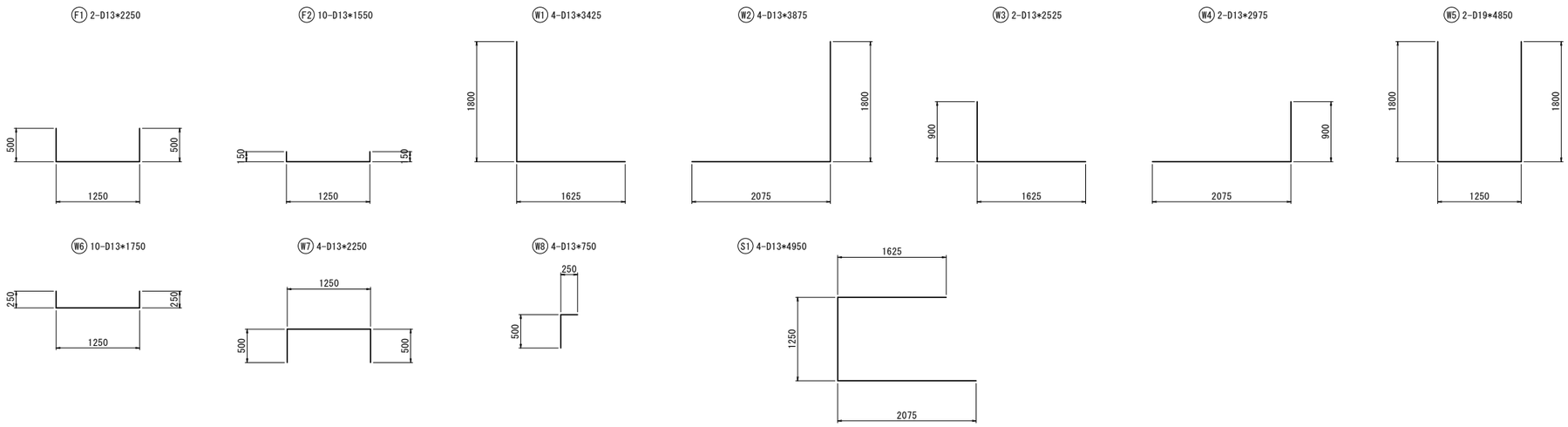
D-D断面図



底盤



鉄筋加工図　S=1:40



鉄筋重量表　M1-B3000×L1000×H1800

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	総重量	備考
	D	m	本	kg/m	kｇ	kｇ	
F1	D13	2.250	2	0.995	2.24	4.5	
F2	D13	1.550	10	0.995	1.54	15.4	
W1	D13	3.425	4	0.995	3.41	13.6	
W2	D13	3.875	4	0.995	3.86	15.4	
W3	D13	2.525	2	0.995	2.51	5.0	
W4	D13	2.975	2	0.995	2.96	5.9	
W5	D19	4.850	2	2.250	10.91	21.8	
W6	D13	1.750	10	0.995	1.74	17.4	
W7	D13	2.250	4	0.995	2.24	9.0	
W8	D13	0.750	4	0.995	0.75	3.0	
S1	D13	4.950	4	0.995	4.93	19.7	
			合計	SD345	D13	108.9	
				SD345	D19	21.8	

※特記事項
1）生コン使用における設計上の構造物分類
「水セメント比について」
鉄筋コンクリート　：W/C≦55%
無筋コンクリート
一般の場合：W/C≦60%
耐久性考慮しない場合：W/C≦65%

実施設計図

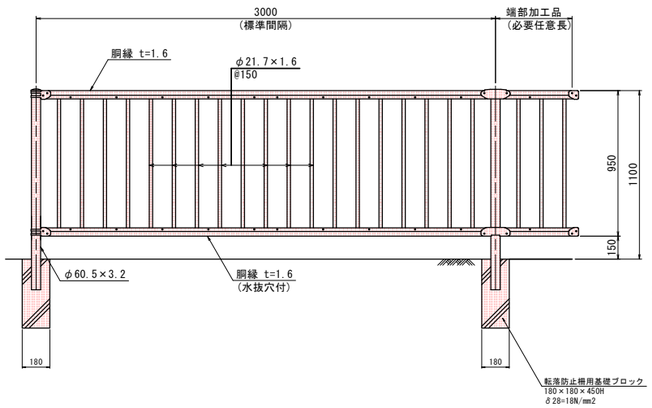
令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
現場打集水桝 配筋図	縮尺　1:40		
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　16			
千 曲 市 役 所			

付帯工構造図(1)

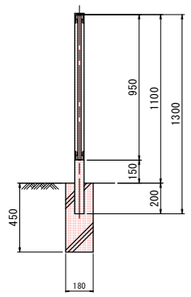
転落防止柵標準構造図　S=1:20

（参考図：H1100 独立基礎）

正面図



支柱詳細図
（基礎ブロック建込）



材料表　10m当り

名　称	単位	数量	摘　要
転落防止柵	本	3.3	支柱@3.0
転落防止柵用基礎ブロック	個	3.3	180×180×450H

※転落防止柵支柱は標準@3.0mとする。

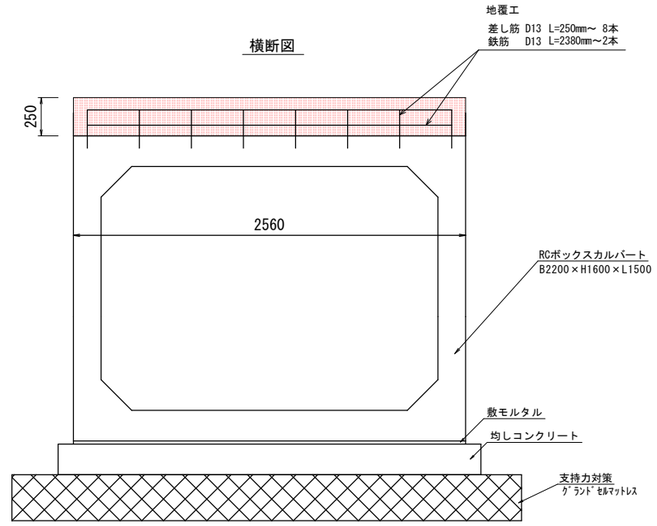
設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1．外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

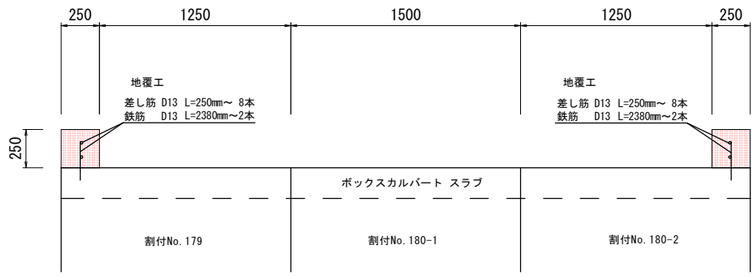
ボックスカルバート地覆工 構造図　S=1:20

（B2200×H1600 開削部）

横断図



縦断図



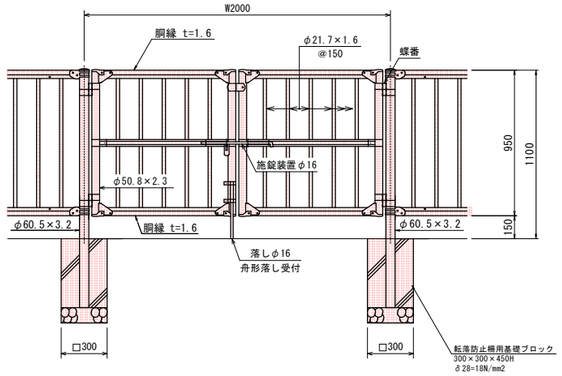
地覆工　1式あたり

名　称	規　格	単　位	数　量
型枠工	H250*W250*L2560	(㎡)	2.8
鉄筋工	SD345 D13	(kg)	13.5
コンクリート	18-8-25BB	(㎥)	0.32

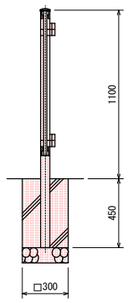
転落防止柵(両開き門扉)標準構造図　S=1:20

（参考図：H1100 独立基礎）

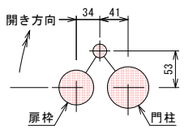
正面図



支柱詳細図
（基礎ブロック建込）



門柱・扉枠位置関係図 S=NON



材料表　1箇所当り

名　称	単位	数量	摘　要
転落防止柵(両開き門扉)	本	1.0	支柱@2.0
転落防止柵用基礎ブロック	個	2.0	300×300×450H

※転落防止柵(両開き門扉)支柱は標準@2.0mとする。
設置場所は、泥溜ピットを設置する箇所(測点190付近 ΣN=1箇所)とする。

備考
1．外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、施錠装置、落しおよびボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。
2．本図門扉は施錠と反対側180°開き、施錠側落しとする。
3．本門扉は構造上、防護柵の設置基準・同解説のP種の強度は有さない。

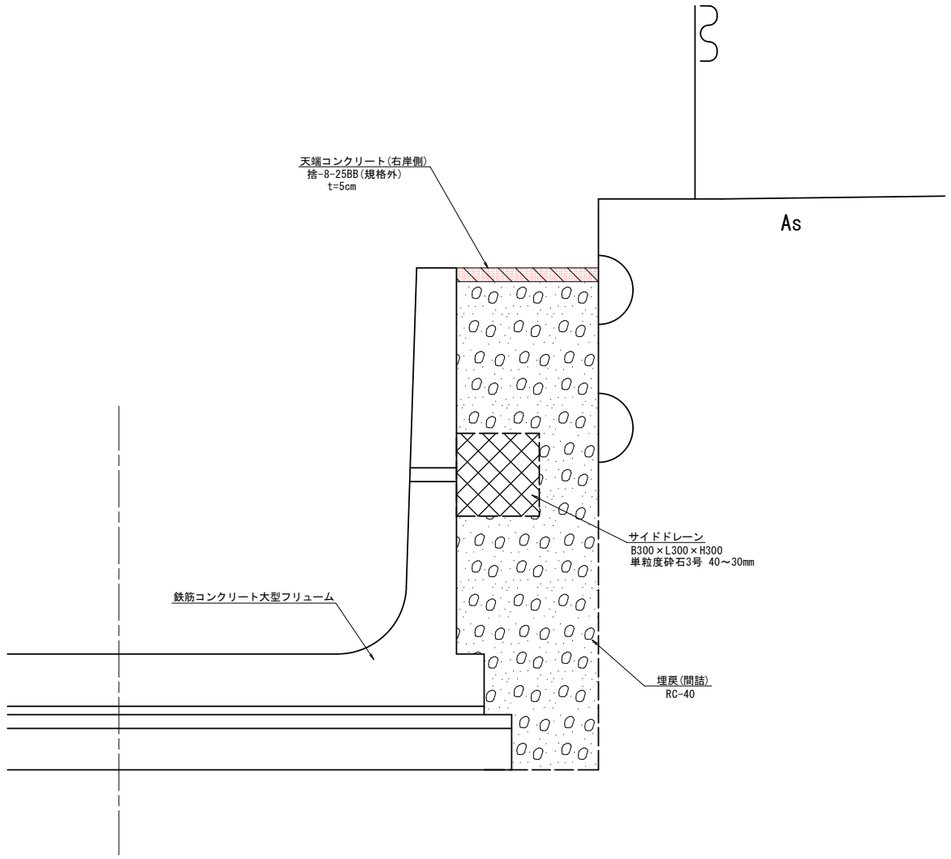
※特記事項
1) 生コン使用における設計上の構造物分類
「水セメント比について」
鉄筋コンクリート　：W/C≦55%
無筋コンクリート
一般の場合：W/C≦60%
耐久性考慮しない場合：W/C≦65%

実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
付帯工構造図(1)	縮尺	図示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号 21 葉中之 17			
千 曲 市 役 所			

付帯工構造図(2)

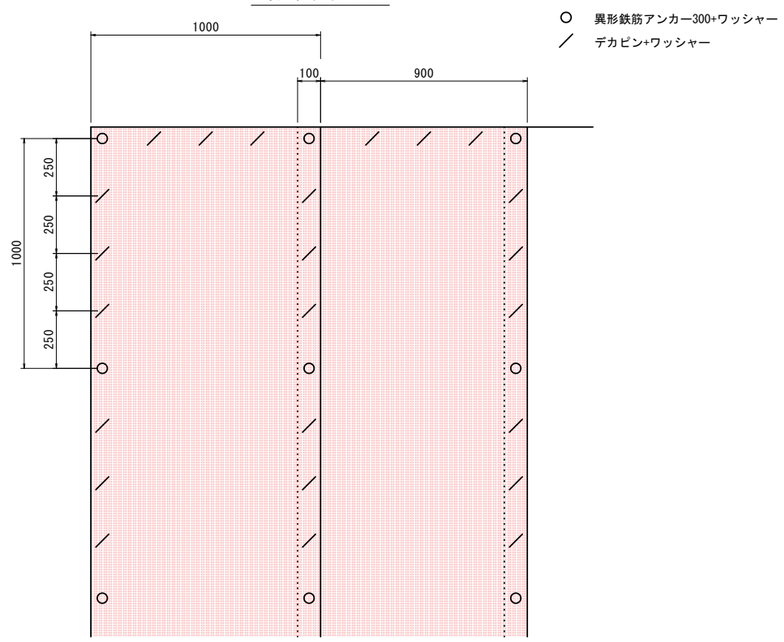
天端コンクリート(右岸側埋戻部) 標準図　S=NON



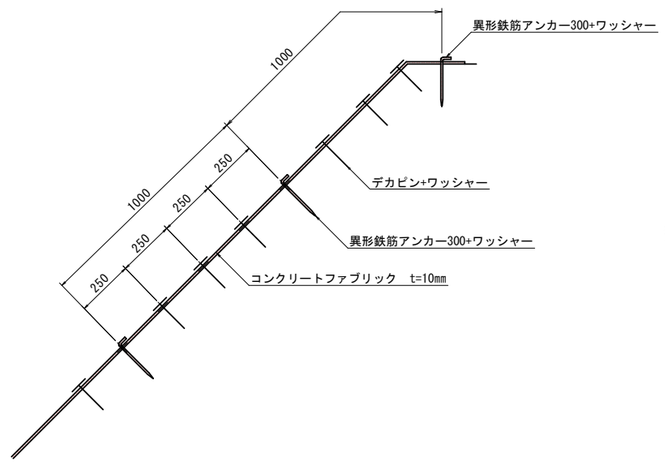
法面保護工　セメント複合フェルトマット工法 標準施工図　S=NON

（コンクリートファブリック工法：同等品以上）
（参考図）

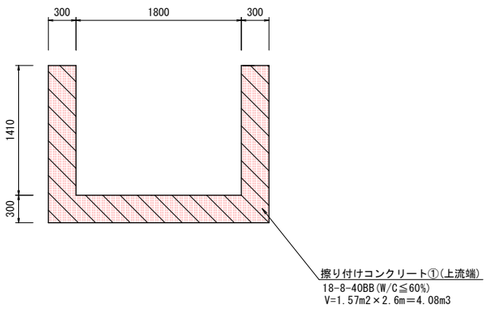
標準展開図

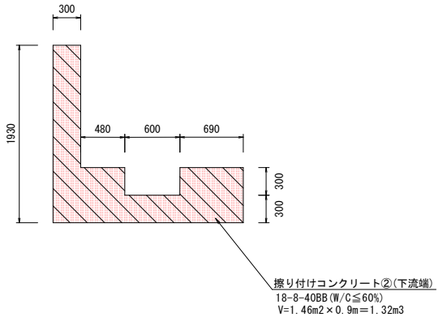


標準断面図



既設水路接続工 標準図　S=NON





擦り付けコンクリート①(上流端)　材料表　　1箇所当たり

項　目	規　格	単　位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	(m³)	4.08	1.57m2×2.6m=4.08m3
型　枠	一般型枠	(m²)	16.22	(1.71m×2)+(1.41m×2)×2.6m=16.22m2

擦り付けコンクリート②(下流端)　材料表　　1箇所当たり

項　目	規　格	単　位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	(m³)	1.32	1.46m2×0.9m=1.32m3
型　枠	一般型枠	(m²)	4.01	(1.93m+1.33m+0.6m+0.3m×2)×0.9m=4.01m2

※端部処理

・風による捲れ防止や雑草抑制のため、端部は縁石などに接着剤で固定すること。

・シート重ね部も専用接着剤で固定すること。

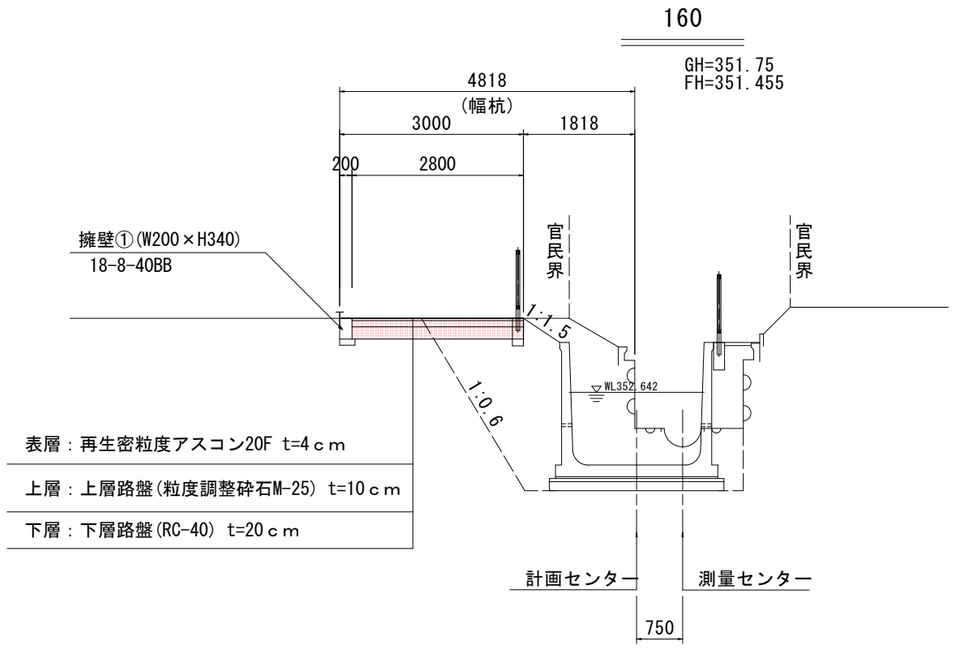
※特記事項
1）生コン使用における設計上の構造物分類
「水セメント比について」
鉄筋コンクリート　：W/C≦55%
無筋コンクリート
一般の場合：W/C≦60%
耐久性考慮しない場合：W/C≦65%

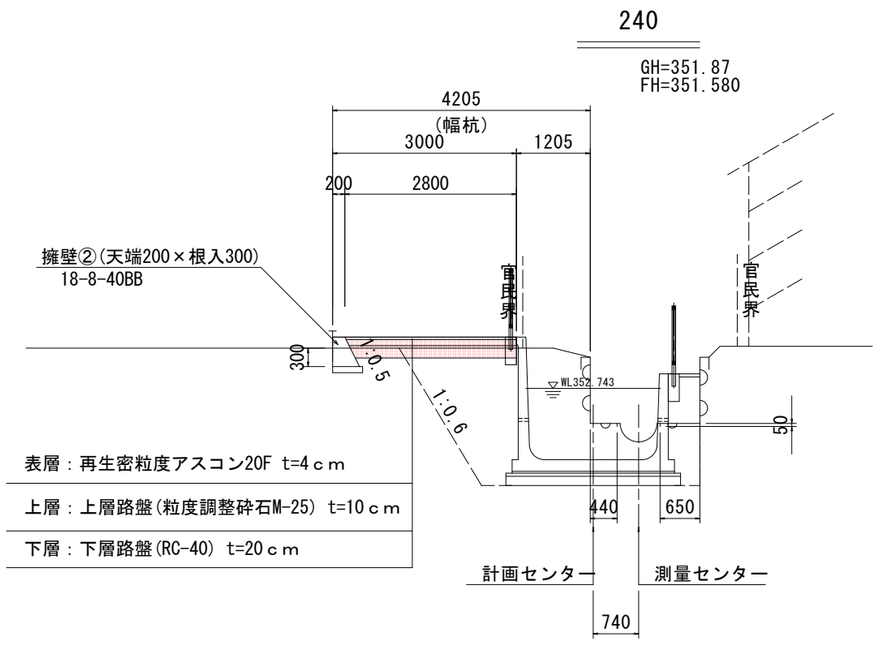
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
付帯工構造図(2)	縮尺　図示		
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之　18			
千 曲 市 役 所			

付帯工構造図(3)

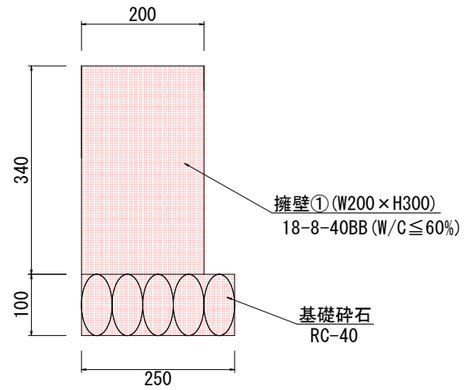
管理用道路　舗装構成　S=1:50



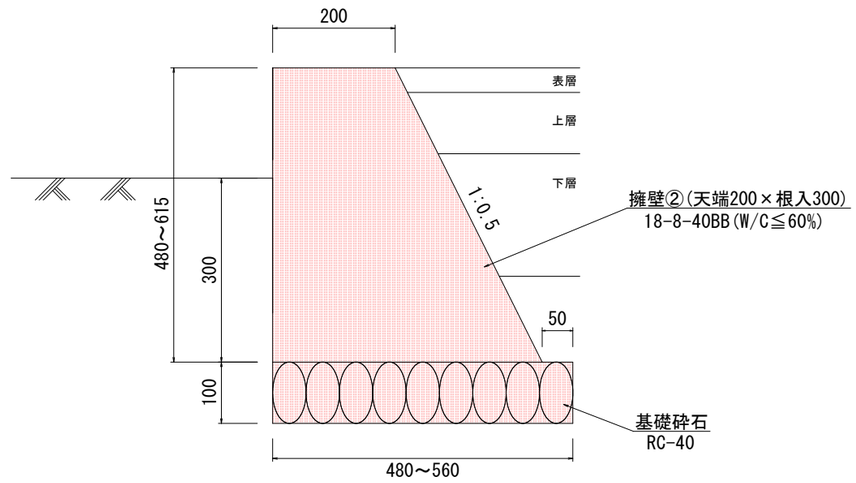


管理用道路擁壁 標準構造図　S=1:5

擁壁①(W200×H340)
Pt.160～220



擁壁②(天端200×根入300)
Pt.220～290



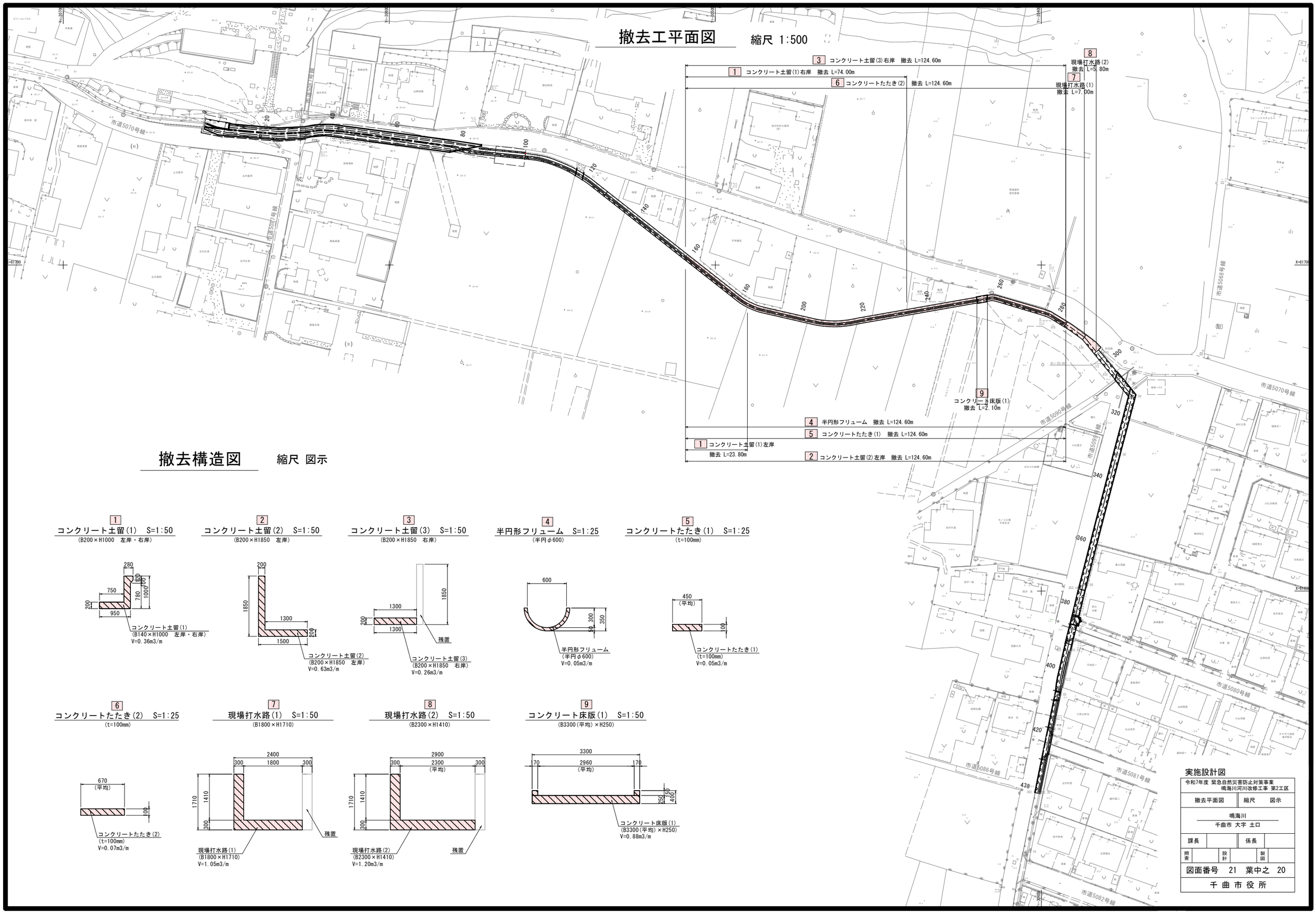
※特記事項
1) 生コン使用における設計上の構造物分類
「水セメント比について」
鉄筋コンクリート　：W/C≦55%
無筋コンクリート
一般の場合：W/C≦60%
耐久性考慮しない場合：W/C≦65%

実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
付帯工構造図(3)	縮尺	図示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号　21　葉中之 19			
千 曲 市 役 所			

撤去工平面図

縮尺 1:500



撤去構造図

縮尺 図示

1 コンクリート土留(1) S=1:50

(B200×H1000 左岸・右岸)

2 コンクリート土留(2) S=1:50

(B200×H1850 左岸)

3 コンクリート土留(3) S=1:50

(B200×H1850 右岸)

4 半円形フリューム S=1:25

(半円φ600)

5 コンクリートたたき(1) S=1:25

(t=100mm)

6 コンクリートたたき(2) S=1:25

(t=100mm)

7 現場打水路(1) S=1:50

(B1800×H1710)

8 現場打水路(2) S=1:50

(B2300×H1410)

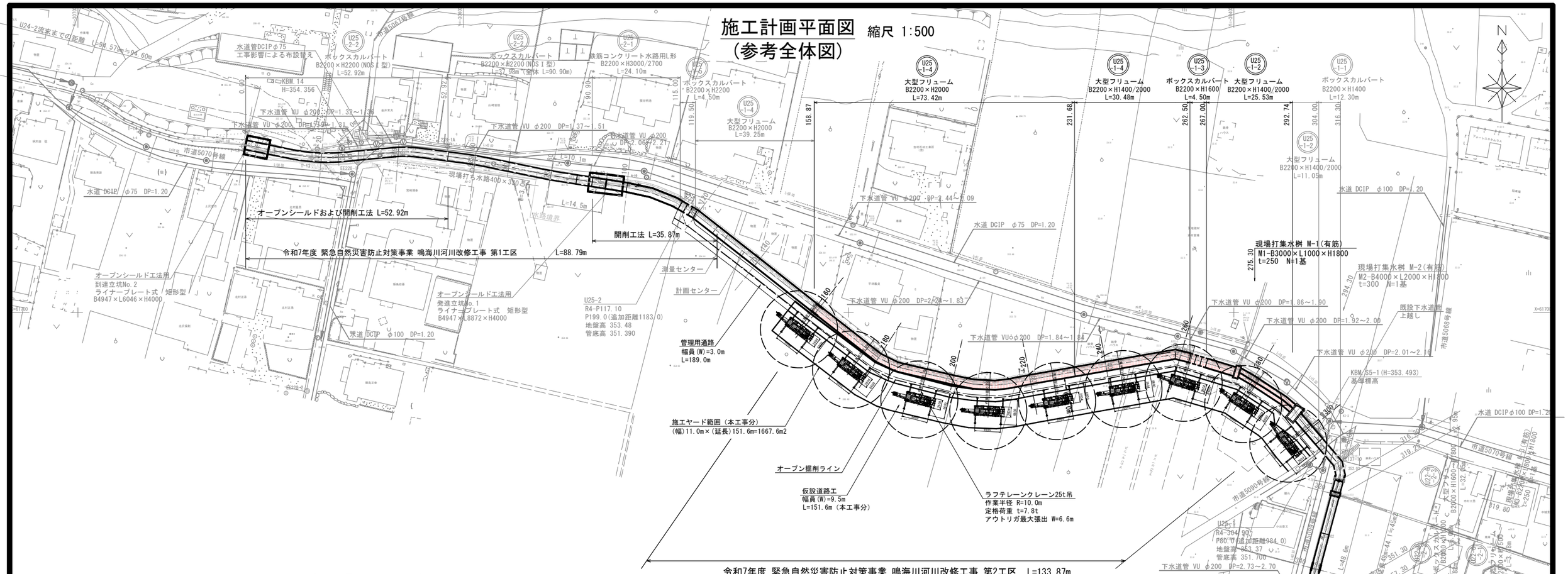
9 コンクリート床版(1) S=1:50

(B3300(平均)×H250)

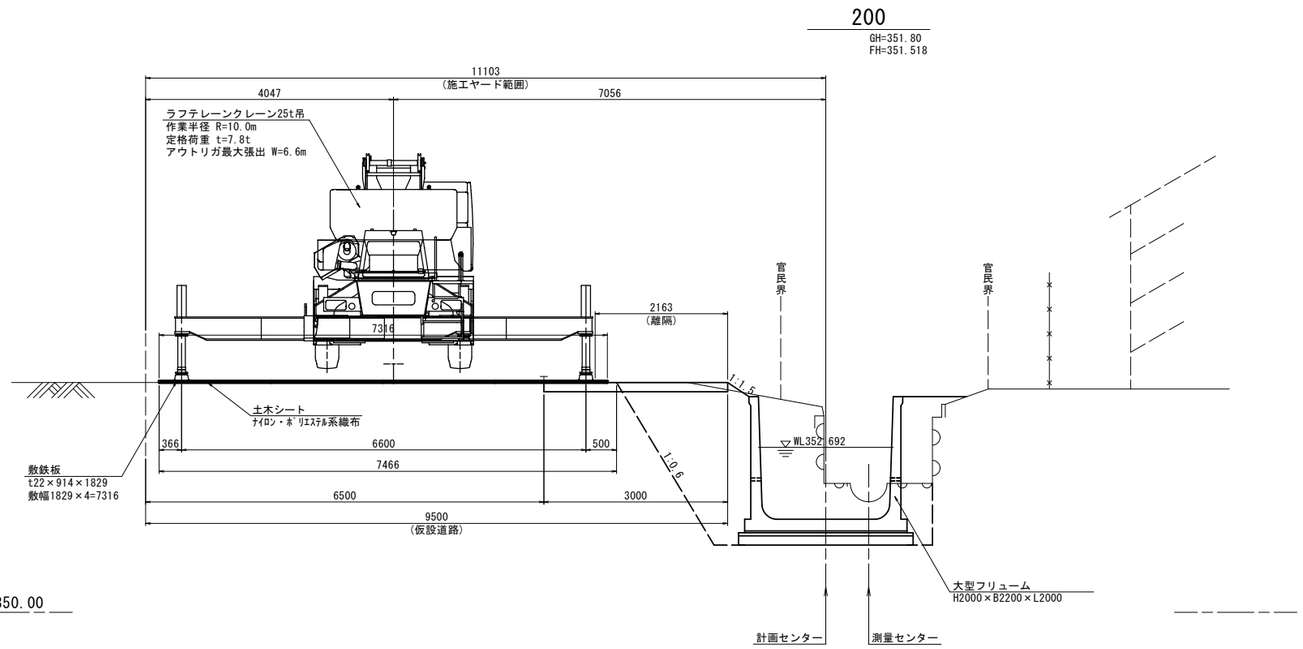
実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区	
撤去平面図	縮尺 図示
鳴海川 千曲市 大字 土口	
課長	係長
照査 / 設計 / 製図	
図面番号 21 葉中之 20	
千 曲 市 役 所	

施工計画平面図 縮尺 1:500
(参考全体図)



施工計画横断図 S=1:50
(参考図：管渠施工時)



実施設計図

令和7年度 緊急自然災害防止対策事業 鳴海川河川改修工事 第2工区			
施工計画平断面図 (参考図)	縮尺	図示	
鳴海川 千曲市 大字 土口			
課長		係長	
照査	設計	製図	
図面番号 21 葉中之 21			
千 曲 市 役 所			